



黒谷上人繪詞

卷五ヨリ  
六二五  
ル



黒谷上人繪詞第五目錄

二卷十

上人常被仰御詞条之事

二卷十

上人或人被示御文条之事

三卷十

或人往生用心尋申御返事條之事

鎮西修行者示御詞事

四卷十

上人念佛法門事

聖光房法力房等上人被尋申事

元久二年正月日尼女房上人尋申事

法性寺左京大夫伯母尋申御返事

伊豆國妙真尼上人教化事

鎌倉二位禪尼蓮上房以被尋申御返事

二卷十



多ツケ、上野國大胡小内郎示事  
武蔵國那河郡彌次郎入道教誠事

黒谷上人傳繪詞第二十一卷

第一段

上人ツ子ニ仰ラレケル御詞

上人ノ給ハク。口傳ナクシテ。淨土ノ法門ヲミル。往生ノ得  
分ヲ見ラシナフナリ。其故ハ極樂ノ往生ハ。上天親龍樹  
ヲス。メ。下ハ末世ノ凡夫。十惡五逆ノ罪人ニテス。メ給ヘリ。  
而テ。ワカ身ハ最下ノ凡夫ニテ。善人ヲス。メ給ヘル文ヲ見  
テ。早下ノ心ヲオコシテ。往生ヲ不定ニオモヒテ。順次ノ往生  
ヲ得サルナリ。而シテ。善人ヲス。メ給ヘルトコロヲハ。善人ノ分  
トミ。惡人ヲ勸メ給ヘル所ヲハ。我分トミテ。得分ニスルナリ。カ  
クノ如ク見サタメヌレハ。決定往生ノ信心カタマリテ。本願ニ



奉<sup>レ</sup>テ。順次ノ往生ヲトクルナリ

又云、念佛申ス。マタク別ノ様ナシ。タ、申セハ。極樂ヘムル  
ルト知テ。心ヲイタシテ申セハマイルナリ

又云、南無阿彌陀佛トイフハ。別シタル事ニ思ヘカラス。阿  
彌陀ホトケ。我ヲタスケ給ヘト。イフコトハト心得テ。心ニ阿  
彌陀ホトケ。タスケ給ヘト思テ。口ニ南無阿彌陀佛ト唱  
ルヲ三心具足ノ名號ト申ナリ

又云、罪八十惡五逆ノ者ナラムニト信シテ。小罪ヲモ  
カサレト思ヘシ。罪人ナラムニル。イカニハシヤ善人ヲヤ。行ハ  
一念佛十念ムナシカラスト信シテ。無間ニ修スヘシ。一念佛ヲ  
ムニル。イカニハシヤ多念ヲヤ

又云、一念佛十念ニ。往生ヲストイヘハトテ。念佛ヲ踈想ニ申

スハ信カ行ヲサマタクルナリ。念々不捨者トイヘハトテ。一念佛  
ヲ不定ニオモフハ。行カ信ヲサマタクルナリ。信ヲハ一念佛ニムル  
ト信シ。行ヲハ一形ニケムヘシ。又一念佛ヲ不定ニ思フハ。念々  
ノ念佛コトニ不信ノ念佛ニナルナリ。其故ハ。阿彌陀佛ハ  
一念佛ニ一度ノ往生ヲ。アテヲキ給ヘル願ナレハ。念コトニ往

生ノ業トナルナリ  
又云、煩惱ノウスク。アツキヲモカヘリミス。罪障ノ輕キ重キヲ  
モ。沙汰セス。タ、口ニ南無阿彌陀佛ト唱テ声ニツキス。決  
定往生ノオモヒヲナスヘシ

又云、タトヒ余事ヲイトナムトモ。念佛ヲ申々コレヲスルオモ

ヒラナセ余事ヲシ、念佛ストハオモフヘカラス

又云、往生ヲ子カヒ極樂ニミイラン事ヲ、メヤカニオモヒ入タル人ノ氣色ハ世ノ中ヲヒトク子リ恨タル色ニテ常ニアル也

又云、人ノ命ハ食事ノ時ニムセテ死スル事モアルナリ。南無阿彌陀佛トカミテ南無阿彌陀佛トノミ入ヘキナリ

又云、法尔ノ道理ト云事アリ。ホノヲハ空ニホリ。水ハクダリサニニナル。菓子ノナカニスキ物アリ。アマキ物アリ。コレラハミナ

法尔ノ道理ナリ。阿彌陀佛ノ本願ハ各號ヲモテ罪惡ノ衆生ヲミチヒカントナカヒ給タレハ、一向ニ念佛タニモ

申セハ佛ノ來迎ハ法爾ノ道理ニテウタカヒナシ又云、善導ノ釋ヲ拜見スルニ源空カ目ニハ三心モ南無阿

彌陀佛。五念モ南無阿彌陀佛。四修モナムアミタ佛ナリ。

又云、弘願トイヘルハ如大經說一切善惡凡夫得生者莫不皆乘阿彌陀佛大願業力為增上緣ト善導釋之

給ヘリ。予カコトキ。不堪ノ身ハヒトヘニタ、弘願ヲ憑也又云、我ハコシ鳥帽子モキサル男ナリ。十惡ノ法然坊。愚

癡ノ法然坊カ念佛シテ往生セシト云ナリ又云、學生骨ニナリテ念佛ヤウシハントスラン

又云、本願ノ念佛ニハヒトリタチヲセサセテスケヲサ、又ナリ。スケトイフハ智慧ヲモスケニサシ。持戒ヲモスケニサシ。道心ヲモスケニ

サシ。慈悲ヲモスケニサスナリ。善人ハ善人ナカラ念佛シ。惡人ハ惡人ナカラ念佛シテタ、ムレツキノマ、ニテ念佛スル人ヲ

念佛ニヌケサ、ヌトハ云也

サリナカラ悪ヲアラタメ善人トナリテ念佛セシ人ハ佛ノ御心ニ叶ヘシ。カナハ又物ユヘニトヤアラシ。カクヤアラシト思テ決

定ノ心ナコラヌ人ハ往生不定ノ人ナルヘシ。又云佛告阿難汝好持是語持是語者即是持無量壽佛各トイヘリ。各號ヲキクトイフトモ。信セスハキカサルカ如

シ。タトヒ信ストイフトモ。唱スハ。信セサルカ如シ。タ、常ニ念佛スヘキナリ。又云近來ノ行人觀法ヲナス事ナカシ。佛像ヲ觀ストモ。運慶康慶カ造タル佛程々ニモ。觀シアラハスヘカラス。極樂ノ莊嚴ヲ觀ストモ。櫻梅桃李ノ花菓程モ。觀念ヲアラハサシ事。カ々

カルヘシタ。彼佛今現在世成佛當知本誓重願不虛衆

生稱念必得往生ノ釋ヲ信シテ。カク本願ヲ得テ一向

ニ名号ヲ唱ヘシ。各號ヲ唱ヘシ。三心ヲノツカラ具足スル也。

又云往生ノ業成就ハ臨終平生ニワタルヘシ。本願ノ文簡別セサルユヘナリ。惠心ノ心モ。平生ニワタルトミエタリ

又云他カ本願ニ乘スルニ二アリ。乘セサルニ二アリ。乘セサルニ二トイフハ。一ツハ罪ヲツクルトキ乘セス。其故ハカクノコトク

罪ヲツクルハ念佛申ストモ。往生不定ナリトオモフ時ニ乘

セス。二ツハ道心ノオコル時乘セス。其故ハ同ク念佛申ストモ。カクノコトク道心アリテ申サシスル念佛ニテコソ。往生ハセシ

レテ本願ヲツキニオモフ時乗セサルナリ。次ニ本願ニ乗スルニ  
二ノ様トイフハ。一ツ六罪ツクル時キ乗スルナリ。其故ハカクノ  
コトク罪ツツクレハ決定シテ。地獄ニ落ヘレ。而ニ本願ノ名  
號ヲ唱フレハ決定往生セシ事ノウレレサヨト。ヨロコフ時ニ乗  
スルナリ。二ツ六道心オコル時乗スルナリ。其故ハゴノ道心ニ  
テ往生スヘカラスコレ程ノ道心ハ無始ヨリコノカタオコレト  
モイマ多生死スナレシ故ニ道心ノ有無ヲ論セシ造業ノ輕  
重ヲイハスタ、本願ノ稱名ヲ念々相續セシキカラニヨリテ  
ソ。往生ハ遠ヘキトオモフ時ニ他カ本願ニ乗スルナリ  
又云世コニコメタル鹿モ友ニ目ヲカケスレテ人影ニカヘラス  
△カヒタル方ヘオモヒキリテ。ミツヒラニニダレイクヘ人アレトモ

カナラスニケラル、ナリ。ソノ定ニ他カヲフカク信シテ萬事ヲ  
シラス。往生ヲトケントオモフヘキナリ  
又云稱名ノ時ニ心ニオモフヘキ様ハ人ノ膝ナトヲヒキハタ  
ラカシテヤダスケ給ヘト云定ナレヘレ  
又云七日七夜心無間トイフハ。明白ノ大事ヲカヘト。  
今日ハゲムカトクスヘレ  
又云人ノ手ヨリ物ヲ得スルニステニ得タラントイマタ得  
サルト。ツシカ勝ヘキ源空ハステニ得タル心地ニテ念佛ハ  
申ナリ  
又云往生ハ一定ト思ヘハ一定ナリ。不定ト思ヘハ不定也。  
又云念佛申サンモノ十人アラシニタトヒ九人ハ臨終アリ

クテ。往生せストモ。我一人ハ決定シテ。往生スヘシトオモフヘシ。  
又云。一丈ノ堀ヲコエント思ハシ人ハ。一丈五尺ヲコエント。六  
ケムヘシ。往生ヲ期セシ人ハ。決定ノ信ヲトリテ。アヒハケムヘキ也。  
又云。イナラハ。念佛ノ功ツモリ。シテハ淨土ヘマイリナシ。トテ  
モカクテモ。此身ニハ。思ヒワツラフ事ソナキト思ヌシハ。死生  
共ニラツラヒナシ。或時上人アハシ此度シオホセハヤナト。仰ラシ  
ケルヲ。乘願房承テ上人タニモ加様ニ不定ゲナク仰ノ候ハ  
シニハ。ソノ餘ノ人ハ。イカニ候ヘキト。申ケシハ。上人打ワラヒ  
給テ。サシテ蓮臺ニラシメテハ。イカテカ此思ヒハ。夕工候ヘキト  
ソノ給ケル  
或人上人ノ申サセ給フ御念佛ハ。念々コトニ佛ノ御心ニ

淨土宗三機  
五時軍上  
機下

カナヒ候ランナト。申ケルヲイカナレハト。上人カヘシトハレナレハ。  
智者ニテ。オハシメ共名號ノ功德ヲモ。委クシロシメシ。本願  
ノ様ヲモ。アキラカニ御心得アルユヘニト。申ナルトキ。汝本願  
ヲ信スル事。マタシカリナリ。彌陀如來ノ本願ノ名號ハ。木コ  
リ草カリ。菜ツミ水クム。タクヒコトキノモノ。内外トモニカケテ。  
一丈不通ナルカ。トナフシハ。必スムルト信シテ。眞實ニ子カヒテ。  
テ常ニ念佛申ツ寂上ノ機トス。モシ智慧ヲモキテ。生死シハ  
ナレハ。八源空イカテカ。カノ聖道門ヲステ。コノ淨土門ニ  
趣ヘキヤ。聖道門ノ修行ハ。智慧ヲキハメテ。生死ヲハナシ。淨  
土門ノ修行ハ。愚癡ニカヘリテ。極樂ニムルト。シルヘシトソ  
仰ラレナル



又人々後世ノ事申ケルツイテニ。往生ハ魚食セヌモノコソ  
スレトイフ人アル。或ハ魚食スルモノコソスレトイフ人アリトカ  
ク論シナルヲ。上人キ、給テ魚クフモノ往生ヲセニハ鶉ソ  
センスル。魚クハヌモノセニハ。猿ソセンスル。クフニモヨラス。クハヌニ  
モヨラス。タ、念佛申モノ往生ハスルトソ。源空ハヒリタルトソ  
仰ラレケル

第二段

又一紙ニセテノ給ハク。末代ノ衆生ヲ往生極樂ノ機ニ

上人小言  
息下

アテ、ミルニ。行スクナレトモ疑ヘカラス。一念十念ニ足ヌヘシ。  
罪人ナリトモ疑ヘカラス。罪根フカキヲモ。キラハレト給ヘ  
ル。時クタレリトモ疑ヘカラス。法滅以後ノ衆生ナラモテ。往  
生スヘシ。況近來ヲヤ。我身ソロシトモ疑ヘカラス。自身ハ己  
煩惱具足セル九夫ナリト給ヘリ。十方ニ淨土オホケレト。  
西方ヲ願ハテ惡五逆ノ衆生ノムル、故ナリ。諸佛ノナカ  
ニ彌陀ニ歸シタテマツルハ。三念五念ニ至ルマテ。ミツカラ來  
迎シ給故ナリ。諸行ノナカニ。念佛ヲ用ルハ。カノ佛ノ本願ナ  
ル故ナリ。イマ彌陀ノ本願ニ乘シテ。往生シナンニ願トシテ  
成セスト云事アルヘカラス。本願ニ乘スル事ハ。信心ノフカキ  
ニヨルヘシ。ウケカタキ人身ヲウケテ。アヒカタキ本願ニアヒテ。オ

コレカタキ道心ヲ發シテハナシカタキ輪廻ノ里ヲハナシテ生  
シカタキ淨土ニ往生セシム事。悦ノ中ノ悦ナリ。罪八十惡五  
逆ノ者モ生スト信シテ。少罪ヲモ犯セシト思ヘシ。罪久ナラ  
ムニ。况ヤ善人ヲヤ行ハ。一念十念ナラムナシカラスト信シ  
テ無間ニ修スヘシ。一念十ヲ生ル。况ヤ多念哉。阿彌陀ハ不  
取正覺ノ言ヲ成就シテ。現ニ彼ノ國ニミセハ。定テ命終ノ  
時ハ。來迎シ給ハシ。釋尊ハ善哉我教ニ隨テ生死ヲ離ト知  
見シ給ヒ。六方ノ諸佛ハ悦哉我證誠ヲ信シテ不退ノ淨  
土ニ生ト悦給ラヌ。夫ニ仰キ地ニ卧テ悦ヘシ。ゴノタヒ彌陀  
ノ本願ニアラノ事ヲ。行住坐卧ニモ報スヘシ。カノ佛ノ恩德ヲ  
得テモ彌トムヘキ。乃至十念ノ詞信シテモ信スヘキハ。必得

往生ノ文ナリト。此書世間ニ流布ス。上人ノ小消息トイヘ  
ルコレナリ

第三段

上人念佛ノ行者ノ心得ヘキ様ヲラシヘ給ヘル事アリ。所  
謂ワレハ阿彌陀ヲコソタノミタシ。念佛ヲコソ信シタレトテ。  
諸佛菩薩ノ悲願ヲカロシメタテツリ。法華般若等ノ目  
出キ經トモヲ。ワロクオモヒソレル事。ユメユマルヘカラス。阿彌  
陀佛ヲ信シタレハトテ。ヨロツノ佛ヲソレリ。モロモロノ聖教ヲ  
疑ヒソレリタラニスルハ。信心ノヒカミタルニテアルヘキナリ。信心  
タ、レカラスハ。阿彌陀佛ノ御心ニ叶シテハ。念佛ストモ。  
彌陀ノ悲願ニモレニ事ハ。一定ナリ。又罪ヲツクラレトツ、レ

ミテヨカラントスルハ。彌陀ノ本願ヲカロシムルニテコソアレ。又念  
佛ヲ多ク申サントテ。日々ニ數返ノカスヲツム。他カヲウタ  
カフニテコソアレ。ナトイフ事ノ多クキコユル。加<sup>カ</sup>横<sup>ヨコ</sup>ノ僻事<sup>ヒキコト</sup>ニメ  
ユメモ千井ルヘカラス。イツレノ所ニカ。阿彌陀佛ハ。罪ツクレト。  
ス、メ給タル。コレヒトニワカ身<sup>ミ</sup>患<sup>ウ</sup>ヲモト、メエス。罪ヲノミツクリ  
井タル、ニカ、ルユワレモナキ。畏<sup>キヨゴシ</sup>言<sup>コト</sup>ヲタクミイタレテ。モノモシ  
ラヌ男女ノ輩<sup>トモ</sup>ヲスカレホラカシ。罪業<sup>サイゴフ</sup>ヲス、メ。煩惱<sup>ホノノシ</sup>ヲオコサシ  
ムル事。レカレナカラ。コレ天魔ノタクヒナリ。外<sup>ゲ</sup>道<sup>ダウ</sup>ノレワサナリ。  
往生<sup>ユウジヤウ</sup>極樂<sup>キョクらく</sup>ノアタカタキナリト思<sup>オモ</sup>ヘシ。又念佛ノ數<sup>カズ</sup>ヲ多ク申  
モノヲハ。自<sup>シ</sup>カ<sup>キ</sup>ヲハケムトイフ事。コレミタ。モノモ覺<sup>サト</sup>ヘ又。アサミレキ  
僻事<sup>ヒキコト</sup>ナリ。タ、一<sup>ヒト</sup>念<sup>ニ</sup>ヲトナフトモ。自カノ念佛トスヘシ。

千返萬返ヲトナヘ。百日千日ヨルヒル。ハケミツトムトモ。偏<sup>ヒ</sup>  
願<sup>ネガ</sup>カヲタノミ。他カヲアフキタラシ人ノ念佛ハ。声々<sup>コトコト</sup>念々<sup>ネンネン</sup>。  
併<sup>ヒ</sup>ラ他カノ念佛ニテアルヘシ。サレハ三心ヲオコシタル人ノ  
念佛ハ。日々夜々時々尅々<sup>クツクツ</sup>ニ唱<sup>ナウ</sup>レトモ。シカレナカラ。願<sup>ネガ</sup>カ  
ヲ仰<sup>オホ</sup>キ他カヲタノミタル心ニテ。唱<sup>ナウ</sup>居<sup>イ</sup>タレハ。カケテモフレテモ。  
自カノ念佛トハイフヘカラス。又三心ト申事ハ。ソノ子<sup>コ</sup>細<sup>サイ</sup>ヲ  
シリタル人ノ念佛ニ三心具足<sup>スベシ</sup>事ハ。左<sup>サ</sup>右<sup>ユウ</sup>ニ及<sup>およ</sup>ハスツヤツ  
ヤ。三心ノ名ヲタニモシラヌ。無智<sup>ムチ</sup>ノ輩<sup>トモ</sup>ノ念佛ニハ。イカテカ。三  
心具<sup>タ</sup>レ候<sup>コト</sup>ヘキト。申人モ候<sup>コト</sup>ヤラシ。コレハ返<sup>マゼ</sup>ル<sup>ル</sup>僻事<sup>ヒキコト</sup>ニテ候<sup>コト</sup>  
リ。タトヒ三心ノ名ヲタニモシラヌ。無智<sup>ムチ</sup>ノ者<sup>モノ</sup>ナレトモ。彌陀ノ  
誓<sup>チカセ</sup>ヲ奉<sup>タテマ</sup>テ。スコレモ疑<sup>ウタガ</sup>フ心ナクシテ。此<sup>コノ</sup>名號<sup>ナマゴト</sup>ヲ唱<sup>ナウ</sup>レハ。ゴノ心

カ即三心具足ノ心ニテアルナリ。サレハタ、ヒラニ信シテタニ  
モ。念佛スレハヲノツカラ具スルナリ。サレハコソ。ヨニアサレキ一  
丈不通ノ輩ノナカニモ。トスチニ念佛スルモノハ。臨終正念  
ニシテ。目出タキ往生ヲハスレゴレ現證アラタナル事ナリ。露  
麈モ。疑ヘカラス。中々ヨクモシラヌ。三心沙汰シテ。ヤキサニ。  
心得タル人々ハ。臨終モ思フ様ナラヌ事オホシ。ソレニテ。誰々  
モ。心得ヘキ也。又トキトキ別時ノ念佛ヲ修シテ。心ヲモ身  
ヲモハケミ。トノヘス。ムヘキナリ。日々二六萬返七萬返ヲ  
唱ヘハ。サテモ足ヌヘキ事ニテアレトモ。人ノ心サニハ。イタク目  
ナレ耳ナレヌレハ。イライラトス。ム心スクナク。アケクレハ。急々  
トシテ。心閑ナラヌ様ニテノミ。疎略ニナリユクナリ。ソノ心ヲス、

メニタメニ。時々別時ノ念佛ヲ修スヘキナリ。シカレハ。善導  
和尚モ。子ニコロニハケレ。惠心ノ先德モ。クハレクヲシヘラレタリ。  
道場ヲモ。ヒキツクロヒ。花香ヲモ。備タテツラン事。タ、千カラノ  
タヘタラニシ。タカフヘシ。マタ我身ヲモ。コトニキヨメテ。道場ニ入  
テ。或ハ二時。或ハ六時ナントニ。念佛スヘシ。モレ同行ナト。ア  
タアラシ時ハ。カハルカハルイリテ。不断念佛ニモ。修スヘシ。加様  
ノ事ハ。ヲノヲノ様ニ隨テ。ハカラフヘシ。善導和尚八月ノ一日  
ヨリ。八月二至ルマテ。或ハ八月ヨリ十五二至ルマテ。或ハ十  
五日ヨリ廿三日ニイタルマテ。或ハ廿三日ヨリ晦日ニイタ  
ルマテト。仰ラレタリ。面々指合ハサラン時ヲ。ハカラヒテ。七日ノ  
別時ヲ常ニ修スヘシ。ユメユメス、口事トモヲイフモノニ。スカサ

レテ不善ノ心アルヘカラス。ニタイカニモイカニモ。臨終正念ニ  
安住<sup>アム</sup>シテ。目ニハ阿彌陀ホトケヲオカミ。口<sup>ク</sup>ニハ彌陀ノ名號ヲ  
唱<sup>ウタ</sup>ヘ心ニハ聖衆ノ來迎<sup>ライウ</sup>ヲ待<sup>マ</sup>タテマツルヘシ。年<sup>シ</sup>比<sup>ヒ</sup>日<sup>ニ</sup>比<sup>ビ</sup>イニ  
シク。念佛ノ功ヲ積タリトモ。臨終ニ惡緣<sup>アクエン</sup>ニモアヒ。寂<sup>サマ</sup>後<sup>ゴ</sup>ニアリ  
キ心モオコリテ。念佛ノ心行ヲモ退<sup>ヒ</sup>シヌルモノナラハ。順次<sup>ジュンジ</sup>ノ  
往生<sup>ウシヤウ</sup>シハツシテ。一生<sup>イツシウ</sup>ニ生ナリトモ。三生<sup>サンシウ</sup>四生<sup>シシウ</sup>ナリトモ。生死  
ノナカレニシタカヒテ。出離<sup>シュリ</sup>ノ道<sup>ミチ</sup>ニト、コホラシコトハ。マメヤカニ心  
ウク。口<sup>ク</sup>惜<sup>シ</sup>キ事<sup>コト</sup>ソカシ。サレハ善導和尚ノ御ス、メニハ願第  
子<sup>シ</sup>等<sup>トウ</sup>臨命終時<sup>リンメイシュウジ</sup>。心<sup>シン</sup>不顛倒<sup>フテンタウ</sup>。心<sup>シン</sup>不錯亂<sup>フサクラン</sup>。心<sup>シン</sup>不失念<sup>フシツネン</sup>。身心  
無<sup>ム</sup>諸<sup>シュ</sup>苦<sup>ク</sup>痛<sup>ツウ</sup>。身心快樂<sup>クワイラク</sup>。如<sup>ニ</sup>入<sup>ニ</sup>禪定<sup>ゼンテイ</sup>。聖衆現前<sup>セイシュウゲンゼン</sup>。乘佛本願<sup>セツブツホンガン</sup>。  
上品往生阿彌陀佛國<sup>ウヘンシヤウシヤウミツ</sup>ト。子<sup>シ</sup>ニコロニ發願<sup>ハツガン</sup>セヨトノ給<sup>タマ</sup>ヘリ。

イヨイヨ臨終ノ正念ヲハイノリモシ。子カフヘキ事ナリ。臨終正  
念<sup>シンネン</sup>ヲイノルハ。彌陀ノ本願ヲタノメ又モノゾナント申人ハ。善導  
ニハ。イカホトニサリタル學聖ソト思<sup>オモ</sup>ヘシ。アナアサマシオソロシオ  
ソロシ。マタ念佛ハ常ニヲコタヌカ。一定往生スル事ニテアル  
ナリ。善導ス、メテノ給<sup>タマ</sup>ハク。一發心已後<sup>イツハツシンイゴ</sup>。誓畢<sup>セツビ</sup>此生無有  
退轉<sup>テイテウ</sup>。唯以淨土爲期<sup>タテマ</sup>。又云。一心專念彌陀名號<sup>イツシンセンネンミツトナメカ</sup>。行住  
坐卧<sup>ソウワ</sup>。不問時節<sup>フモンジセツ</sup>。久近<sup>クジン</sup>。念々不捨<sup>ネンネンフツテ</sup>者<sup>モノ</sup>。是名正定之業<sup>シヤウテイノゲ</sup>。順  
彼佛願<sup>ソノブツノガン</sup>故<sup>ユヘ</sup>ト。イヘリ。カヤウニス、メニシタル事ハ。アマタ多ケレ  
トモ。ゴトゴトクニカキノセカタシ。馮<sup>トモ</sup>ヘシ仰<sup>オウ</sup>ヘシ。フカク信スヘシ。更  
ニ疑<sup>ウタガ</sup>事<sup>コト</sup>ナカシ。マタゴトシク。念佛ヲ行<sup>ユク</sup>シテ。ケニケニシキ。念佛者  
ニナリヌレハ。ヨロツノ人ヲミルニ。ミナワカコ、ロニハオトリテ。アサマ

シクワロケレハワカ身ノヨキマ、ニ。我ハユ、レキ。念佛者ニテア  
ルモノカナ。誰々ニモ勝タリト思ナリ。コノ心ヲハヨクヨクツ、レ  
ムヘキ事ナリ。世モヒロウ。人モ多ケレハ。山ノオク林ノナカニ。コモ  
リ井テ。人ニモシラレヌ。念佛者ノ貴ク目出キ。サスカニ多クア  
ルヲ。ワカキカスレラヌニテコソアレサレハワレ。程ノ念佛者ヨモ  
アラレトオモフ。僻事ナリ。コノ思ハ大。憍慢ニテアレハ。即ニ心  
モカクルナリ。マタソレヲタヨリトシテ。魔縁ノキタリテ。往生ヲ  
妨クルナリ。コレ我身ノイミシクテ。罪業モ滅シ極樂ヘモ。マイ  
ル事ナラハコソアラヌ。ヒトヘニ。阿彌陀佛ノ願カニテ。煩惱ヲ  
モノソキ。罪業ヲモケレテ。カタシケナク。手ツカラミツカラ。極樂ヘ  
△カヘトリテ。歸ラセマシマス事ナリ。我チカラニテ。往生スル事

ナラハコソワレカレトイフ。慢心ヲハオコサヌ。憍慢ノ心タニ  
モ。オコリヌレハ。心行カナラスアヤマル故ニ。タキトニロニ。阿彌陀  
ホトケノ願ニ。ソムキヌルモノニテ。彌陀モ諸佛モ護念シ給ハ  
サルマ、ニ。惡鬼ノタメニモ。ナヤマサルハナリ。返々モツ、レミテ。  
憍慢ノ心ヲオコスヘカラス。アナカレコアナカレコト。子シコロニヲ  
シヘヲキタマヘリ。フカク聖人教誡ノ詞ヲ信シテ。敢テ本願ニ  
ホコルオモヒナク。往生ノ前途ヲ遂ヘキモノナリ

第二十二卷

第一段

或人不注名字。上人ノ勸化ニ歸シテ。安心起行ノヤウ。コ  
カニタツ子申ケルニツキテ。レルシツカハサシケル状云。御返事コ

下カニウケタマハリ候又。加様ニ申事ノ一分御サトリヲソヘ。往  
生ノ御心サレモ。ヨクナリ候又ヘカラシニハ。オソシヲモカヘリミ候  
ヘキ事ニテ候ハス。イクタヒニテモ申タクコソ候ヘ。ゴトニワカ身  
ノイヤレク。我心ノツタナキヲカヘリミス。タシタシモ。ミナ人ノ彌  
陀ノチカヒヲタノミテ。決定往生ノミチニオモムカントコソ。オモ  
フコトニテ候ハトモ。人ノ心サニサニニテ。タ、ヒトスチニ。ユメニホロ  
レノウキ世ハカリノタノシミサカヘヲノミモトメテ。スヘテ後ノ世  
ヲモシラヌ人モ候。又後ヲオソルヘキ事ヲ思シリテ。ツトメオコ  
ナフ人ニツキテモ。カレコレニ心ヲウツシテ。ヒトスチニ。一ノ行ヲタノ  
マヌ人モ候。又ハイッレノ行ニテモ。モトヨリコ、ロサレハレメオモ  
ヒツメツルヲハ。イカナルコトハリヲキケトモ。モトノ執心ヲアラタ

メヌ人モ候。マタ今日ハイミレク。信ヲオコレテ。スチニオモヒツキヌトミ  
ル程ニ。ノチニハウチスツル人モ候。カクノミ候テ。モトシク浄土ニ一門  
ニイリテ。念佛ノ一行ヲモハラニスル人モ。アリアリカタク候事ハ。我  
身一ノナケキトコソハ。人シレス思候ヘトモ。法ヨリテ。人ニヨラヌ理ヲ  
ウレナハヌホトノスモアリカタキ世ニテ候ニヤ。ヲノツカラス。メ。コ。ロ。ミ。候  
ニモ。ワレカラアナツラハレサニ。申イッル事モ。ステスルニヤト。思レラ  
ルハ。事ノミニテ候事ノ心ウクカナレク候テ。コノユヘニ。イマヒトキハト  
ク。浄土ニムシレテ。サトリヲヒラキテノチニ。イソキ此世果ニカレキ  
タリテ。神通方便ヲモテ。結縁ノ人ヲモ。無縁ノモノヲモ。ホムルヲ  
モ。ソレルヲモ。ミナコトコトク。念佛ニス。メイシレテ。浄土ニムカヘト。チカ  
ヒヲオコレテノミコソ。當時ノ心ヲモナクサル事ニテ候ニ。コノオホ

世ニソ。ワカ心サレモ。シルレアル心地シテ。アマリニウレク候ハソノ  
儀ニテ候ハ。オナレクハ。ゴメヤカテニケニシク。御沙汰候テ。ユクスヘ  
モ。アヤウカラス。往生モタノモシキホトニ。思食サタメサセ給ヘク  
候。詮シテハ。人ノハカラヒ申ヘキ事ニテ候ハス。ヨクヨク案シテ御  
覽候ヘ。コノ事ニスキタル御大事ナニコトカハ候ヘキ。コノ世ノ各聞  
利養ハ。ナカナカ申ナラフルニモ。イマイレク候。ヤカテ昨日今日  
旦。ナコニサイキリ。ミニミニチタル。ハカナサニテ候ヌシハ。事アタラシ  
申タツルニモ及候ハス。タ、返々、御心ヲシタメテ。思食ハカラフヘ  
ク候。サキハ聖道浄土ノ二門ヲ。心エワケテ。浄土一門ニイラ  
セ。レ、スヘキ由ヲ申候キ。イハ浄土門ニツキテ。行スヘキ様ヲ  
申ヘシ。浄土ニ往生セント。オモハン人ハ。安心起行ト申テ。心ト行

ト相應スヘキナリ。ソノ心トイフハ。觀無量壽經ニトキテ云。モレ衆  
生アテ。ワカ國ニムマレシトオモハンモノハ。二種ノ心ヲオコシテ。ス  
ナハキ。往生ス。ナニヲカニトスル。一ニハ至誠心。二ニハ深心。三  
ニハ廻向發願心ナリ。三心ヲ具セルモノハ。カナラス。カノ國ニ  
生トイヘリ。善導和尚コノ三心ヲ釋シテイハク。ハレメニ至誠  
心。至トイフハ。眞ナリ。誠トフハ。實ナリ。一切衆生ノ身口意  
業ニ修スルトコロノ。解行カナラス。眞實心ノナカニテスヘキコ  
トヲアカサント思フ。外ニ賢善精進ノ相ヲ現シ。内ニ虚假  
ヲイタク事ヲエサシ。内外明闇ヲエラハス。カナラス。眞實ヲモチ  
テ。カルカユヘニ。至誠心トナツクトイヘリ。コノ釋ノ心ハ至誠  
心トイフハ。眞實心ナリ。ソノ眞實トイフハ。身ニラルヘビ。口ニイ



ヒ。心ニオモハン事。ミナマコトノ心ヲ具スヘキナリ。スナハチ内ハムナ  
レクシテボカラカサル心ナキヲイフナリ。コノコノロハ。ウキ世ヲソム  
キテ。マコトノミチニオモムタトオホシキ。人々ノ中ニオホク用意ス  
ヘキ心ハヘニテ候ナリ。ワレモ人モ。イフハカリナキユメノ世ヲ執  
スルコノロノフカハリ。レナコリニテ。ホトホトニツケテ。各聞利養  
ワツカニフリ入テタルハカリヲ。カクタイミシキ事ニシテ。今世サ  
マニモ心ノタケニウルサキニトリナシテ。サトリアサキ世間ノ人  
ノ心ヲハシラス。タウトカリイミシカルヲ。コレコソハ本意ナレト。コ  
コロサレタル心ニテ。ミヤコノホトリヲ。カキハナレテ。カスカナル住  
所ヲタツヌルマデモ。心ノレツミランタメヲツキニナシテ。本尊道  
場ノ莊嚴<sup>キヤゴシ</sup>カキノウチニ。花ノコタチナントノ心ホソク。モノアハ

レナラン事カラヲ。人ニヨエヤカレシ事ヲノミ。執スルホトニツユ  
程<sup>ノ</sup>事モ。人ノノレリニナラン事アラレト。オモヒイトナム心ヨリホ  
カニオモヒニシフル事ナシ。如様ナル心ニノミナシテ。佛ノ千カヒ  
ヲタノミ。往生ヲ子カハント。イフコトハ。オモヒイリス。沙汰モ世ヌ  
事ノカテ至誠心カケテ。往生セヌ心ハヘニテ候ナリ。又カク  
申候ヘハ。ヒトヘニ今世ノ人目ヲハイカニテモアリナシ。人ノソ  
レリヲカヘリミヌカ。ヨキソト申儀<sup>ギ</sup>ニテハ候ハス。人目ヲカヘリミ  
ル事ハ候ヘトモ。ソレヲノミオモヒイシテ。往生ノサハリニナルカク  
ヲハガヘリミヌヤウニ。ヒキナサレ候ハン事ノ返々<sup>ヌ</sup>ヲロカニクチ  
ヲレク候ヘハ。御身ニアタリテモ。御心エサセマイラセンカタメニ  
申候ナルコノ心ニツキテ。四句ノ不同アルヘシ。一二ハ外相<sup>ササ</sup>ハ

タウトケニテ。内心ハ貴カラヌアリ。二六外相モ内心モ共ニ  
貴カラヌ人アリ。三三六外相ハタウトケモナクテ。内心ハタウトキ  
人アリ。四三六内外共ニ貴キ人アリ。ゴノ四人ガナカニ。サキノ  
二人ハイマキラフトコロノ至誠心カケタル人ナリ。コレラ虚假  
ノ人トナツクヘシ。ノチノ二人ハ至誠心具シタル人ナリ。コシ  
ヲ眞實ノ行者トナツクヘシ。サレハ詮スル所ハ。タ、内心ニココ  
トノ心ヲオコシテ。外相ヲハヨクモアレクモ。トデモカクデモアルヘ  
キカト。オホヘ候也。オホカク。ゴノ世ライトハン事モ極樂ヲ子カ  
ハン事モ。人目ハカリヲオモハテ。ゴトノ心ヲオコスヘキニ候也。  
是ヲ至誠心ト申ナリ。二ニ深心トイフハ。善導ノ釋ニイハク。  
深心トイフハ。スナハチコレフカク信スル心ナリ。コレニ二種アリ。

一ニ六決定シテ。フカク。ワカ身ハ煩惱具足セル罪惡生死ノ  
凡夫ナリ。善根薄少ニシテ。曠劫ヨリコノカク。ツ子ニ流轉シテ。  
出離ノ縁ナシト信スヘシ。二ニハフカクカノ阿彌陀佛ノ四  
十八願ヲモテ。衆生ヲ接取シ給スナハチ各號ヲ稱スルコト。  
下十声ニイタル。テカノ願ニ乘シテ。サダメテ往生スル事ヲ  
ウト信シテ。乃至一念佛モ。ウタカウコトナキカユヘニ。深心トナツ  
ク。マタ深心トイフハ。決定シテ。心ヲタテ。佛教ニシタカヒテ。修  
行シテ。ナカク疑心ヲノメクナリ。一切ノ別解別行異學異  
見異執ノタメニ。退失傾動セラレサレトイヘリ。ゴノ釋ノ心ハ。  
ハシメニ。ハワカ身ノホトヲ信シ。後ニハ佛ノ願ヲ信スルナリ。ソノ  
故ハ。モレハシメノ信心ヲアケスシテ。後ノ信心ヲ釋シ給ハ。モ

口モロノ往生ヲ子カハシ人。タトヒ本願ノ名號ヲトナフトモ。ミ  
ツカラ。心ニ貪欲<sup>エヨク</sup>眞恚<sup>シイ</sup>煩惱<sup>ホム</sup>ヲモオコシ。身ニ十<sup>ア</sup>惡<sup>ア</sup>破戒<sup>ハ</sup>等ノ  
罪惡ヲモ。ツクリタル事アラハ。ミタリニ自身ヲカロシメテ。身ノ  
ホトヲカヘリミテ。本願ヲ疑ヒ候ハ。イマコノ本願ニ十聲  
一聲マテ。往生ストイフハ。オホロケノ人ニハ。アラシナトソ。オホヘ  
候ハ。ミ。シカルヲ善導和尚未來ノ衆生ノ。コノウタカヒヲ。オ  
コサニ事ヲカハミテ。コノ二ノ信ヲアケテ。我等カイマタ煩惱  
ヲモ断<sup>ダン</sup>セス。罪業ヲモ。ツクル九夫ナレトモ。フカク彌陀ノ本願  
ヲ信シテ。念佛スレハ。一聲ニイタルニテ。決定シテ。往生スルヨ  
ク。尺シタマヘル。コノ釋ノコトニ心ニソミテ。イミシク。オホエ候ナリ。  
コトニ。カクタニモ。釋シ給ハサラマレカハ。往生ハ不定ニ。オホ

エ候ハ。ミ。ト。アヤウクオホエ候。サレハコノ儀ヲ心エワカヌ人ヤ  
ラソ。ワカ心ノワロケレハ。往生カナハレトコソハ。申アヒテ候メレソ  
ノウタカヒノヤカテ。往生セヌ心ニテ候ケルモノヲ。タハ心ノ善  
惡ヲモ。カヘリミス。罪<sup>ツミ</sup>ノカロキオモキラモ沙汰セス。心ニ往生セシ  
トオモヒテ。口ニ南無阿彌陀佛トナヘテ。聲ニツキテ決定  
往生ノ思ヲナスヘレソ。ノ決定心ニヨリテ。スナハチ往生ノ業  
ハ。サタミレルナリ。カク心エ子ハ。往生ハ不定ナリ。往生ハ不定ト  
オモヘハ。ヤカテ不定ナリ。一定ト思ヘハ。一定スル事ニテ候ナ  
リ。サレハ詮<sup>ゼン</sup>ハフカク信スル心ト申候ハ。南無阿彌陀佛ト申ハ  
ソノ佛ノ誓<sup>チカヒ</sup>ニテ。イカナル身ヲモキラハス。一定ムカヘ給フト。フ  
カクタノミテ。イカナルトカラモ。カヘリミス。ウタカフ心ノスコシモ

ナキヲ申候ナリ。又別解別行ノ人ニヤフラサレト申ハサトリ  
 コトニ。行コトナラシムノイハシコトニツキテ。念佛ヲモステ。往生  
 フウタカフ事ナカレト申候ナリ。乃至タトヒ。佛キタリテ。光ヲ  
 ハナキ。舌ヲイタシテ。煩惱罪惡ノ凡夫。念佛シテ。決定往生  
 ス。トイフ事ハ。ヒカ事ヲ信スヘカラスト。イフトモ。ソレニヨリテ。一  
 念モ疑心アルヘカラスト。ソノユヘハ。一切ノ佛ハ。ミナ同心ニ衆  
 生ヲ。ミチヒキ給ナリ。ソノ阿彌陀如來願ヲオコシテ。ノクハク。  
 フレ佛ニナラシニ。十方ノ衆生。ソノ國ニムシント子カヒテ。ソカ  
 各號ヲ唱ル事。下十聲ニイタルニテ。我願ガニ乘シテ。モシ  
 ムレストイハ。正覺ヲトラレト。チカヒ給フ。ソノ願成就シテ。ス  
 テニ佛ニナリタニヘリ。レカルヲ釋迦佛ノコノ世衆ニイテ。コノ佛

ノ本願ヲトキ給ヘリ。マタ六方ニ。ソノソノ恒河沙數ノ佛マ  
 シレシテ。一々ニ舌ヲノヘテ。三千大千世界ニオホク。無虛  
 妄ノ舌相ヲ現シテ。釋迦佛ノ彌陀ノ本願ヲホメテ。一切  
 衆生ヲス、メテ。カノ佛ノ各號ヲトナフレハ。サタメテ往生スト。  
 トキタマヘルハ。決定シテ。ウタカヒナキ事ナリ。一切衆生ミナコ  
 ノ事ヲ信スヘシト。證據シ給ヘリ。カクノコトク。一切ノ佛。一  
 佛モノコラス。同心ニ一切ノ凡夫念佛シテ。決定往生ス  
 ハキム子ヲ。或ハ願ヲタテ。或ハソノ本願ヲトキ。或ハソノ説ヲ  
 證シテ。メ給ヘリ。コノウヘ。マタイカナル佛ノキタリテ。往生ス  
 ヘカラストハ。イヘルメト。イフコトハリノ候ソカレ。コノユヘニ。佛キ  
 タリテノ給トモ。オトロクヘカラスト申ナリ。佛ナラシカナリ。イハシ

菩薩ヲヤ。イハシキ縁覺ヲヤ。イハシキ九夫ヲヤト。心エツシハ  
 一タヒコノ念佛往生ノ法門ヲキ、テ。信ヲオコシテ。ノ千六  
 イカナル人トカク申トモ。疑心アルヘカラストコソハ。オホエ候  
 へ。コレヲ深心ト申候也。三ニ廻向發願心トイフハ。善導ノ  
 釋ニイハク。過去ヲヨヒ今生ノ身口意業ニ修スルトコロノ  
 世出世ノ善根。ヲヨヒ他ノ一切ノ凡夫ノ身口意業ニ修ス  
 ルトコロノ世出世ノ善根ヲ隨喜シテ。コノ自他所修ノ善  
 根ヲモテ。コトコトクミナ。真實ノ深信ノ心ノ中ニ廻向シテ。カ  
 ノ國ニムレニト願スルナリ。又廻向發願トイフハ。カナラス。  
 決定ノ真實心ノ中ニ。廻向シテ。ムル、コトヲウル思ヲナセ。  
 コノ心ヲカクシテ。ナラシ金剛ノコトクニシテ。異覺異別解別

行ノ人ノタメニ。動亂破壊セラレサレトイヘリ。コノ釋ノ心ハマ  
 ツワカ身ニツキテ。サキノ世ヲヨヒ今生ニ身モ口ニモ。ツクリタラ  
 ム功德ヲ。ミナコトコトク極樂ニ廻向シテ。往生ヲ子カフナリ。  
 次ニハワカ身ノ事ニモ。人ノ事ニテモ。コノ世ノ果報ヲモ。イノ  
 リ。マタオナレノキノ世ノ事ナリトモ。極樂ナラヌ餘ノ淨土ニム  
 マレトモ。モレハ都率ニムレトモ。モレハ人中天上ニムレニ  
 トモ。子カヒカクノコトク。カシニモコレニモ。コトナル事ニ廻向スル  
 事ナクシテ。一向極樂ニ往生セント廻向スヘキナリ。モレコノ  
 理ヲ。オモヒサタメサランサキニ。コノ世ノコトヲモイノリ。アラヌ餘  
 ノカタヘモ。廻向シタル功德トモヲ。ミナトリ返テ。イハコトコト  
 ク往生ノ業ニナサント。廻向スヘキナリ。マタ一切ノ善ヲ。ミナ

極樂ニ廻向スヘシト申セハトテ。念佛一門ニ歸シテ。一向  
ニ念佛ヲ申サン人ノコトサラニ。餘ノ功德ヲツクリアツメテ。  
廻向セヨト申シ候ハス。ガノスキヌルカタニ。ツクリキタラニ功  
徳ヲモ。モシマタコレヨリノチナリトモ。ラノツカラタヨリニ。シタカヒ  
テ。念佛ノホカニ。余ノ善ヲ修スル事アラシヲモ。シカシナカラ往  
生ノ業ニ廻向スヘシト申事ニテ候ナリ。コノ心。金剛ノ如ク  
ニシテ。別解別行ノ人ニ。ヤフラレサレト申候ハ。サキニ申ツル  
様ニ。異解ノ人ニラレヘラレテ。カレコレニ。廻向スル事ナカレト  
申候ナリ。金剛ハ。ヤフラレヌモノニテ候ナレハ。タトヘニトリテ。コノ  
心ノヤフラレサラン事モ。金剛ノコトクナレト申候。コレヲ廻  
向發願心トハ申候ナリ。三心ノアリサニ。オロオロ申ヒラキ候

又。コノ三心ヲ具シテカナラス。往生スルナリ。モレ一ニ心モカケヌ  
レ。往生スルコトヲエスト。善導釋シ給タレ。往生ヲ子カハシ  
人ハ。尤モコノ三心ヲ具足ヘキナリ。至コレヲ安心トハナツ  
ケテ候ナリ。次ニ起行トイフコトノ申ヒラキ候心ハ。三ニテ。一向ニ  
念佛ヲ申サセオハシマスヘキニ候。マタコト行ニテ候トモ。極  
樂ニカタトリテ候ハシ行ヲカレコレニ心ヲカケスレテ。ツトメ行  
スヘキニテ候ナリ。オホヨソ極樂ニムレ候ヘキ。行ニハ阿彌陀  
佛ノ本願ニモ。釋迦佛ノ説教ニモ。善導ノ解釋ニモ。諸師  
ノ科簡ニモ。念佛ヲモテ。本體トスル事ニテ候ナリ。ソノホカノ  
行ハ。トリツキ。タシタシモス。メ給事候ハス。サハ候ヘトモ。イツレ  
モイツレモ。聖教ヲナラヒ。何事ニモ。オモヒアテカヒテ。イノリ申ニ

ミナコトコトクノナカタナラスト。イフコトノ候ハ子ハ念佛  
イカニモイカニモ。信レタク。オモハサラン人ハ。マタコノロノヒカン  
ニ。レタカヒテ。イツレノ行ニテモ。ツトメニシタカヒテ。極樂ニ廻向  
セヨト。申候ナリ已上  
取證

第二段

一 又アル人。往生ノ用心ニツキテ。オホツカナキ事ヲ。百四  
十五箇條カ下テ。レルレテ。タツ子申タリケルニ。上人ノ御返  
事アリキ。少々オホコレヲレルス。  
一 心ヲ一々ニシテ。心ヨクナホリ候ハストモ。何事ヲ。コナヒ候  
ハストモ。念佛ハカリニテモ。淨土ヘハマイリ候ヘキカ。答。心ノ  
ミタルハコシ。凡夫ノナラヒニテ。チカラヲヨハヌ事ニテ候。タ

タ心ヲヒトツニシテ。ヨク御念佛セサセタハ。ソノ罪ヲ減シ  
テ。往生セサセ給ヘキナリ。ソノ妄念オホヨリモ。モキ罪モ念佛  
タニモ候ヘハ。ウセ候ナリ  
一 日所作ハ。カナラス。カズヲサタメ候ハストモ。ヨミシニシタカヒ  
テヨミ。念佛モ申候ヘキカ。答。カスヲサタメ候ハ子ハ。解カ息カニチ  
リ候ヘハ。數オホヲサタメ候カ。ヨキ事ニテ候  
一 ニラキ。ヒル鹿カヲクヒテ。香カウセ候ハストモ。ツ子ニ念佛ハ申候  
ヘキヤラン。答。念佛ハナニモサハラヌ事ニテ候  
一 念佛ヲハ。日所作ニ。イタラハカリアテ。カ申候ヘキ。答。念  
佛ノカスハ。一萬遍カヲハシメテ。二萬三萬五萬六萬乃至  
至十萬カニテ申候ナリ。コノナカニ。御コノロニカセテ。オホシ

メレ候ハシ程ヲ申サセオハシニスヘシ

一 五色ノ糸ハ佛ニハヒダリニト。仰候キワカ手ニハイツレノカ

タニテイカ、ヒキ候ヘキ。答左右ノ手ニテヒカセ給ヘシ

一時レ候ハ功德ニテ候ヤラシ。カナラススヘキ事ニテ候ヤラシ

答時ハ功德ウル事ニテ候ナリ。六齋ノ御時ノサモ候又

ヘキ。夕御太事ニテ御病ナトモ。オコラセオハシニスヘク

候ハ。サナクトモタ、御念佛タニモ。ヨクヨク候ハ、ソレニテ

生死ヲハナシ。浄土ニ往生セサセオハシニスル事ハコレ

ニヨルヘク候

一 カナラス佛ヲ見イトヲヒカヘ候ハストモ。ワレ申サストモ。人ノ

申サン念佛ヲキ、テモ死候ハ、浄土ニハ往生シ候ヘキ

ヤラン。答カナラス。イトヲヒクト云事候ハス。佛ニムカヒマイラ

世子トモ。念佛タニモス。ハ。往生シ候ナリ。マタ聞テモシ候。ソ

レハヨクヨク。信心フカクテノ事ニテ候

一 ナカク生死ヲハナシ。三東ニムシレト。オモヒ候ニ。極樂ノ衆

生トナリテモ。ソノ縁ツキ又レハ。コノ世ニムルト申候ハ。ニコト

ニテ候カ。タトヒ國王トモナリ。天上ニモ。ムシレヨ。タ、ニ界ヲ

ワカレント。オモヒ候ニ。イカニツトメ。ヲコナヒテカ。歸リ候ハサ

ルヘキ。答コレモロモノノヒカ事ニテ候。極樂ヘ。ヒトタヒムマ

レ候又レハ。ナカクコノ世ニカヘル事候ハス。ミナホトメニナル

事ニテ候ナリ。タ、ハシ人ヲミチヒカンタ。又ニハ。コトサラニ。カヘ

ル事モ候サレトモ。生死ニ又クル人ニハ候ハス。三界ヲハナ



一 極樂ニ往生スルニ。念佛ニスキタル事ハ候ハヌナリ。ヨクヨク御念佛ノ候ヘキナリ

一 歌ヨムハ罪ニテ候カ。答アナカキニ得候ハシ。但罪モナリ。功德ニモナリ

一 酒ノムハ罪ニテ候カ。答マコトニツキレハノムヘクモナケレトモ。コノ世ノナラヒ

一 錫杖ハカナラス誦スヘキカ。答サキクトモ。ソノイトマニ。念佛一遍モ申ヘシ。尾法師コソアリクトキ。虫ノタヌニ誦候ヘ

一 臨終ニ善知識ニアヒ候ハストモ。日比ノ念佛ニテ往生ハシ候ヘキカ。答善知識ニアハストモ。臨終オモフヤナラ

ストモ。念佛申サハ。往生スヘシ

一 心ニ妄念ノイカニモ思ハシ候ハイカ、シ候ヘキ。答タ、ヨクヨク念佛ヲ申サセ給ヘ

一 子テモサメテモ。口アラハテ。念佛申候ハイカ、候ヘキ。答タ、ルシカラス

一 六齋ニニラヒルイカニ。答メササランハヨク候

一 毎日ノ所作ニ。六萬十萬ノ數遍ヲ。念珠ヲクリテ申候ハシト。二萬三萬ヲアツトモ

ツシカヨク候ヘキ。答九夫ノナラヒ。二萬三萬ヲアツトモ。如法ニ。カナヒカタカラシタ、數返ノオホカラシニハスクヘ

カラス。各號ヲ相續セシメナリ。カナラスシモ。カスヲ要トスルニハアラス。タ、常ニ念佛セシカタメナリ。カスヲサタメヌハ。懈

息ノ因縁ナシハ。數遍ヲス、ムルニテ候

一 魚鳥クイテ、イカケシテ。經ハヨミ候ヘキカ。答イカケシテヨム

本體ニテ候。セスシテヨムハ。功德ト罪ト共ニ候。但イカケ

テモヨマヨリハ。ヨムハヨク候

二 所作カキテ。シイシカ子テカ、ニスルヲミツシ候イカニ。答シイ

ル、ハ。クルシカラス。カ子云、懈怠ナリ

一 破戒ノ僧愚癡ノ僧供養セシモ功德ニテ候カ。答破戒

ノ僧愚癡ノ僧ヲ。スエノ世ニハ。佛ノコトク。タトムヘキニテ候

ナリ。コノ御使ニ申候又。キコシメシ候ヘ

コノ御詞ハ。上人ノサシキ御手ナリ。阿彌陀經ノウラニ。

ヲシタリ

第二十三卷

第一段

或人、往生ノ用心ニシキテ。糸々ノ不審ヲ尋申タリケル

ニ。上人ノ御返事云

一 毎白ノ御所作。六萬遍メテタク候。ウタカヒノ心タモ候

ハ子ハ。十念一念モ。往生ハシ候ヘトモ。多ク申候ヘハ。上品

ニムシ候。釋ニモ。上品華臺。見慈主到者皆因念佛

多ト候ヘハ

一 宿善ニヨリテ。往生スヘシト。人ノ申候ラン。ヒカ事ニテハ候

ハス。カリソメノコノ世ノ果報タニモ。サキノ世ノ罪功德ニ

ヨリテ。ヨクモアレクモ。ムル、事ニテ候ヘハ。シテ往生程ノ

大事カナラス。宿善ニヨルヘシト。聖教ニモ候ヤラン。タノシ  
念佛往生ハ。宿善ノナキニモヨリ候ハヌヤラン。父<sup>ラ</sup>母<sup>モ</sup>ヲコロ  
シ。佛身ヨリ血<sup>チ</sup>ヲアヤシタル程ノ罪人モ。臨終ニテ念申  
テ。往生スト。觀經ニモ。ミエテ候。シカルニ宿善アツキ。善人  
ハヲシヘ候ハ子トモ。惡ニヲソレ佛道ニ心ス。ム事ニテ候  
ヘハ。五逆<sup>ト</sup>ナトハ。イカニモイカニモ。ツクル。シキ事ニテ候ナリ。  
ソレニ。五逆ノ罪人。念佛十念ニテ往生ヲトケ候トキニ。  
宿善ノナキニモヨリ候。シク候サレ。經ニ。若人。造多罪。  
得聞六字名。火車自然去。花臺即來迎。極重惡人  
無他方便。唯稱彌陀得生極樂。 若有重業障。無  
生淨土因。乘彌陀願力。必生安樂國。コノ文ノ心ハ。

モシ五逆ヲツクシリトモ。彌陀ノ六字ノ名ヲキカハ。火ノ車<sup>クルマ</sup>  
自然ニサリテ。蓮臺<sup>タテ</sup>キタリテ。ムカフヘシ。又キハメテオモキ。罪  
人ノ他ノ方便ナカラシモ。彌陀ヲトナヘタテ。ツラハ。極樂ニ  
ムルヘシ。タモシ。モキサハリアリテ。淨土ニムルヘキ因ナ  
クトモ。彌陀ノ願力ニノリテ。安樂國ニ。ムルヘシト候ヘ  
ハ。タノモシク候。又善導ノ釋ニ。曠劫ヨリコノカタ。六道ニ輪<sup>リ</sup>  
廻<sup>エ</sup>シテ。出離ノ縁ナカラシ。常没<sup>ニヤボツ</sup>ノ衆生ヲムカヘンカタメニ。  
阿彌陀佛ハ。佛ニナリタマヘリト候。ソノ常没ノ衆生ト  
申候ハ。恒河<sup>ヨラガ</sup>ノソコニツミタル。イキ物ノ身オホキニ。十カク  
シテ。ソノ河<sup>カ</sup>ニ。カカリテ。エハタラカス。ツ子ニツミタルニ。惡世ノ  
凡夫ヲハ。タトヘラレテ候。又凡夫ト申ス。ニノ文字ヲハ。狂<sup>キヤウ</sup>

醉スイノコトシト。弘法コウボウ大師ダイシ釋シヤクシタマヘリ。ケニモ九夫ノ心ハ。モノクルヒ。サケニエイタルカ。コトクシテ。善惡ニツケテ。オモヒサタメタル事ナシ。一ト時トキニ煩惱ボンノウモ、タヒマシハリテ。善惡ミタシヤスケレハ。イツレノ行ナリトモ。ワカキカラニテハ。行シカタシ。シカルニ。生死シヤウジヲハナシ。佛道ブツダウニイルニ。菩提ホトケ心シンヲオコシ。煩惱ボンノウヲツクシテ。三祇サンギ百劫ヒャクキヤク難行ナンギヤウ苦行クギヤウシテ。佛ブツニハナルヘキニテ。候マタニ。五濁ゴジュウノ九夫クウブワカキカラニテ。願行ガンギヤウソナル事カナヒカタクテ。六道ロウド四生シヤウジヤウニメクリ候ナリ。彌陀ミダ如來ニヤライ。コノ事ヲ。カナシミ思シ食シヤクテ。法藏ホウザウ菩薩ボサツト申シ。イニシレハ。ワレラカ行シカタキ。僧祇ソウキノ苦行クギヤウヲ兆載テウサイ永劫エイキヤクカアヒタ。功コウヲツミ。徳トクヲカサ子コテ。阿彌陀佛アミダブツニナリタマヘリ。一佛イツブツニナヘタマヘル。

四智シチチ三身サンシン十力ジュリキ無畏ムバイ等トウノ一切イツケツノ内證ナイシヤウノ功德コクドク相好サウガウ光明コウメイ說法セツポフ利生リキヤウ等トウノ外用ゴウヤウノ功德コクドク。サマサナルヲ。三字ノ名字ナナシノ中ナカニ。オサマイレテ。コノ名號ナゲウヲ十聲ジュシヤウテモ。トナヘムモノヲ。カナラスムカヘン。モレムカヘスハ。ワレ佛ブツニナラシト。チカヒ給ケルヘルニ。カノ佛ブツイマ現ケンニ世セニシレテ。佛ブツニナリタマヘリ。名號ナゲウヲトナヘン。衆生ジュウジヤウ往ユウ生シヤウウタカフヘカラスト。善導ゼンドウモ。オホセラレテ候ナリ。コノ様サマヲフカク信シンシテ。念佛ニヤウブツヲコタラス申テ。往生ユウジヤウウタカハヌ人ヒトヲ。他力タリキ信シンシタルトハ。申候ウケマシナリ。世間セカノノ事コトニモ。他力タリキハ候マタソカシ。足タラシナヘ腰ウシ并ナヒタルモノノ。トシキ道ミチヲアユミントオモハンニ。カハ子コハ船車フネクルマニノリテ。ヤスクユク事コト。コレヲカキカラニアラス。乗物ノリモノノチカラナレハ。他力タリキナリ。アサマシ

キ。惡世ノ凡夫ノ諂曲ノ心ニテ。カマヘツクリタルノリ物ニ  
タニモカ、ル他カアリ。マシテ五劫ノアヒタ。思食サタメタル  
本願他カノ。般イカタニリナハ。生死ノ海ヲワタラン事。  
ウタカヒ思食ヘカラス。シカノミナラス。ヤマヒライヤス草木。  
クロカ子ヲトル磁石。不思議ノ用カナリ。麝香ハカウハシ  
キ用アリ。犀ノ角ハ水ヲヨセヌキカラアリ。コレミナ心ナキ草  
木。キカヒシ。オコサヌケタモノナシトモ。モトヨリ不思議ノ用  
カハガクノミコソ候へ。マシテ佛法不思議ノ用カ。マシヤ  
サランヤ。サレハ念佛ハ一聲ニ八十億劫ノ罪ヲ滅スル用  
アリ。彌陀ハ惡業深重ノモノヲ來迎シ給キカラ。マシエ  
ト思食トリテ。宿善ノアリナシモ。沙汰セス。罪ノフカキアサ

キモカヘリミス。タ、名號トナフルモノ。往生スルソト。思食  
ヘク候。スヘテ破戒モ持戒モ。貧窮モ福人モ。上下ノ人ヲ  
キラハスタ、我名號ヲタニ念セハ。石カハラシ變シテ。金トナ  
サシカコトシ。來迎セント。御約束ナリ。法照禪師ノ五會法  
事讚ニモ。彼佛因中立弘誓。聞名念我。摠來迎。不簡  
貧窮將富貴。不簡下智與高才。不簡多聞持淨戒。  
不簡破戒罪根深。但使廻心多念佛。能令瓦礫變  
成金。タ、御ス、シクヲセオハシマシテ。御舌ヲタニモ。ハタラカ  
サシス候ハ云。懈怠ニテ候ヘシ。タ、シ善導ノ三緣ノ中ノ  
親縁ヲ釋シタラニ。衆生ホトケヲ禮スレハ。佛コレヲミタ  
ラ。衆生佛ヲトナフレハ。佛コレヲキ、給フ。衆生ホトケヲ

念スレハ佛モ衆生ヲ念シ給フ。カルカユヘニ。阿彌陀ノ三業ト行者ノ三業ト。カレコレヒトツニナリテ。佛モ衆生モオヤ子ノコトクナルユヘニ。親縁トナツク候ヌレハ。御手ニス、シモタセタニヒテ候ハ。佛コレヲ御ラン候ヘシ。御心ニ念佛申スソカレト。思食候ハ。佛モ行者ヲ念シ給ヘシ。サレハ佛ニミエマイラセ。念セラレミイラスル御身ニテワタラセタマヒ候ハンスルナリ。サハ候ヘトモ。ツ子ニ御シタノハタラクヘキニテ候ナリ。三業相應ノタメニテ候ヘシ。三業トハ。身ト口ト意トヲ申候ナリ。レカモ佛ノ本願ノ稱名ナルカユヘニ。コレヲ本體トハ。思食ヘキニテ候。サテ我耳ニキコユル程申候ハ。高聲ノ念佛ノウキニテ候也。

一御無言目出候。タ、レ無言ナラテ申念佛ハ。功德スクナレト。思食ナハ。アレク候。念佛ヲハ金ニタトヘタル事ニテ候。金ハ火ニヤクニモ。イロニサリ。水ニイル、ニモ。損セス候。カヤウニ念佛ハ妄念ノオコル時。申候ヘトモ。ケカレヌ。モノヲ申スルニモ。マキレ候ハス。ソノヨレヲ。御心エナカラ。御念佛ノ程ハ。コト事マセスレテ。イマスコシ。念佛ノカスヲソヘント。オホシメサン。ハサニテ候。モレ思食ワスレテ。フツト物ナト仰候テ。アナアサマシ。イハコノ念佛。ムナレクナリヌト思食ス。御事ハユメユメ候マレク候。イカヤウニテ申候トモ。往生ノ業ニテ候ヘク候。

一百万遍ノ事。佛ノ願ニテハ候ハ子トモ。小阿彌陀經ニ若

一日。若二百。乃至七日。念佛申入。極樂二生スルトカ  
カシテ候ヘハ。七日念佛申ヘキニテ候。ソノ七日ノ。ホトノ  
カスハ。百萬返ニアタリ候ヨシ。人師釋シテ候ヘハ。百萬  
返ハ。七日申ヘキニテ候ヘトモ。夕ヘ候ハサラン人ハ。八日九  
日ナトニモ。申サシ候ヘカシ。サシハトテ百萬返申サラン  
人ノ。ムルマシキニテハ候ハス。一念十念ニテモ。ムマシ候ナ  
リ。丁念十念ニテモ。ムマシ候ホトノ念佛ト思候。ウレシサニ  
百萬返ノ功德ヲ。カサヌルニテ候也。

一七分全得ノ事。仰ノマ、ニ申ケニ候。サテコソ。逆修ハスル  
コトニテ候ヘサテハ。後ノ世ヲトフラヒ又ヘキ。人ノ候ハシ人  
モ。ソレヲタノエシテ。ウレトハケミテ。念佛申テイソキ極樂ヘ

マイリテ。五通三明ヲサトリ。六道四生ノ衆生ヲ利益シ。  
父母師長ノ生所ヲタツ子テ。心ノマ、ニムカヘトラント。思  
ヘキニテ候ナリ。マタ當時日コトノ御念佛ヲモ。カツカツ廻  
向シ。ミイラセラシ候ヘシ。ナキ人ノタメニ。念佛ヲ迴向シ候  
ヘハ。阿彌陀佛光ヲハナキテ。地獄餓鬼畜生ヲテラシ給  
候ヘハ。ゴノニ惡道ニシツミテ。苦ヲウクルモノ。ソノクルシミ  
ヤスマリテ。命ヲハリテノチ。解脱スヘキニテ候。大經云。若在  
三途勤苦之處。見此光明。皆得休息。無復苦惱。壽  
終之後。皆蒙解脫。經云。爲惡業之人。造善訪之  
七分獲一。爲善根之人。造善七分全得。  
一本願ノウマカハシキ事モナシ。極樂ノ子カハシカラヌニテハナ

ケレトモ。往生一定ト。オモヒヤラシテ。トクマイリタキコ、ロノ  
 アサユフハ。ミシミトモ。オホエスト仰候コト。マコトニヨカラヌ  
 御コトニテ候。浄土ノ法門ヲキケトモ。キカサルカコトクナル  
 ハ。ゴノタビ。ニ惡道ヨリイテ。罪ツミイマツキサル者ナリト。經  
 ニモトカシテ候。又此世ヲイトフ。御心ノウスクワタラセ給  
 ニテ候。ゾノユヘハ。西國ヘクダラントモ。オモハヌ人ニ。船フネヲトラ  
 セテ候ハニニ。舟ノ水ニラカフ事ナシトハ。ウタカヒ候ハ子トモ。  
 當時サシテイルマシケレハ。イタクウシシクモ候マシキソカシ。  
 サテ敵テキノ城ナシト。ニコメラレテ候ハニカ。カラクシテ。ニケテマカ  
 リ候ハニミチニ。大ナル河海カウミナトノ候テ。ワタルヘキ様モナカ  
 ラニオリ。親オヤノモトヨリ。船フネヲ儲ヤヒテ。迎ニタヒタランハ。サシアタリ

テ。イカハカリ。カウシシク候ヘキ。コレカ様ニ。貪ヒシ眞シ煩ナウ惱ナウノ敵カキ  
 ニ。シハラシテ。三東ノ焚籠ホクニコメラレタル我等ヲ。彌陀悲母  
 ノ御志フカクシテ。名號ノ利リ劍ケンヲモ千テ。生ナ死シノキツナシキ  
 リ。本願ノ要ヨウ船センヲ苦海クカイノ波ナミニウカヘテ。カノ岸キニツケタマフ  
 ヘシト。思オモヒ候ハシラシシサハ。歡喜カンキノ渡ワタ袂タテヲシホリ。渴カク仰ガウノ思  
 ヒ肝キニソムキニテ候。セメテ身ノ毛モイヨタツ程ニ。思オモヘキニテ候  
 ヲ。ノサニ思食候ハニハ。本意ナク候ヘトモ。ゾレモコトハリニテ  
 候。罪ツミツクル事コソ。ヲシヘ候ハ子トモ。心ニモツミテ覺ツボ候ヘソ  
 ノユヘハ。無始ムシヨリコノカタ。六趣リクニメクリシ時モ。形ハカハレトモ。  
 心ハカハラスシテ。色々サマサマニ。ツクリナラヒテ候ヘハ。今モ  
 ウ井イ井イシカラス。ヤスクハツクラレ候ヘ。念佛申テ。往生セハ



ヤト思フ事ハ。此度ハシメテ。ワツカニ聞得タル事ニテ候ヘ  
ハ。キトハ信セラレ候ハ又ナリ。ソノウヘ。人ノ心ノ頓機漸機  
トテ。フタシナニ候ナリ。頓機ハ聞テ。ヤカテサトル心ニテ候。漸  
機ハ漸クサトル心ニテ候ナリ。モノニラテ。ナントシレ候ニ。足  
ハヤキ人ハ。一時ニマイリツク所ヘ。足ソソキモノハ。日クラレ  
ニモカナハ又様ニ候ヘトモ。マイル心タニモ候ヘハ。遂ニハトケ  
候様ニ。子カフ御心タニワタラセ給候ハ。年月シカサ子テ  
モ。御信心モフカクナラセオハシメスヘキニテ候

一日比念佛申セトモ。臨終ニ善知識ニアハスハ。往生ニ難  
シ。又ヤミヒ大事ニ。心ニタレハ。往生ニカタレト申候ランハ。サモ  
イハレテ候ヘトモ。善導ノ御心ニテハ。極樂ヘマイラント志テ。多

クモ少クモ。念佛申サン人ノ命ツキム時ハ。阿彌陀佛聖衆ト  
共ニ來テ迎へ給ヘト候ヘハ。日比タニモ。御念佛候ハ。御臨  
終ニ善知識候ハストモ。佛ハ迎へサセ給フヘキニテ候。又善知  
識ノカラニテ。往生スルト申候事ハ。觀經ノ下三品ノ事ニテ  
候。下品下生ノ人ナントコソ。日比念佛モ申候ハス。往生ノ  
心モ候ハヌ。逆罪人ノ臨終ニシメテ。善知識ニアヒテ。十念  
具足シテ。往生スルニテ候ヘ。日比ヨリ。他カノ願カシタノミ。  
思惟ノ名號ヲ唱テ。極樂ヘ參ラント思ヒ候ハ人ハ。善知  
識ノカ候ハストモ。佛ハ來迎シ給フヘキニテ候。又カロキ病  
ヲセント。祈候ハン事モ。心カシコクハ候ヘトモ。病ヒセテシタル人モ  
ウルハシク。シハル時ニハ。斷未摩ノ苦ミトテ。八萬ノ塵勞門

ヨリ。無量、<sup>ヤミ</sup>病身ヲモテ候事。百千ノホコツルキニテ。身ヲキ  
 リサクカコトシ。サレハ眼ナキカ如クシテ。ミントオモフモノヲモミ  
 ス。舌ノコ根<sup>子</sup>スクミテ。イハント思トモ。イハレス候ナリ。コレハ人間  
 ノハ、苦ノウチノ死苦ニテ候ヘハ。本願信ニテ往生子カヒ候  
 ハ。行者モ。苦ハノカシスシテ。悶絶シ候トモ。息<sup>イキ</sup>ノタニ時ハ。  
 阿彌陀佛ノカニテ。正念ニナリテ。往生シ候ヘシ。臨終ハカ  
 ミスチキルカ程ノ事ニテ候ヘハ。ヨソニテ。凡夫サタメカタク候。  
 タ、佛ト行者トノ心ニテ。ルヘク候ナリ。ソノウヘ。三種ノ愛心  
 オコリ候ヌレハ。魔縁<sup>マエ</sup>タヨリヲエテ。正念ヲ失ヒ候ナリ。此愛心  
 ヲハ善知識ノカハカリニテハ。ソノキカタク候。阿彌陀佛ノ御  
 カニテ。ソカセ給ヘク候。諸邪業繫無能礙者タノモシ

ク思食ヘク候。又後世者トオホシキ人ノ申ケニ候ハ。マツ  
 正念ニ住<sup>ヤ</sup>シテ。申サン時ニ佛來迎シタマフヘシト申ケニ候  
 へトモ。小阿彌陀經ニハ。与諸聖衆現在其前。是人終  
 時心不顛倒。即得往生阿彌陀佛極樂國土。ト候ヘ  
 ハ。人ノ命ヲハラニスルトキ。阿彌陀佛トケ聖衆トトモ。目  
 ノ前ニ來給ヒタラシヲ。ソ見<sup>ミ</sup>イラセテ後ニ。心ハ顛倒せス  
 シテ。極樂ニムマルヘシトコソ。心得テ候ヘ。サレハカロキ病ヲ  
 世ハヤト。イノラセ給ハシトミテ。今一遍モ病ナキ時。念佛  
 ヲ申テ。臨終ニハ。阿彌陀佛トケノ來迎ニ預<sup>イカリ</sup>テ。三種ノ愛  
 心ヲノソキ。正念ニサシマイラセテ。極樂ニ生シント思食  
 へク候。サレハトテ。イタツラニ候ヌヘカラシ。善知識ニモ。ムカハ

テヲハラント思食へキニテハ候ハス。先徳達ノヲシヘニモ。臨終ノ時阿彌陀佛ヲ西ノ壁ニ安置シマイラセテ。病者ノ前ニ西向卧テ善知識ニ念佛ヲス。メラシヨトコソ候へソレコソアラホシキ事ニテ候へ。但し人ノ死ノ縁ハカ子テ思フニモカナヒ候ハス。俄ニ大路ミキユアラハル事モ候。又大小便利ノ所ニテ死ヌル人モ候。前業ノガシカタクテ太刀刀ニテ命ヲ失ヒ。火ニヤケ水ニヨホシテ命ヲホロホス。タクヒ多ク候へハ左様ニテレニ候トモ。日比念佛申テ。極樂へイル。心々ニモ候人ナラハ。息ノタヨシ時ハ。彌陀觀音勢至來テ迎へ給へシト信シ。思食へキニテ候ナリ。往生要集ニモ時處諸縁ヲ論セス。臨終ニ初テ往生ヲモトメ。子

カフニゾ便宜シエタル事。念佛ニカスト候へハ。タモシク候一所作多クアテカヒテカ。ンヨリハ。スナク申サン。一念佛ムルナレハト仰候事。實ニサモ候ナニ。但し禮讚ノ中ニ。十聲一聲。定得往生。乃至一念無有疑心ト。釋セラレテ候へトモ。疏ノ文ニ。念々不捨者。是名正定之業ト候へハ。十聲一聲。ニムルト信シテ。念々ニワスル。事ナク。トナフヘキニテ候。又彌陀名號相續念トモ釋セラレテ候。サレハ。アヒツイテ。念スヘキニテ候。一食ノ間ニ。三度ハカリ思ヒ出シハ。ヨキ相續ニテ候。常ニタ。思食出サセ給候ハ。十萬六萬申サセ給候ハストモ。相續ニテ候。又ヘケルトモ。人ノ心ハ當時ミル事。キク事ニツルモノニテ候へハ。ナ

ニトナク御ニキレノウチニハ思食イテシ事カタク候ヌヘク  
候御所作オホクアテツ子ニス、ヲモタセ給候ハ、思食  
イテ候又ト覺候。タトヒコトノサハリアリテカ、セオレミレ  
テ候トモアサマレヤカキツル事ヨト思食候ハ、御心ニカ  
ケラレ候ハンスルソカレトテモカタテモ御ワスレ候ハスハ相  
續ニテ候ヘシ。又カケテモ候ハシ御所作ヲ次ノ日申入  
ラレ候ハシ事サモ候ナシソレモアス申入ラレ候ハニスハ  
トテ御ユタン候ハシアレク候。セメテノ事ニテコソ候ヘ御  
心得アルヘク候

一魚鳥ニ七箇日ノ思候ナル事サモヤ候ラン工見及ハ  
ス候。地體ハイキトレイケルモノハ過去ノ父母ニテ候ナレ  
ハ。クフヘキ事ニテ候ハス。又臨終ニ酒魚鳥葱蒜ナ  
△トハイミタル事ニテ候ヘ。病ナトカキリニナリテハクフヘ  
キモノニテ候ハ子トモ當時キトシヌハカリハ候ハヌ。病ノ月  
日ツモリ。苦痛モシノヒカタク候ハシニハユルサレ候ナト  
覺候。御身オタシクテ念佛申サント思食テ御療治候  
ヘシ。命オレムハ。往生ノサハリニテ候。病ハカリヲ療治ハユル  
サレ候ナト覺候

第二段

鎮西ヨリ上洛セル修行者。上人ノ庵室ニ參シテ未タ  
見參ニ入サル先ニ御弟子ニ對シテ稱名ノトキ佛ノ相  
好ニ心ヲカクルコトハイカ候ヘキト尋申ケレハメテタク

コソ侍ラメト申ケルヲ。上人道場ニテ聞給ケルカ。明障  
 子ヲアケ給テ。源空ハシカラス。タ、若我成佛。十方衆生。  
 稱我名號。下至十聲。若不生者。不取正覺。彼佛今  
 現在世。成佛當知。本誓重願。不虛衆生。稱念必得  
 往生。トオモフハカリナリ。我等カ分ニテ。イカニ觀ストモ。更ニ  
 如説ノ觀ニラシ。タ、フカク。本願ヲタノミテ。口ニ名號  
 ヲ唱ルノミ。假令ナラサル行ナリトソ。仰ラシケル

第二十四卷

第一段

上人ノ給ハク。阿彌陀經ハタ、念佛往生ハカリヲ説ト  
 ハ。心得ヘカラス。文ニ隱顯アリトイヘトモ。廣略義ヲモテ。

心ウシハ。四十八願ヲ。悉ク説給ヘル經ナリ。舍利弗如  
 我今者。讚嘆阿彌陀佛。不可思議功德。トイヘル阿  
 彌陀佛。ホトケノ。即四十八願ナリ。念佛往生ヲトクハソ  
 ノ中ノ第十八ノ願ヲサスナリ。又此經ニ一日七日ト  
 云ヘルヲ。タ、一日七日ニ限ト意得ルハ。僻事也。善導  
 和尚ノ觀經ノ疏ニ。上品上生ノ一日七日ヲ尺給ニ。  
 從具此功德已下。正明修行時節延促。上盡一形  
 下至一日一時一念等。或從一念十念。至一時一  
 日一形。大意者一發心已後誓畢。此生無有退轉。  
 唯以淨土爲期ト判シ給ヘリ。此尺ヲモテ。准知スルニ。  
 阿彌陀經ノ一日七日モ。又如此意得ヘキ也。此尺

三ノ意アリ。一ニ多ヨリ少ニ至リ。二ニ少ヨリ多ニ至  
リ。三ニ大意ハ一發心已後退轉ナレトイヘルナリ。初ノ  
二ハ要ニ非ス。後ノ一ソノ要ナリ。所詮ハ往生ノ心ヲ發  
シテノキ。命終ニ退セサル。コレヲ大意トスルナリ。凡此阿  
彌陀經ハ我朝ニ都鄙處々多ク流布セリ。法華經ト最  
勝王經トハ諸宗ノ學徒兼學スヘキヨシ。桓武天皇ノ  
御時宣旨ヲ下サシテ。定置シレカハ演説者トテ。法華ヲ  
解脫スル師ハ多クナリケレトモ。暗誦スル人ナカリケレ  
ハ。法華ヲ暗誦スヘキヨシ。重テ宣旨ヲ下サシケルノチ。持  
經者多クイテキタレリ。法華ハ加横ニ宣下ニヨリテコソ。  
流布セラレタレ。阿彌陀經ハ其沙汰ナケレトモ。自然ニ

流布シテ。處々ノ道場ニミナ例時トテ毎日ニ必ス。阿彌  
陀經ヲヨミ。一切ノ諸僧阿彌陀經ヲヨメト云事ナレ。コ  
レ偏ニ淨土教有縁ノイタス所ナリ。事ノオコリヲ尋ハ  
叡山ノ常行堂ヨリ出タリ。彼ノ常行堂ノ念佛ハ慈覺  
大師渡唐ノ時。將來シ給ヘル。勤行ナリトモ。仰ラシケル

第二段

上人ノタマハク。諸宗ノ祖師ハミナ極樂ニ生シ給ヘリ。所  
謂真言ノ祖師龍樹菩薩。天台ノ祖師南岳智者  
章安妙樂等。三論ノ祖師僧叡華嚴ノ祖師智儼法  
相宗ニ懷感禪師。本宗ラステ。淨土宗ニ入ル。天親  
菩薩ハ法相宗ノ祖師ナリ。往生論ヲ作テ。極樂ヲス、

△。達摩宗ノ祖師。智覺禪師ハ。上品上生ノ往生人ナ  
リ。其外非名僧ノ中ニ往生人コシ多シ。アタルニ違アラス

第三段

或時聖光房法カ房安樂房侍ケルニ。上人ニ尋申云。  
我等コトキノ輩カタク十重ヲモタモタス。ツ子ニ妄念ヲオ  
コシ。又勇猛精進ナラスシテ。ワカ身ノ善惡ヲモカヘリニス。  
タ、彌陀ノ本願ヲ仰テ。決定往生ノ思ヲナシ侍ルハ。往  
生シ侍ルヘシヤト。上人ノタマハク。其条勿論也。所詮決  
定心ヲ生セハ。往生スヘキ人ナリ。煩惱惡等ノ往生ノ  
障不障ヲ。凡夫ノ心ニテハ。覺知スヘカラストイヘトモ。本  
願ニ相應スル程ノ念佛申タランニハ。ソシテ障早シテ。往

生ヲサマタク罪ハアルヘカラス。往生ハ念佛ノ信否ニヨ  
ルヘシ。更ニ罪惡ノ有無ニハ。ヨルヘカラサルナリ。ステニ凡夫  
ノ往生ユルス。ナシテ。妄念ノ有無ヲキラフヘキヤト。仰ラ  
ルニ。安樂房又申云。虚假ノ者ハ。往生セスト申スハ。何  
様ニ心得侍ルヘキヤ。上人ノ給ハク。虚假トイフハ。ゴトサ  
結搆スル輩ナリ。好スレテ。自然ニ虚假ナラシハ。往生ノ  
障ニ非ス。念佛ノ信心ヲ發タラン人ハ。必定シテ往生ス  
ヘシ。更ニ疑フヘカラス。善道ノ釋ヲ能ク心ウヘキナリ。善  
道オハシマササラマシカハ。ウレライカテ。ゴノタヒ生死ヲ離ヘ  
キヤト仰ラレテ。落涙シ給アヒタ。聖光房法カ房安樂  
房。ミナトモニ涙ヲオサヘテ。信心ヲマシケリ。其時聖光房

ワレハ一切ニ往生ヲ疑ハスト申サレテハ上人又ノタミ  
ハク貴房達ハ少々ノ罪過アリトモ争カ往生ヲ遂サレシ  
ヤ但外人ニ云意得テイヒキカスヘキナリ強盛心ヲオコサ  
ス落涙スルニ及ハスト念佛タニモ申サハ往生スヘキナリ  
見思塵沙無明ノ煩惱カヨロツノ障身ヲハナスナリ念  
佛一行ハゴノ煩惱ニモサヘラレス往生ヲトケ十地究竟  
スルナリ他宗ニハ實教ニモ權教ニモ密教ニモ顯教ニモ  
十地究竟スル事ハ漸頓ヲ論セスキハメタル大事ナリ  
而ニタ、念佛ノ一行ニヨリテ往生ヲトケ十地願行  
自然ニ成就スル事ハ誠ニ甚深殊勝ノ事ナリト仰  
ラレケル

第四段

元々一二年正月廿一日尋常ナル尼女房達アタタ  
上人ノ御房へ参リテ戒ヲモ受タテツリ念佛往生ノ  
様淨土ノ法門ヲノへ給ミマツ聖道淨土ノ二門ヲツケ  
聖道難行ノ様ヲ仰ラルニ殊ニ天台宗ニ對シテ釋シ  
給ヒ四種三昧ノ難行ナル事ヲノへ給テ南岳大師ハ  
滅ノキサミ諸ノ弟子ニツケテノ給ハク汝等方等般若  
四種三昧ニツイテ身命ヲカヘリミス修行スヘクハワレ  
十年世ニアリテ汝等ヲ供給スヘシトノ給ニ苦行カナヒ  
カタキニヨリテ弟子等返答ニ及ハサリシカハ大師入滅  
シ給テ師已ニ入滅セントシ給ヘルカシハラクモ存命セン



トノ給ハンヲハイカナル妄語ヲモカエテ師ノ命ヲ惜マンタ  
メニハ修行シテントコソ申シツヘケレトモ始終カナフヘカ  
ラサル間返答セシテヤミニレカハ師スナハチ入滅シ給ヘ  
ル何况當時ノ我等ヲヤ傳教大師弟子達ニ四種  
三昧ヲ一ツハアテ修行せせラル、事侍キ慈覺大  
師ハ常坐ニ昧ニタリテ修行シ給ケルニ常坐難行ナ  
リトテアラタメテ常行ニ昧トナルト申セリカクノ如キノ  
修行ハ上古ヨリ修シカタキ事顯然ナリ何况當世ノ  
凡夫哉トテ聖道門ノ難行ナル事淨土門ノ修シヤ  
スキ様ユニコト下仰ラレテ所詮末代ノ佛法修行ソノ  
證ラサル事只念佛ノ一行ナリ是則彌陀ノ本願ニ

順スルカユヘナリトノ給ケル信心實ヲ致シ但頭合掌  
シテ歸リニナリ

第五段

法性寺ノ左京大夫信實朝臣ノ伯母ナリケル女房  
ノ尋申ケルニツキテ上人ノ御返事云念佛ノ行者ノ  
存候ヘキ様ハ後世ヲオソシ往生ヲ子カヒテ念佛スシハ  
ラハル時必ス來迎セサセ給ヨシヲ存シテ念佛申ヨリ  
外ノ事候ハス三心ト申候モフサ子テ申時ハ夕、一ノ  
願心ニテ候ナリソノ子カフ心ノイツハラスカサラヌ方ヲハ  
至誠心ト申候此心ノ實ニテ念佛スシハ臨終ニ來迎  
ストイフ事ヲ一念佛モウタカハヌ方ヲ深心トハ申候コノウ

へ。ワカ身モカノ土へ。ムシントオモヒ。行業ヲモ。往生ノタメ  
 トムクルヲ廻エ向シ心トハ申候ナリ。此故ニ子カフ心イツハラ  
 スレテケニ往生セントオモヒ候へハ。ヲノツカラ三心ハ具足  
 スル事ニテ候ナリ。抑中品下生ニ來迎ノ候ハヌコトハ。ア  
 ルニシケシハ。トカシヌニテハ候ハス。九品往生ニ各ミナアル  
 へキ事ノ。略セラシテナキ事モ候ナリ。善導ノ御心ハ。三  
 心モ品々ホニワタリテアルへシトミエテ候。品コトニ多ノ事  
 候へトモ。三心ト來迎トハ。必スアルへキニテ候ナリ。往生  
 ヲ子カハシ行者ハ。必ス三心ヲオコスへキニテ候へハ。上品上  
 生ニゴシヲトキテ。餘ノ品々ヲモゴシニナソラへテ。シルへシト  
 ミエテ候。又我等戒品ノ舟筏モヤフシタシハ。生死ノ大

海ヲワタルへキ縁モ候ハス。智慧ノ光モクモリテ。生死ノヤ  
 ミヲテラシカタケシハ。聖道ノ得道ニモ。モシタルワシラカタメ  
 ニ。ホトコシ給。他カト申候ハ。第十、九ノ來迎ノ願ニテ候  
 へハ。文ニミエス候トモ。カナラス來迎ハアルへキニテ候ナリ。ユ  
 メユメ御ツタカヒ候へカラス。アナカシコアナカシコ。源空

第六段

伊直國走湯山ニ。妙真ト云尼アリキ。法華ノ持者。真  
 言ノ行人ナリキ。事ノタヨリアリテ。上洛ノトキ。上人ノ教  
 化ニ預テ後ナカク餘行ヲステ。偏ニ念佛ヲ行ス。ソノ劫  
 ツモリテ。ツ子ニ化佛ヲミタテツル。更ニ餘人ニカタラス。タ  
 同行ノ尾一人ニコレヲシメス。アル時不注年月明日ノ申サレノコト尅

ニ往生スヘシトイフ。更ニヤニヒナシ。時尅々カハス。翌日申、  
時ニ端坐合掌シ高聲念佛シテ往生ヲトク。伎樂天ニ  
キコエ。異香室ニニキテ。奇瑞耳目ヲ驚シケリ

第七五卷

第一段

勸化上都ニサカリニシテ。道德邊鄙ニヲヨヒシカハ。鎌倉  
ノ二位禪尼。金剛戒。歸依モトモ。フカクシテ。蓮上房尊  
覺ヲ使トシテ。念佛往生ノ事。尋申サレタリケレハ。彼御  
返事ニ云。御文クハシク。承候又サテハ念佛ノ功德ス。  
佛モ説盡シカタレトノタマヘリ。又智慧第一ノ舍利弗。  
多聞第一ノ阿難モ。念佛ノ功德ハ。シリカタレトノタマ

ヒシ。廣大ノ善根ニテ候ヘハ。マシテ源空ナント。申ツクス  
ヘシトモ。覺候ハス。彌陀ノ昔チカヒ給シ本願ハ。アミ子ク  
切衆生ノタメナシハ。有智無智。有罪無罪。善人悪人。  
持戒破戒。タトキモイヤシキオトコモ。女モ。ヘタテスモ。ハ佛ノ在  
世ノ衆生。若ハ佛ノ滅後ノ衆生。若ハ釋迦ノ末法萬  
年ノ後三寶ミナ失テ後ノ衆生マテモ。タ、念佛ハカリ  
コソ。現當ノ祈ニナリ候メレ。ゴノユヘニ來テ。往生ノ道ヲタ  
ツ子候人ニハ。有智無智ヲ申サス。一スチニ專修念佛ヲ  
勸候ナリ。マシテ左様ニ專修念佛申ト、メチント。ツカマツ  
ル人ハ。佛法ノミナコシ井テ。解脱ヲウシテヘリ。闡提ノ輩ナ  
リ。イカニ申候トモ。御変改候ヘカラス。強ニ信セサラン人

ヲ御ス、メ候ヘカラス。佛モカナヒ給ハサル事ナリ  
 一 異解ノ人ノ餘ノ善根ヲ修セシニ御助成アリテ。思食ヘ  
 キ様ハツレハコレ一ノ向專修ニテ。決定往生スヘキ身ナリ。  
 他人ノトヲキ道ヲワカキ道ニ結縁セサセント。オホシメサレ  
 ハ專修ヲサマタケ候ハス

一 コノ世ノイノリニ。念佛ノ外ニ佛ニモ神ニモ申し。經ヲヨミ  
 カキ。佛ヲツクラシハ專修ヲサフル行ニテハ候ヘカラス

一 念佛ヲ申候事ハ様々ノ義候ヘトモ。タ、六字ヲ唱ル  
 中ニ。一切ノ行ハオサリ候ナリ。心ニハ本願ヲタノミ。口ニ  
 ハ名號ヲトナヘ。手ニハ念殊ヲトルハカリナリ。常ニ心ヲカク  
 ルカ。キハメタル決定往生ノ業ニテ候ナリ。念佛ノ行ハモト

ヨリ。行住坐卧時處諸縁ヲキラハス。身口ノ不淨ヲキラ  
 ハヌ行ニテ。易行往生ト申候ナリ。タ、心ヲキヨクシテ申  
 テ。第一ノ行ト申候ナリ。ハヲモ左様ニ御ス、メ候ヘシ。  
 メユメ此御心ハ。イヨイヨツヨクナラセ給ヒ候ヘシ

一 念佛ノ行ヲ信セサラン人ニアヒテ。御物語候ハサレ。イカ  
 ニ况ヤ宗論候ヘカラス。強ニ異解異學ノ人ヲミテコレヲ  
 アナツリシル事候ヘカラス。イヨイヨヲモキ罪人ニナサン  
 事。不便ニ候ヘシ。極樂ヲ子カヒ。念佛ヲ申サン人ハ。塵刹  
 ノ外ナリトモ。父母ノ慈悲ニオトラス。思食ヘキナリ。今生  
 ノ財寶トモシカラシ人ヲハ。カヲスハヘサセ給フヘシ。モリス  
 コシモ。念佛ニ心ヲカケ候ハン人ヲハ。イヨイヨ御ス、メ候ヘ

シ。コレモ彌陀如來ノ本願ノミヤツカヒト思食候ヘシ。震  
且日本ノ聖教ヲトリアツメテ。此間ヒラキ見勘ヘ候ニ  
念佛信セヌ人ハ先生ニシテモキ罪ヲ造テ。地獄ニタクア  
リ。乃又地獄ヘカヘルヘキ人ナリ。返々々專修念佛ヲ現  
當ノ祈ト申候ヘキナリ。一々ノ詞コレ經論ニテ候ナリ。  
御内ノ人ニハ。九品ノ業ヲ人ニ隨テタヘヌヘキ程ニ。御勸  
候ヘシ。アチカレコアチカレコ。比略抄

第二段

上野國ノ御家人。大胡ノ小四郎隆義。在京ノトキ。吉  
水ノ禪室ニ參シテ。上人ノ勸化ニアツカリ。フカク念佛ヲ  
信受シケルカ。下國ノ後。ナラ不審ナル事侍テ。上人給

仕ノ弟子。遊屋ノ七郎入道。道遍カモトヘ。尋申タリク  
ルヲ。道遍上人ニ申入テ。仰ラツタヘテ。三心以下ノ事コ  
マカニ申遣ケリ。隆義カ子息大胡ノ太郎實秀カ。消  
息ヲ相傳シ。父ノアトヲオイテ。稱名ヲコタリナカリケルカ。  
念佛ノ安心不審ナル事侍テ。小屋原ノ蓮性ヲ使者  
トシテ。上人ニ尋申タリケレハ。真觀房ヲ執筆トシテ。書キ  
ツカハサシケル狀云フ  
御文。コレカニ承候ヌ。ハルカナル程ニ。念佛ノ事キコレメサシ  
カタメニ。熊ト使ヲノホセ給テ候。御念佛ノ志ノ程。返々  
モ哀ニ候サテ。尋仰ラシテ候。念佛ノ事ハ。往生極樂ノ  
タメニハ。イツレノ行トイフトモ。念佛ニスキタル事ハ。候ハヌナ

リ。ソノユヘハ。念佛ハコレ彌陀ノ本願ナルカユヘナリ。本願ト云ハ阿彌陀佛ノ未タ佛ニナラセ給ハサレ昔法蔵菩薩下申レハイニレハ佛ノ國土ヲキヨメ。衆生ヲ成就セシカタメニ世自在主如來ト申。佛ノ御前ニシテ四十ハ願ヲオコシ給シ。其中ニ一切衆生ノ往生ノ爲ニ一ツノ願ヲオコシ給ヘリ。コレヲ念佛往生ノ本願ト申也。則無量壽經ノ上卷ニイハク。設我得佛。十方衆生。至心信樂。欲生我國。乃至十念。若不生者。不取正覺。比善導和尚此願ヲ釋シテノ給ハク。若我成佛。十方衆生。稱我名號。下至十聲。若不生者。不取正覺。彼佛今現在世成佛。當知本誓重願。不虛。衆生稱念必

得往生。上念佛トイフハ。佛ノ法身ヲ憶念スルニモアラス。佛ノ相好ヲ觀念スルニモ非ス。タ、心ヲイタシニモハラ阿彌陀ノ名號ヲ稱念スル。コレヲ念佛トハ申ナリ。故ニ稱我名號トイフナリ。念佛ノ外ノ一切ノ行ハコレ彌陀ノ本願ニアラサルカユヘニ。タトヒ日出タキ行ナリトイヘトモ。念佛ニハヲヨハサルナリ。大方其國ニムマレシトオモハシモノソノ佛ノチカヒニ隨フヘキナリ。サレハ彌陀ノ淨土ニムマレシトオモハシモノハ彌陀ノ誓願ニシタカフヘキナリ。本願ノ念佛ト。本願ニアラサル餘行ト。サラニタクラフヘカラス。故ニ往生極樂ノ爲ニハ。念佛ノ行ニ過タルハ候ハスト申也。往生ニアラサルミチニハ。餘行又ツカサトルカタアリ。

而レ三衆生ノ生死ヲハナルハミチ。佛ノヲレヘサマサマニ多ク  
候ヘトモ。コノコロ人ノ生死ヲハナレ。三衆ヲイツル道ハタ  
極樂ニ往生シ候ハカリナリ。コノム子。聖教ノ大ナルコトハ  
リナリ。次ニ極樂ニ往生スルソノ行樣々ニ多ク候ヘトモ。  
我等カ往生セシ事。念佛ニ非スハ。カナヒカタク候ナリ。ソノ  
ユヘハ。念佛ハ佛ノ本願ナルカユヘニ。願カニスカリテ。往生  
スル事ハヤスシサレハ詮スルトコロ。極樂ニアラスハ。生死ヲ  
ハナルヘカラス。念佛ニ非スハ。極樂ヘムマルヘカラスルモノ  
ナリ。フカク此旨ヲ信セサセ給テ。一スチニ。生死ヲハナレシ  
トオホシメスヘキナリ。又一クノ願ヲハリニ。モレシカラスハ。  
正覺ヲトラシト。キカヒタミヘリ。而ニ阿彌陀佛ホトケニナリ

給テヨリコノカタ。已ニ十劫ヲヘタマヘリ。マサニレルヘシ。誓  
願ムナシカラス。而レハ衆生ノ稱念スルモノ一人モムナシ  
カラス。往生スル事ヲモレシカラスハ。タレカ佛ニナリ給ヘ  
ル事ヲ信スヘキ。三寶滅盡ノ時ナリトイヘトモ。一ノ念スレ  
ハ。ナラ往生ス。五逆深重ノ人ナリトイヘトモ。十念スレハ  
往生ス。何カ况ヤニ寶ノ世ニ生テ。五逆ヲツクラサル我等。  
彌陀ノ名號ヲ唱ヘシニ。往生ウタカフヘカラス。今此願  
ニアヘル事ハ。實ニコレオホケノ縁ニアラス。ヨクヨク。ヨロコヒ  
オホシメスヘシ。タトヒ又アフトイヘトモ。信セサレハ。アハサルカ  
コトシ。イマフカク此願ヲ信セサセタミヘリ。往生ウタカヒ。思  
食ヘカラス。必スク二心ヲナク。ヨクヨク御念佛候テ。此度生

死ヲハナレ。極樂ニ生レサセ給ヘシ。又觀無量壽經ニ云ク。一切光明遍照十方世界。念佛眾生。攝取不捨。比コレハ光明タ、念佛ノ衆生ヲ照テ。餘ノ一切ノ行人ハ。エラサストイフナリ。但レ此行ノシテモ。極樂ヲ子カハ。佛光照テ。接取シ給フヘシ。イカ、タ、念佛ノモハカリヲエラヒテ。テラシタマヘルヤト云。善導和尚釋シテノタハク。彌陀身色如金山。相好光明照十方。唯有念佛蒙光接。當知本願最爲強。比念佛ハコレ。彌陀ノ本願ノ行ナルカユヘニ成佛ノ光明カヘリテ。本地ノ誓願ヲテラシタマナリ。餘行ハコレ。本願ニアラサルカユヘニ。彌陀ノ光明キラヒテ。テラシタマハサルナリ。今極樂ヲモトメシ人ハ。本願ノ念

佛ヲ行シテ。接取ノ光ニテラサレシト。思食ヘシ。コレニツケテモ。念佛大切ニ候。ヨクヨク申サセ給ヘシ。又釋迦如來コノ經ノ中ニ定散ノモロモロノ行ヲ説シハリテ後ニ。マサレク。阿難ニ付屬シタマフトキニハ。上ニ説トコロノ散善ノ三福業定善ノ十三觀ヲハ。付屬セスシテタ、念佛ノ一行ヲ付屬シタマヘリ。經ニイハク。佛告阿難。汝好持是語。持是語者。即是持無量壽佛名。比善導和尚ノ文ヲ釋シテノタマハク。從佛告阿難。汝好持是語。已下正明。付屬彌陀名。号流通於遐代。上來雖説定散兩門之益。望佛本願。意在衆生一向專稱彌陀佛名。比此定散ノ諸ノ行ハ。彌陀ノ本願ニアラサルカユヘニ釋



迦如來ノ往生ノ行ヲ付屬シ給ニ。餘ノ定善散善ヲ  
ハ。付屬セスシテ。念佛ハ。コシ彌陀ノ本願ナルカユヘニ。二サ  
シクエラヒテ。本願ノ行付屬シタマヘルナリ。イハ釋迦ノヲ  
シヘニ隨テ。往生シモトムルモノ。付屬ノ念佛ヲ修シ。釋迦  
ノ御心ニカナフヘシ。コレニツケテモ。又ヨクヨク。御念佛候  
テ。佛ノ付屬ニカナハセ給フヘシ。又六方恒沙ノ諸佛。舌  
ヲシヘテ。三キ世界ニオホヒテ。モハラタ。彌陀ノ名號ヲ  
唱テ往生ストイフハ。コレ真實也ト。證誠シタマフナリ。又  
念佛ハ彌陀ノ本願ナルカユヘニ。六方恒沙ノ諸佛。コレ  
ヲ證誠シ給フ。餘ノ行ハ。本願ニアラサルカユヘニ。六方恒  
沙ノ諸佛證誠シタマハス。コレニツケテ。モヨクヨク。御念佛

候テ。彌陀ノ本願。釋迦ノ付屬。六方ノ諸佛ノ護念ヲ  
フカク。カウフラセタマフヘシ。彌陀ノ本願。釋迦ノ付屬。六  
方ノ諸佛ノ護念。一々ニ。ムナレカラス。コノユヘニ。念佛ノ  
行ハ。諸行ニスラタルナリ。又善導和尙ハ。彌陀ノ化身  
ナリ。淨土ノ祖師多シトイヘトモ。タ。偏ニ善導ニヨル。往  
生ノ行。多シトイヘトモ。大ニ分テ。二ツトシ給ヘリ。一ツハ專  
修。イハユル念佛ナリ。二ツハ雜修。イハユル一切ノモロモロ  
ノ行ナリ。上ニイフトコロノ定散等コレナリ。往生禮讚云  
若能如上念念相續畢命爲期者。十即十生。百即  
百生。上專修ト雜行トノ得失ナリ。得トイフハ。往生スル  
事ヲ。イハク念佛スルモノハ。十ハ即十人ナカラ。往生シ。

百八即百人ナカラ往生スト。イフコレナリ。夫トイフハ。イハク。往生ノ益ヲウレナヘルナリ。雜行ノモノハ。百人カ中ニマシニ一二人往生スル事ヲエテ。ソノホカハ生セス。千人カ中ニ一ニ。三五人ムレテ。ソノ餘ハムレス。專修ノモノハ。ミナムル、事ヲウルハ。ナニユヘソ。阿彌陀佛ノ本願ニ。相應セルカユヘナリ。釋迦如來ノヲレヘニ。隨順セルカユヘナリ。雜修ノモノハ。ムル、事スクナキハ。ナニユヘソ。弥陀ノ本願ニ。カヘルユヘナリ。釋迦ノヲレヘニ。シタカハサルユヘナリ。念佛シテ。淨土ヲモトムルモノハ。二尊ノ御心ニ。ラカクカナヘリ。雜修ヲシテ。淨土ヲモトムルモノハ。一佛ノ御心ニ。ソムケリ。善導和尚ニ。行ノ得失ヲ判セル事。コレノミニニア

ラス。觀經ノ疏ト申フ。ミノ中ニ。多ク得共ヲアケタリ。レケキカコヘニ。イタサス。コレヲモテ。レルヘシ。九ソ此、念佛ハ。ソレシルモノハ。地獄ニ墮テ。五劫苦ヲウシル事キハ。リナシ。信スルモノハ。淨土ニ生テ。永劫ノ樂ヲウクル事。キハ。リナシ。ナヲ。イヨイヨ。信心ヲワカクシテ。二心ナク。念佛セサセタラヘシ。クハシキ事。御フミニツクシカタク候。コノ御ツカヒ申候ヘシ。正月廿八日。源空比實秀。コノ消息ヲ恭敬頂戴シテ。一向ニ念佛ス。寛元四年。往生ノ時。異香ヲカキ。音樂ヲキクモノ。オホカリキ。實秀カ妻室又フカク。此消息ノヲレヘヌ。信受シテ。稱名ノ行ヲコタリナク。ツ井ニ奇瑞ヲアラハシ。往生ノ素懷ヲレケルトナン

第三段

武藏國那河郡ノ住人彌次郎人道不注ハ上人ノ  
教誡ヲカウフリテ。一向專念ノ行人トナリニケリ。冬ハル  
トコロノ御消息ヲ秘藏シテ。出離ノ指南ニナシ。ソナヘ  
侍ヘリケル。必シモ數反ヲサタメス。思ヒ出タルカトホシ  
クテハ常ニ西向テ高聲ニソトナヘケル。病惱ノ時八月廿  
九日。不注ニ近隣ナル僧蓮臺房來リ。訪ヒケレハ。此所  
勞ハ日比子カフトコロナリ。明後日來臨シ給ヘ申ヘ  
キ事侍リト申ケリ。ソノ日又マカシルニ。明後日辰時ニ  
極樂ニムルヘト申アヒタ。イカニテサハレリタマヘルソト。  
トハ少ノ事ナリ。夢ニ墨染ノ衣著シタル僧青白ニ莖

ノ蓮華ヲモチテ來レリツルカ。白蓮華ヲワシニサツケテ。コレ  
ハ汝カ分ナリ。コノ青蓮華ハ新田太郎カ分ナリト。仰ラレ  
ツルニ。白蓮華ノウヘニ。又聲アリテ。九月ニテ日ノ辰時ニ  
往生スヘト云ト。見テサメヌルナリトイフ。事ノ様タトク  
覺テ。三日又ユキムカフニ。病者ノイハク。往生ステニキカツ  
ケリ。ヨクキタリタマヘリ。四十九日ノ間ハ。コニ住シテ。念  
佛シタマフヘシ。御房ハワカ善和識ナリ。年來秘藏ノモノ  
附屬シタテツルヘシトテ。上人ヨリタマハル所ノ御消息  
并ニ和字ニシルセル。念佛安心ノ書等コレヲワタス。其後  
アヒトモニ晨朝ノ禮讚ヲ行スルニ。光舒救毗沙ノ句ニ  
イタリテ。禮讚トメテ。念佛ニ反唱テ。端坐合掌シテ。

息々エニケリ。四十九日ニア名夜。蓮臺房ユメニミル様。カノ  
 禪門カ持佛堂カトオホレキ堂アリ。二池ナントアリテ。  
 アルヘカレクミユルニ指入テ拜スレハ。金色ノ阿彌陀如  
 來壇ノ上ニ立給ヘリ。堂ノ下ニハ。念佛スル聲アリケリ。  
 承仕ナント云ハカリナルモ。指出テ。此聲ハ未閻浮提  
 也。只今此池ノ中ニ蓮華生スヘシ。コレヲミルヘシト云聲ニ應メ。  
 白蓮華出生ス。念佛ノ聲ニ隨テ。蓮華忽ニ開クル処ニ此  
 華ノ上ニ。亡者ノ禪門墨染ノ衣ヲ著テ坐セリ。時ニ微  
 風ノ華ヲ吹ニ。風ニ隨テナヒキキタル禪門蓮華ヨリ下  
 テ。語テイハク。ワシ極樂ノ下品下生ニ生セリ。只今上品  
 ニス、ムナリト云トミニテ。夢サメニケリ 傳繪詞卷五終

黒谷上人繪詞第六目錄

二六卷

武藏國猪俣甘糟太郎事

宇津宮弥三郎事

上野國菌田太郎事

武藏國熊谷入道事

武藏國津戸三郎事

比叡山西塔南谷鐘下坊小輔公道世事

兵部卿三位基親問事

光明房御返事

功德院肥後阿闍梨事

妙覺寺淨心房道心事

二七卷  
 二八卷  
 二九卷

三三卷



御傳卷六  
目録

重衡中將教誡事

上人東大寺五祖供養事

上人御歌事

黒谷上人傳繪詞第二十六卷

第一段

武蔵國ノ御家人猪俣黨ニ甘糟ノ太郎忠綱ト云者  
侍キ。フカク上人ニ歸シ。念佛ノ行ヲコタリナカリナリ。而シテ山  
門ノ堂衆等獨歩ノアマリ。衆徒ヲ忽緒シ。曰。吉八王子  
ノ社壇ヲ城擲トシテ。惡行ヲタクミシカハ。武士ヲサシ遣シ  
テ。セメラシシ時。忠綱勅ニ應ノ。建久三年十一月十五  
日。カノ城擲ニムカフニ。ミツ上人ニ參シテ申ス様。我等コト  
キ罪人ナリトモ。本願ヲ彌テ念佛セハ。往生疑ヒナキ旨。日  
來御ヲシヘヲ承テ。フカク其旨ヲ存ストイヘトモ。ソシハ病ノ  
床ニ卧テ。ノトカニ臨終セン時ノ事ナリ。武士ノナラヒ。進退

御傳卷六

心ニミカセサレハ。山門ノ堂多表ヲ追ツ討ツノタメニ。勅命ニヨリテ。只今ハ王子ノ城ヘ向ヒ侍リ。忠網武勇ノ家ニ生シテ。弓箭ノ道ニタツサハル。スミテハ。父祖カ遺塵ヲヤシナハス。シリシキテハ。子孫ノ後榮ヲノコサニカ爲ニ。敵ヲフセキ。身ヲススハ。惡心熾盛ニシテ。願念發起シカタシ。今生ノカリナルイハシヲオモヒ。往生ノハナムヘキコトハリヲスレハ。カヘリテ敵ノ爲ニトリコニセラレナシ。ナカク臆病ノ各ヲトメテ。忽ニ譜代ノ跡ヲ失ツヘシ。イツシラス。イツシラトルヘシトイフ事。愚意ワキマヘカタシ。弓箭ノ家業ヲモステス。往生ノ素意ヲモトクル道侍ラハ。願クハ御一言ヲ承ラント申ケレハ。上人仰ラレハ。様彌陀ノ本願ハ。機ノ善惡ヲイハス。行ノ多少ヲ論セス。

身ノ淨不淨ヲエラス。時處諸縁ヲキラハサレハ。死ノ縁ニヨルヘカラス。罪人ハ罪人ナカラ。名號ヲ唱テ。往生ス。コシ本願ノ不思議ナリ。弓箭ノ家ニ生シタル人。タトヒ軍陣ニタカヒ。命ヲ失フトモ。念佛セハ。本願ニ乘シ來迎ニ預ラン事。ユメユメ疑ヘカラスト。コニカニ授ケ給ヒケレハ。不審ヒラケ侍リヌ。サテハ忠網カ往生ハ。今日一定ナルヘシト悦ヒ申ケリ。上人ノ御袈裟ヲ給テ。ヨロヒノシタニカケソレヨリヤカテ。ハ王子ノ城ヘ向ヒ。命ヲステク。戦ケルニ。太刀ヲ打拵テケレハ。フカキ疵ヲ被リニケリ。今ハカハレト思テ。太刀ノツカラス。合掌ニ高聲念佛シテ。敵ノタメニ身ヲミカセケリ。紫雲戰場ニタシ覆テ。異香ヲカク人多カリケリ。北嶺ニ紫雲タナヒクヨシ。人申

ケレ。上人聞給テ。アハシ甘糟カ往生シツルカトソ。仰ラシケ  
ル。甘糟國ニト、メヲク。妻室ノ夢ニ。極樂ノ往生ヲ遂ヌル  
由ヲ示シテシハ。夢ノ告ニ驚テ。國ヨリ飛脚ヲ立ケルニ。此事  
ヲ告テ京ヨリ下ケル使ニ行逢テ。田舎ノ夢ノ告。戰場ノ  
往生ノ様。タカヒニ語りケリ。誠ニ不思議ノ事ニテソアリケル。  
戰場ニ命ヲステテ。往生ノ前途ヲトケ。父祖カ名ヲモアケ。  
本願ノ深意ヲモアラハセル事。シカシナカラコシ。上人勸化  
ノユヘナリキ

第二段

宇津宮ノ彌三郎頼綱家子郎從濟々トシテ。武蔵野  
ヲ過ケルニ。熊谷入道行遇テ云様。イミシク大勢ニテ。オハス

ルモノカナ。但イカニ多クトモ。無常ノ致鬼ハフセキカタクヤ。侍  
ヘラン。彌陀如來ノ本願ニテ。念佛スルモノヲハ。惡道ニオト  
サス。ムカヘトリ給ヘハ。一人當千ノツハモノニモ。ナヲマサリタル  
ハ。コレ念佛ナリ。カマヘテ。念佛シタヘト申ケルカ。肝ニソミテ  
覺ケル。後念佛往生ニ。心ヲカケテ。大番勤仕ノ爲ニ。上洛  
シタリケル次ニ。兼元二年十一月八日。上人ノ勝尾ノ草  
菴ニタツ子參シテ。念佛往生ノ法門ノ御教訓ヲカウフル時。上  
來雖說定散兩門之益。望佛本願意在衆生。一向專  
稱彌陀佛名ノ文ヲ。ニタヒ誦シ給テ。往生セウセシハ。ワトノ  
ノ心ソ。一向ニ念佛セハ。疑ヒナシトノ給ヒケル。御詞耳ニ留  
リテ覺ケル。後一向專修ノ行者ニテリニケリ。上人御往生

後ハフカク善慧房ヲタノミ申ケルカ。結縁ノ爲ニ。四帖ノ  
疏ノ文字讀ハカリヲウケ。遂ニ出家シテ。實信房蓮生ト號  
シ。西山ニ草菴ヲシメ。一向專念ノ外。他事ナカリキ。仁治  
二年十一月廿一日。天ハシ風シツカナル夜。蓮生夢ミラ  
ク。深山幽谷ノ北ニツノ菴室アリ。蓮生此中ニ侍リ。小山  
メクリカサナリ。左右ノ峯々カクソヒヘタリ。ナヲ北ノ山ヲミル  
ニ。三尺ハカリノ彌陀ノ立像虚空ニ。影向シタニフ。イツシノ  
所ヨリ來リ。マシマスニカト。疑ヲナス所ニ。虚空ニ聲アリテ。佛  
來臨ノ方ハ。善光寺ナリトコタフ。佛漸クチカツキ給化。光明  
赫奕トシテ。白玉ノカサリ。誠ニ妙ナリ。此時蓮生高聲ニ念  
佛シ。右ノ手ヲモテ。佛ノ左ノ御手ヲニキリ。奉ルニ。始テ木

像ノ來現トシリ。又年來安量ノ本尊ナリト悟又。夢サメテ  
後ハイヨイヨ信心ヲフカシ。念佛ノ勇ミヲナシ。行住坐卧  
ノ四威儀々々。稱名ノ外。他事ヲワスル。正元々々年十一月  
上旬ノ比ヨリ。聊病惱ノ事侍リケルカ。同十二日端坐合  
掌念佛相續シ。瑞相アラハシテ。往生ノ素懷ヲ遂ケルトナニ

第三段

上野國ノ御家人。茵田太郎成家ハ秀郷ノ將軍九代  
ノ孫。茵田次郎成基カ嫡男ナリ。武勇ノ道ニタツサハリテ。  
弓馬ノ藝ヲタシナシ。射菑ヲ事トシテ。罪惡ヲホレイマハス。  
爰正治二年ノ秋。大番勤仕ノ爲ニ。上洛ノ時。上人ノ念  
佛弘通化道サカリニシテ。貴賤歩ヲ運フヨシ傳聞テ。宿縁



ノモヨホシケルニヤ。カノ菴室<sup>アンシツ</sup>へ參<sup>マシ</sup>レタリケルニ。上人<sup>サトウ</sup>罪惡<sup>サイアク</sup>生<sup>ナ</sup>死<sup>シ</sup>ノ凡<sup>ソドコ</sup>夫<sup>ト</sup>彌陀<sup>ミダ</sup>ノ本願<sup>ホンガン</sup>ニ乘<sup>ノリ</sup>シテ。極樂<sup>キョクラク</sup>ニ往生<sup>ウシヤウ</sup>スルイハレ。世<sup>セ</sup>上<sup>ウヘ</sup>ノ無常<sup>ムジョウ</sup>ヲハイトヒ。淨土<sup>ジユツ</sup>ノ不退<sup>トクタイ</sup>ヲ子カフヘキ趣キ。子<sup>コ</sup>ニコロニ教化<sup>クワガ</sup>シ給<sup>タマフ</sup>ニ信心<sup>シンシン</sup>胸<sup>ムネ</sup>ニ三千<sup>サンゼン</sup>。渴仰<sup>カツキョウ</sup>肝<sup>カン</sup>ニ銘<sup>メイ</sup>ジケレハ。ヤカテ其<sup>ソノ</sup>歳<sup>サイ</sup>ノ十月<sup>ジュウゲツ</sup>十一<sup>ジュウイチ</sup>日<sup>ニチ</sup>。生<sup>ナ</sup>年<sup>ネン</sup>廿<sup>ニ</sup>八<sup>ハチ</sup>歳<sup>サイ</sup>ニテ出家<sup>ウチカ</sup>ス。法名<sup>ホウメイ</sup>ヲ智明<sup>チメイ</sup>トメツケタニヘリ。常<sup>トコ</sup>隨<sup>ズ</sup>給<sup>タマフ</sup>仕<sup>シ</sup>。六<sup>ロク</sup>箇<sup>カ</sup>年<sup>ネン</sup>ノ後<sup>ノチ</sup>。元<sup>ゲン</sup>久<sup>キウ</sup>二<sup>ニ</sup>年<sup>ネン</sup>ニ。本<sup>ホン</sup>國<sup>クニ</sup>ニ下<sup>シモ</sup>向<sup>ムカ</sup>シテ。家<sup>イヘ</sup>ノ子<sup>コ</sup>郎<sup>ラウ</sup>從<sup>ス</sup>共<sup>トモ</sup>余<sup>オノ</sup>人<sup>ヒト</sup>ヲ。教<sup>ウチ</sup>導<sup>ドク</sup>シテ。オナシク出<sup>デ</sup>家<sup>イヘ</sup>セサセテ。同行<sup>ドウギョウ</sup>トシテ。酒<sup>サケ</sup>長<sup>ナガ</sup>ノ御厨<sup>ミツク</sup>小倉<sup>コクラ</sup>ノ村<sup>ムラ</sup>ニ。菴室<sup>アンシツ</sup>ヲ結<sup>ムス</sup>テ。一心<sup>イツシン</sup>ニ彌陀<sup>ミダ</sup>ヲ念<sup>ネン</sup>シ。三<sup>サン</sup>業<sup>ゴフ</sup>ヲ西方<sup>セウホウ</sup>ニ。ハコヒケリ。世<sup>セ</sup>ノ人<sup>ヒト</sup>タウトヒテ。小倉<sup>コクラ</sup>ノ上<sup>ウヘ</sup>人<sup>ヒト</sup>ト申<sup>マウ</sup>ケル。菴室<sup>アンシツ</sup>ノ西<sup>セ</sup>一<sup>イツ</sup>町<sup>チヨウ</sup>餘<sup>ヨリ</sup>ヲヘタテ。一<sup>イツ</sup>間<sup>カン</sup>四面<sup>シツメン</sup>ノ御堂<sup>ミダウ</sup>ヲ建<sup>タテ</sup>立<sup>テ</sup>シテ。御堂<sup>ミダウ</sup>ノ妻<sup>ツメ</sup>戸<sup>ド</sup>ニ。菴室<sup>アンシツ</sup>

ノカ。ヲアケアハセテ。佛前<sup>ブツゼン</sup>ノ燈明<sup>トウメイ</sup>ヲ接<sup>セツ</sup>取<sup>キ</sup>ノ光明<sup>クワウメイ</sup>ト思<sup>オモ</sup>テ。常<sup>トコ</sup>ニ光明<sup>クワウメイ</sup>遍照<sup>ベンシヨウ</sup>ノ文<sup>モン</sup>ヲ唱<sup>ナゲ</sup>へ。發露<sup>ハツロ</sup>諦<sup>テイ</sup>泣<sup>キ</sup>シケリ。具<sup>グ</sup>縛<sup>バク</sup>ノ凡<sup>ソドコ</sup>夫<sup>ト</sup>ナリトモ。本願<sup>ホンガン</sup>ヲ準<sup>タシ</sup>テ念佛<sup>ネンブツ</sup>セハ。往<sup>ユキ</sup>生<sup>シヤウ</sup>ヲタカヒアルヘカラサルム子<sup>コ</sup>上人<sup>サトウ</sup>示<sup>シ</sup>シ給<sup>タマフ</sup>ヒケルヲ。フカク心<sup>シン</sup>府<sup>フ</sup>ニヲサメテ。行<sup>ユキ</sup>住<sup>ヂュウ</sup>坐<sup>ザ</sup>卧<sup>オ</sup>ニ。念<sup>ネン</sup>佛<sup>ブツ</sup>ヲコタル事<sup>コト</sup>ナシ。凡<sup>ソドコ</sup>ソ念佛<sup>ネンブツ</sup>ノ外<sup>ソト</sup>。他<sup>ヒ</sup>事<sup>コト</sup>ヲマシヘサリケリ。念<sup>ネン</sup>佛<sup>ブツ</sup>セサルモノヲハ。ハチシメイトヒナレハ。カノ室<sup>シツ</sup>ニノシム。道<sup>ミチ</sup>俗<sup>ゾク</sup>尊<sup>ソウ</sup>早<sup>サカシ</sup>。念<sup>ネン</sup>佛<sup>ブツ</sup>セヌハナカリケリ。或<sup>アル</sup>年<sup>ネン</sup>元<sup>ゲン</sup>日<sup>ニチ</sup>ノ祝<sup>イハヒ</sup>言<sup>ゲン</sup>ニ。下<sup>シモ</sup>僧<sup>ソウ</sup>一人<sup>イツヒト</sup>ニ。心<sup>シン</sup>ヲ合<sup>アヒ</sup>テ。庭<sup>ニワ</sup>前<sup>マエ</sup>ニス。ミイテ。タカラカニ。モノ申<sup>マウ</sup>サントイハセテ。西<sup>セ</sup>方<sup>ホウ</sup>淨<sup>ジユウ</sup>土<sup>ド</sup>ヨリ。御<sup>ミ</sup>參<sup>マシ</sup>ヲソク侍<sup>シ</sup>リ。イソキ御<sup>ミ</sup>參<sup>マシ</sup>アルヘシト。阿<sup>ア</sup>彌<sup>ミ</sup>陀<sup>ダ</sup>佛<sup>ブツ</sup>ノ御<sup>ミ</sup>使<sup>シ</sup>ナリト申<sup>マウ</sup>サセテ。歡<sup>カン</sup>喜<sup>キ</sup>ノアミリ。客<sup>キヤク</sup>殿<sup>テン</sup>へ請<sup>コト</sup>シ入<sup>イ</sup>レテ。了<sup>リョウ</sup>寧<sup>ネイ</sup>ニモテナシ。種<sup>タネ</sup>々<sup>タタ</sup>ノ引<sup>ヒキ</sup>出<sup>デ</sup>物<sup>モノ</sup>ヲ。給<sup>タマフ</sup>ハセケル。其<sup>ソノ</sup>後<sup>ノチ</sup>八<sup>ハチ</sup>年

佛傳

コトノ事ニテ。元日ニハ。ゴノワサヲナン。結構シケリ。カノ山里ニ  
ハ。鹿オホカリケレハ。作モヲマダクセンタメニ。カノ所ノ人民等  
田畠ニ墻ヲシマハシニ。ラセキケルヲ。アハシミ歎テ。上由三町  
ヲ作りタテサセテ。鹿由ト名付テ。鹿ノ食物ニアテケルニ。田  
歌ト云事ニハ。念佛ヲナン唱サセケル。寶治二年九月十  
五日。聊違例ノ氣アリ。舍弟淡路守俊基ヲ。二子キヨセテ  
我身ハ老病アヒラカシテ。ステニ終焉ニソメリ。今生ノ對  
面。今日ハカリナリ。汝罪惡深重ノ人ナリ。必ス念佛シテ。  
同ク安養ノ淨刹ニ參會セシムヘシ。タトヒ鹿鳥ヲ食ストモ。  
念佛ヲハカミマセテ。申スヘシ。タトヒ敵ニ向テ。弓ヲヒクトモ。念  
佛ヲスツル事ナカレト。サマサマニ教訓シケリ。俊基還向ノ後。

僧衆アヒトモニ。別時ノ念佛ヲ修シテ。翌日十六日戌刻  
ニ端坐合掌シテ。光明遍照ノ文ヲ誦シ。高聲念佛。一時  
ハカリ唱テ。禪定ニ入カ如クニテ。息絶ニケリ。生年七十有五ナ  
リ。時ニ紫雲屋上ニタナヒキ。音樂外ニキコエテ。持佛堂菴  
室ノ間ニ。光明充滿シ。室ノ内外ニ。異香薰ス。遠近ノ道  
俗男女コレヲ見聞ス。平生ノ昔ヨリ。攝取ノ光明ニ心ヲヨ  
セケルニ。ハタシテ。カノ光明ヲ感得シケル。不思議ニタウトクモ  
侍哉

第四段

西明寺ノ禪門若冠ノ時ハ。常ニ念佛ノ安心ナシト。小舎  
ノ草菴ヘ。尋ラレケル。爰寛元ノ比。智明房使ヲ進シテ。申ヲク

リケル。年來念佛ノ行者トシテ。西方ヲ子カフ心。子ニ言ナリ。  
粟ノ木トハ。西ノ木トカケリ。西方ノ行人トシテ。ムツマレク覺（覺へ）  
侍シ。多年コレヲ所持ストイハトモ。老體イナニヲキテハ。行（行）  
歩ニアタハス。ソノ用ナキニ似タリ。君西土ニ心ヲハコヒナレマス。コ  
ノ杖ヲサツケタテマツルニタヘタリ。コレヲ用テ淨土ニイラシメ  
タマフヘレトテ。粟ノ木ノ杖ヲオクリ進シタリケレハ。返狀ノ奥ニ  
老ラクノユクスエカ子テオモフニハツクツクウレシ。西ノ木ノ杖  
トシ。書ラクラレケル。禪門其後ハ。カノ勸化ヲ信シテ。常ニ西  
土ノ訖生ヲ心ニカケ。彌陀ノ引接ヲソマノマレケル。弘長二  
年ノ比。上人ノ孫弟敬西房（法蓮房 弟）。関東下向ノ時。上  
人ノ傳ヲ進シタリケルニ。數日披覽ノ後。上人ノ德行ヲタ

ウトミテ。念佛ノ安心ヲ尋ラレケレハ。往生ノ故實勤行ノ  
文ナントラ書テ。奉リケリ。禪門自筆ノ返狀云。故實井ニ  
勤行ノ文給リ候又。ヨクヨク見覺候テ。往生ノ心ヲス。ム  
ヘク候。（云取）遂ニ翌年。弘長三年十一月廿一日辰（刻）  
臨終正念端坐合掌シテ。往生ヲトケラル。同十一月十  
五日諺訪入道蓮佛敬西房ニ送リ遣ス狀ニ云ク。西  
明寺殿御往生ノ事。中々申ニ目出キ次第ニ候。十一  
月廿二日辰時唐衣メシテ。袈裟カケテ。西方ニ阿彌陀  
佛ヲカケマイラセテ。倚子ニホラセ給テ。御息スコシモ。ミタレ  
ス。合掌シテ。御往生候ナリ。御イタハリトテ候シカトモ。スコシモ  
御苦痛候ハス。然レキ御往生ノ因縁ニテ候ケリト覺候。

御臨終ノ千カクナリ候テ。カタシケナキ仰ヲ蒙テ候キ。阿彌陀ホトケノ御カニテ。淨土ヘマイリタラハ。ムカヨラスルソト。仰セ候シカハ。日比不足ナクカウフリテ候シ。御恩ニハ。百倍千倍シテ。タノモシクアリカタク覺候テ。歎ノナカニモウレシク候。故入道殿ノ仰ニ蓮佛地獄ニオトサヌ様ニ。教訓候ヘト。仰候ケルヨシ。ウケタマハリ候ヘハ。念佛往生ノ次第。便宜ニカナラス。コマカニ仰給ルヘク候。取詮抑カノ禪門武將ノ賢哲柳營ノ指南トメ。若冠ノソノカミヨリ。寂後ノヲハリマテ。上人勸化ノ風ヲウケ。西土往生ノ望ヲトケラレケルニ。蓮佛ヲ極樂ニ引道スヘキヨシマテ。病中ニチキリ給ヒケン。アハレニカシコクソ覺侍ル

第二十七卷

第一段

武藏國ノ御家人。熊谷次郎直實ハ。平家追討ノ時。所所ノ合戦ニ忠ヲ致シ。名ヲアケレカハ。武勇ノ道ナラヒナカリキ。而ニ宿善ノウキニ。モヨホレケルニヤ。幕下將軍ヲウラミ申事アリテ。心ヲオコシ。出家シテ。蓮生ト申ケルカ。聖覺法印ノ房ニ尋行テ。後生菩提ノ事ヲ尋申ケルニ。左様ノ事ハ。法然上人ニ尋申ヘシト。申サレケレハ。上人ノ御菴室ニ參ニケリ。罪ノ輕重ヲイハス。タ、念佛タニモ申セハ。往生スルナリ。別ノ様ナレトノ給ヲ聞テ。サメサメト泣ケレハ。ケレカラスト思給テ。モノモノ給ハス。シハラクアリテ。何事ニ泣給ソト。仰ラレテ

シハ手<sup>テ</sup>足<sup>ア</sup>ヲモキリ。命<sup>イ</sup>ヲモステ、ソ。後生ハタスカラニスルトソウ  
ケ給ハラニスラント。存<sup>ン</sup>スル所ニタ、念佛タニモ申セハ。往生ハ  
スルト。ヤスヤスト仰<sup>セ</sup>ヲ蒙<sup>カ</sup>リ侍<sup>ム</sup>シハ。餘リニラシシテナカシ侍  
ルヨシヲソ申ケル。誠<sup>ニ</sup>後世ヲ恐<sup>ラ</sup>タルモノトミエテシハ。無<sup>ク</sup>智<sup>キ</sup>ノ  
罪人ノ念佛申テ。往生スル事。本願ノ正意ナリトテ。念佛  
ノ安心<sup>ニ</sup>コミカニ授<sup>ケ</sup>給ケレハ。フタ心ナキ。專修ノ行者ニテ。又  
ク上人ニツカヘタテツリケリ。或<sup>レ</sup>時上人月輪殿へ參<sup>リ</sup>給  
ケルニ。此、入道推參<sup>シ</sup>テ。御共ニイリケルヲト、メハヤト。思  
食<sup>メ</sup>サレケレトモ。サルク世者ナレハ。中々アレカリヌト思食テ。仰<sup>セ</sup>  
ラル、肯<sup>ム</sup>十カリケレハ。月輪殿ニテイリテ。クツヌキニ候<sup>シ</sup>テ。縁<sup>ニ</sup>  
ニ手<sup>テ</sup>ツキカケ。ヨリカ、リテ侍ケルカ。御談義<sup>ノ</sup>聲ノカスカニキ

コエケレハ。此、入道申ケルハ。アハレ穢<sup>ユ</sup>土<sup>ホ</sup>程<sup>ニ</sup>口<sup>ノ</sup>惜<sup>ク</sup>所<sup>ナ</sup>アラシ極<sup>ニ</sup>  
樂ニハカル。差別<sup>ハ</sup>アルマシキモノヲ。談<sup>ク</sup>義<sup>ノ</sup>御聲モ。キコエハ  
コソト。レカリ聲ニ高聲ニ申ケルヲ。禪定<sup>ノ</sup>殿下<sup>ニ</sup>キコレメシテ。コ  
ハナニモノソト。仰<sup>ラ</sup>レケレハ。熊谷<sup>ノ</sup>入道トテ。武藏國ヨリ。マカ  
リノホリタル。クセモノ、候カ。推參ニ共<sup>シ</sup>レテ候ト覺<sup>ク</sup>候ト。上  
人申給ケレハ。ヤサシ、タ、メセトテ。御使<sup>ヲ</sup>出<sup>サ</sup>シテ。メサレケ  
ルニ。一<sup>ノ</sup>言<sup>ノ</sup>色<sup>ノ</sup>題<sup>ニ</sup>モ及ハス。ヤカテメシニ隨<sup>テ</sup>テ。チカク大床ニ  
祠<sup>ノ</sup>候<sup>シ</sup>テ。聽<sup>ク</sup>聞<sup>ク</sup>仕<sup>ケ</sup>リ。往生極樂ハ。當來ノ果報<sup>ナ</sup>シトヲレ。  
忽<sup>ニ</sup>堂<sup>上</sup>ヲユルサレ。今生ノ果報<sup>ヲ</sup>感<sup>シ</sup>レタル事。本願ノ念  
佛ヲ行<sup>ハ</sup>セスハ。イカテカ此<sup>ノ</sup>式<sup>ニ</sup>及ヘキト耳<sup>目</sup>驚<sup>マ</sup>テソ。ミエケル

第二段

蓮生念佛往生ノ信心決定シテ後八偏ニ上品上生ノ往生ヲ  
ノミ。我若上品上生ノ往生ヲ遂クマシクハ下八品ニハ迎ヘラレニイ  
ラセシトイフ。カタク願ヲオコシテ發願ノ旨趣ヲハ偈ヲ結テ自  
コレヲ書付ク。カノ狀ニ云ク。元久元年五月十二日。鳥羽ナ  
ル所ニ。上品上生ノ來迎ノ阿彌陀ホトケノ御前ニテ。蓮生  
願ヲ發テ申サシ。極樂ニ生シタランニハ。身ノ樂ノ程ハ。下品下  
生ナリトモ限ナシ。然而天台ノ御釋ニ。下ノ八品不可  
來生ト。仰ラレタリ。同クハ一切ノ有緣ノ衆生。一人モノコ  
サス。來迎セント。無緣ノ衆生ニテモ。思ヒヲカケテ。トフラハシカ  
爲ニ。蓮生。上品上生ニムマシ。サラヌ程ナラハ。下ノ八品ニハ  
ムニルニシ。カク願ヲ發テ。後ニ又イハク。慧心ノ僧都ヌラ。下品

上生ヲ。子カヒ給タリ。何况未代ノ衆生。上品上生スル者  
ハ。一人モアラシト。聖リノ御房ノ仰コトアルヲ。聞十カラ。カハル  
願ヲオコシハテ。イハク。未代ニ。上品上生スルモノアルニシキニ。  
而モヨロツ不當ナル蓮生イカテ。上品上生ニハ。生ルヘキツ。  
サナクハ。下ノ八品ニ。生シテ願シタレトテ。阿彌陀ホトケモ  
シ迎給ハスハ。第一ニ彌陀ノ本願ヤフレ給ヒナシ。次ニ彌  
陀ノ慈悲カケ給ナシ。次ニ彌陀ノ願成就ノ文破レ給ナ  
ス。次ニ釋迦ノ觀無量壽經ノ十惡ノ一念往生。五逆  
ノ十念往生。又阿彌陀經ノ若ハ一日若ハ七日ノ念佛  
往生。又六方恒沙ノ諸佛ノ證誠。又善導和尚ノ下至  
十聲一聲等定得往生ノ尺。又ナニヨリモ。觀經ノ上品

上生ノ。三心具足ノ往生。ソレヲ善導ノ釋ノ具足三心  
必得往生也。若少一心即不得生。又專修ノモノハ千ハ  
千ナカラノ尺。コトコトクコレヲ佛ノ願トイヒ。佛ノ言トイヒ。  
善導ノ釋トイヒ。若蓮生ヲ迎へ給ハスハ。三ナ破レテ。各妄語  
ノ罪ヲ得給ヒナンス。イカテカ大聖ノ金言ムナシカルヘキヤ。  
又光明遍照十方世界ノ文。又此界一人念佛名ノ文。  
此金言トモムナシカラシ。イヨイヨコレヲノ文ヲモテ。疑ナキ十  
リトオモフ。一切ノ有縁ノ輩即立歸テ迎へレトテ。願ヲ發  
テ。上品上生ナラスハ。ムカヘラシメイラセトイフ。カタク願ヲ  
發シタルカ。ヨクヒカ事ナラシ。定五逆ノ者ハカリハアラシ。シカ  
シハ。イカナリトモ。迎給ハヌコトアラシ。コレヲ疑ハヌ心ハ。三心具

足シタリ。上品上生ニムルヘキ決定心ヲ發シタリ。ゾノ疑  
煩惱断シタリ。ソノサトリヲヒライタリ。善導又天台。此事ヲ  
ミルモノハ。上品上生ニムル。又衆生ノ苦ヲ又事ヲ得。又  
無生忍ヲサトル。又樂極ニ所願ニ隨テ。生ルトノ給ヘリ  
下ハ。品ノ往生。ウレステ、シカモ子カハス。カノ國土ニイタリ  
ヲハリテ。スナハチカヘリ來事アタハサレハナリ。カサ子テコラ  
我願ニライテ。或ハ信シ或ハ信セサラモノ。子カハクハ。信ト謗  
トヲ因トシテ。ミナニサニ。淨土ニムルヘシ。  
千時元久元年五月十二日午時二偈ノ文ヲ結テ。連  
生イニ願ヲオコス。熊谷入道。年ハ六十七ナリ。京ノ鳥羽ニ  
テ。上品上生ノ迎へノ曼隆羅ノ御前ニテコレヲカク取詮

又和字ノ偈ノ文ヲ隆寛律師漢字ニカキナサレケル

下八品往生

我捨而不願

致彼國土已

即不能還來

重乞於我願

或信或不信

願信謗為因

皆當生淨土

又蓮生自筆ノ夢ノ記云上品上生ニムルヘシトイフ夢

ヲヒタヒ見タリソハノ人モミテ告タリ善道ハ夢ヲミニテサトリテ觀經ノ疏ハ作給ヘリ慧心又往生要集夢ヲ見テ記シ給ヘリ又瓊海決定往生集夢ヲ見テ記シ給ヘリ法華經ニ四安樂ノ行者ノ夢ノ中ノ八相ヲ記シタニヘリ而ニ蓮生五月十三日此願ヲ發テ同廿二日ノ夜阿彌

陀佛ニ申サク蓮生カオコレ候願成就スヘク疑マシカラシ御示現タヘ又叶マシクハ叶マレト示現タヘトナタサマニモツタカフマシカラシ示現タヘト申テ子タルソノ夜スナハキ夢ニミル様金色ノ蓮ノ花ノクキハカクテ枝モナクテソロソロトシテタヘ一本立タルソノメクリニ人十人ハカリ居マハリテアルニ蓮生申コトソコト人ハ一人モアレカ上ニハノホリエシ蓮生一人ハ下定ノホルヘキナリトイヒハツシハイカニシテノホリタリトモオホヘスレテソノ蓮ノ花ノ上ニホリテ端坐シテ居タリト三ハツシハ夢サメヲハリ又願ヲオコスコノ願マコトナルヘクハ臨終ニユハシカラシ人々耳自オトロクハカリノ瑞相ヲ示現シテモロモロノ人ニ彌陀ノ本願ミウラヤセ給ヘ



トオコシタリ。故ニ上品上生ノ往生。イヨイヨ疑ナキナリ。又  
同年六月廿二日ノ夢。同シ心ナリ。取詮  
蓮生自筆ノ發願ノ文。夢記等ハミナ和字ナリトイヘト  
モヨミニクキニヨリテ。少々漢字ニナス

第三段

蓮生行住坐卧不背西方ノ文ヲ。フカク信シケルニヤ。アカ  
ラサマニモ。西ヲ背ニセサリケレハ。京ヨリ関東ヘ下ケル時モ。  
鞍ヲサカサマニラカセテ。馬ニモサカサマニ乗テ。口ヲヒカセケルト  
ナシサレハ蓮生

淨土ニモカウノモノトヤ沙汰スラシ。西ニ向テウレロミ世子ハ。  
トソ詠レケル。上人モ信心堅固ナル。念佛ノ行者ノタメニ

二八常ニ思ヒ出給。坂東ノ阿彌陀ホトケトソ。仰ラレケル。然  
而。ソノ性タケクシテ。ナラ犯人ヲハ。或ハ馬舩ヲカツケ。或ハホ  
タシヲウチ。或ハレハリ。或ハ筒ヲカケテ。誡メ置ケリ。ヨニ心  
エヌ。ワサニテウアリケル。下國ノ後。不審ナル事トモヲ。狀ヲモ  
テ。尋申ケレハ。上人ノ御返事云。悦テ奉リ候。又實ニ其後  
オホツカナク候ツルニラレシク仰ラレテ候。但念佛ノ文書テ  
トイラセ候。念佛ノ行ハ。カノ佛。本願ノ行ニテ候。持戒誦經  
誦咒理觀等ノ行ハ。カノ佛ノ本願ニアラヌ。ヲコナヒニテ候  
ヘハ。極樂ヲ子カハン人ハ。ツ必ス本願ノ念佛ノ行ヲ。ツトメ  
テノウヘニモ。レコトヲコナヒテ。念佛ニシク久ヘ候ハント。思ヒ候  
ハ。サモツカミツリ候。又タ、本願ノ念佛ハカリニテモ候ヘシ。

善道和尚ハ阿彌陀佛ノ化身ニテオハレシ候ヘハソレコソ  
ハ一定ニテ候ヘト申候ニ。孝養ノ行モ佛ノ本願ニアラ  
ス。又ヘンニ隨テツトメサセオハレマスヘク候。又銅ノ阿字ノ事  
モ錫杖ノ事モ佛ノ本願ニアラヌ。ツトメニテ候。トテモカクテ  
モ候ナン。又迎接ノ曼陀羅ハ大切ニオハレシ候。ソレモ次  
ノ事ニ候。又念佛ヲ三萬。若ハ五萬。若ハ六萬。一心ニ申  
サセオハレシ候ハソ。決定往生ノヲコナヒニテ候。コト善根  
ハ念佛ノイトマアラハノ事ニ候。六萬。又ヲタニ。一心ニ申サセ  
給ハ。ソノ外ニハ。何事ヲカ。セサセオハレマスヘキ。メヤカ  
ニ。一心ニ三萬五萬。念佛ヲツトメサセ給ハ。少々飛行ヤ  
フレサセオハレシ候トモ。往生ハソレニヨリ候。レキ事ニ候。

但此中ニ孝養ノ行ハ佛ノ本願ニテハ候ハ子トモ。八十九  
ニテオハレシ候ナリ。アヒカマヘテコトシナントハ。キイラセサセ  
オハレシカレト覺候。又ヒトリタノミイラセテオハレシ候  
ナリ。カナラスカナラス。キイラセオハレマスヘク候ナリ

五月二日

源空武藏國熊谷入道殿御返事日上取詮

第四段

蓮生カ往生。ウタカヒアルマシキヨシ。或ハ佛ノ告ヲ蒙リ。或ハ  
不思議ノ奇瑞トモノ侍ケルヲ上入ニ申入ケル事。カクシ十  
カリケレハ月輪ノ禪定殿下聞食サレテ上入ニ尋申サレ  
ケル御文ニ。熊谷ノ入道。往生ヲトケストイヘトモ。不思議

ノ奇瑞<sup>キス</sup>茅<sup>ス</sup>ヒトツニアラサルヨシ。天下ニアマ子ク。カタラヒウタフ  
事<sup>コト</sup>モ<sup>シ</sup>實<sup>ニ</sup>ナラハ。寂<sup>サ</sup>前<sup>ゼン</sup>ニ告<sup>ツ</sup>仰<sup>セ</sup>ラルヘキ所<sup>トコロ</sup>ニ。今<sup>イマ</sup>テ無<sup>ク</sup>音<sup>ノ</sup>ニ候<sup>ケル</sup>。  
尤<sup>モ</sup>不<sup>レ</sup>審<sup>シ</sup>也。彌<sup>ミ</sup>陀<sup>タ</sup>利物<sup>リキ</sup>未<sup>レ</sup>法<sup>ホウ</sup>偏<sup>ヒン</sup>增<sup>ゾウ</sup>ノ證<sup>シ</sup>。タ、カクノコトキノ  
事<sup>コト</sup>ニアルカ。隨<sup>ス</sup>喜<sup>キ</sup>感<sup>カン</sup>淚<sup>レイ</sup>タトヘヲトルニ。モノナシ。此<sup>コノ</sup>事<sup>コト</sup>ヲ告<sup>ツ</sup>給<sup>ケル</sup>サ  
ル條<sup>ジョウ</sup>モ<sup>シ</sup>コレ一<sup>ヒト</sup>向<sup>カウ</sup>欣<sup>シン</sup>求<sup>グ</sup>ニアラサルヨシ。御<sup>ミ</sup>疑<sup>ギ</sup>ノアル歎<sup>タ</sup>子<sup>コ</sup>カフ  
心<sup>ココロ</sup>サレノアサハ。フカサハ。タ、阿<sup>ア</sup>彌<sup>ミ</sup>陀<sup>タ</sup>如<sup>ニ</sup>來<sup>ニ</sup>ノ知<sup>チ</sup>見<sup>ミ</sup>ニ。カセタ  
テマツルモノナリ。但<sup>レ</sup>宿<sup>シュク</sup>障<sup>ショウ</sup>深<sup>シ</sup>重<sup>ジュウ</sup>ノユヘニ。至<sup>シ</sup>誠<sup>ジツ</sup>心<sup>シン</sup>コソ。術<sup>ジュツ</sup>ナク  
候<sup>ケル</sup>ヘ。信<sup>シン</sup>仰<sup>ゴウ</sup>欣<sup>ゴウ</sup>求<sup>グ</sup>ノ條<sup>ジョウ</sup>ハ。此<sup>コノ</sup>假<sup>カ</sup>名<sup>ナ</sup>新<sup>シン</sup>發<sup>ハツ</sup>等<sup>トウ</sup>ノ中<sup>ナカ</sup>ニ強<sup>キヤウ</sup>ニ恐<sup>コウ</sup>  
思<sup>シ</sup>給<sup>ケル</sup>ヘカラサルモノ歎<sup>タ</sup>。イカニイカン。來<sup>キ</sup>六<sup>ロク</sup>七<sup>シチ</sup>日<sup>ニチ</sup>ノ間<sup>ノ</sup>必<sup>カナラ</sup>ス見<sup>ミ</sup>  
參<sup>サン</sup>ヲトケントオモフ。申<sup>マウ</sup>合<sup>カフ</sup>ヘキ事<sup>コト</sup>等<sup>トウ</sup>アルユヘナリ。敬<sup>キヤウ</sup>白<sup>ハク</sup>四<sup>シ</sup>月<sup>ゲツ</sup>  
一<sup>ヒト</sup>日<sup>ニチ</sup>法<sup>ホウ</sup>然<sup>ニ</sup>御<sup>ミ</sup>房<sup>ボウ</sup>。<sup>取<sup>ト</sup>上<sup>ウ</sup> 証<sup>シ</sup></sup>禮<sup>レイ</sup>紙<sup>シ</sup>云<sup>ク</sup>。カノ入<sup>イ</sup>道<sup>ダウ</sup>ノマ<sup>マ</sup>イ<sup>イ</sup>ラ<sup>ラ</sup>スル<sup>ル</sup>狀<sup>ジョウ</sup>

正文ヲ給<sup>ケル</sup>テ一<sup>ヒト</sup>見<sup>ミ</sup>ヲ加<sup>カ</sup>ヘントオモフ。轉<sup>テン</sup>寫<sup>シャ</sup>ノ本<sup>ホン</sup>ノ文<sup>モン</sup>字<sup>ジ</sup>。タ、  
シカラスシテ。ヨミレサルトコロナリ。比<sup>ヒ</sup>校<sup>コウ</sup>スヘキモノナリ。事<sup>コト</sup>ノ次<sup>ジ</sup>  
第<sup>ダイ</sup>殆<sup>タイ</sup>タ<sup>タ</sup>クヒスクナシ。正<sup>テイ</sup>シク往<sup>ワウ</sup>生<sup>セイ</sup>ヲトケタランニハ。超<sup>チウ</sup>過<sup>カ</sup>シ畢<sup>ヘツ</sup>  
又<sup>マタ</sup>。貴<sup>キ</sup>ヘシ信<sup>シン</sup>スヘシ。凡<sup>ソド</sup>左<sup>サ</sup>右<sup>ウ</sup>ニラタハサルモノナリ。宿<sup>シュク</sup>善<sup>ゼン</sup>ノイタリ  
申<sup>マウ</sup>テア一<sup>ヒト</sup>リアリ。ソノ子<sup>コ</sup>息<sup>ソク</sup>ノ會<sup>カイ</sup>尺<sup>シツ</sup>又<sup>マタ</sup>以<sup>モ</sup>珠<sup>シュ</sup>重<sup>ジュウ</sup>。一<sup>ヒト</sup>々<sup>ゾ</sup>ノ事<sup>コト</sup>皆<sup>ハレ</sup>  
以<sup>テ</sup>不<sup>レ</sup>思<sup>シ</sup>議<sup>ギ</sup>ノ境<sup>キョウ</sup>東<sup>トウ</sup>ナリ。ナラ感<sup>カン</sup>淚<sup>レイ</sup>禁<sup>キン</sup>シカタキ歎<sup>タ</sup>。承<sup>ジュウ</sup>及<sup>キ</sup>三<sup>サン</sup>隨<sup>ズイ</sup>テ  
馳<sup>チ</sup>申<sup>マウ</sup>所<sup>トコロ</sup>也。御<sup>ミ</sup>返<sup>ヘン</sup>報<sup>ポウ</sup>ノ趣<sup>ソ</sup>ソノ草<sup>ソウ</sup>アラハ。一<sup>ヒト</sup>見<sup>ミ</sup>ノ志<sup>シ</sup>アリイ  
カ<sup>カ</sup>ニ<sup>ニ</sup>取<sup>ト</sup>上<sup>ウ</sup> 証<sup>シ</sup>

上人熊谷入道ニツカハサレケル。御返事ニ云。此条コソト  
カク申ニ及ス。目出候ヘ。往生セサセ給タランニハ。スクレテ  
覺候。死期知テ往生スル人々ハ。入道殿ニ限ラス多候。



ト歎ケレハ彌陀如來ノ御告ニヨリテ。來九月ヲ契ル所ナ  
リ。全ク私ノ計ニ非ストソ。申ケルサル程ニ光陰程ナクウツリ  
テ。春夏モス主ニケリ。八月ノ末ニ聊ナヤム事アリケルカ。九月  
一日。ソラニ音樂ヲ聞テ後更ニ苦痛ナク。身心安樂ナリ。  
四日ノ後夜ニ沐浴シテ。漸ク臨終ノ用意ヲナス。諸人マ  
タ群集スル事盛ナル市ノ如シ。已ニ已尅ニ至ルニ。上人彌  
陀來迎ノ三尊化佛菩薩ノ形像ヲ一補ニ圖繪セラレ  
テ。秘藏シ給ケルヲ蓮生洛陽ヨリ武州へ下リケルトキ給ハ  
リタリケルヲ懸奉リテ。端坐合掌シ。高聲念佛熾盛ニシテ。  
念佛ト共ニ息ト一ル時。口ヨリ光ヲ放ツ。ナカサ五六寸ハ  
カリナリ。紫雲變變トシテ。音樂鬚鬚タリ。異香芬郁シ。大

地震動ス。奇瑞連綿トシテ。五日ノ卯時ニイタル翌日子  
尅ニ入棺ノトキ。又異香音樂等ノ瑞ガキノ如シ。卯時ニ  
イタリテ。紫雲西ヨリ來テ。家ノ上ニトハマル事。一時アマリ  
アリテ。西ヲ指テ去ヌ。コレヲノ瑞相等遺言ニ任テ。聖覺法  
印ノ許ヘ注シテクリケリ。往生ノ靈異スコフル。比類ミナレ  
事ニナン侍ケレハ。實ニ上品上生ノ往生。ウタカヒテトソ  
申アヒケル

第二十八卷

第一段

武藏國ノ御家人津ノ戸ノ三郎為守ハ。生年十八歳ニ  
シテ。治承四年八月ニ幕下將軍干衛佐石橋ノ合戰

ノ時。武藏國ヨリ馳參テ後安房國へ越給レニモ。同クア  
ヒ隨ヒ。虜々ノ合戰ニ。忠ヲ致シ名ヲアケスト云コトナシ。建  
久六年二月。東大寺供養ノ爲ニ幕下上洛ノ事アリキ。  
爲守生年三十三ニテ。供養シタリケルカ。三月四日。入  
洛シ。同廿一日。上人ノ庵室ニ參リテ。合戰度々ノ罪ヲ  
懺悔シ。念佛往生ノ道ヲ承リテ。後ハ但信稱名ノ行者ト  
ナリニケレハ。本國ニ下ニモ。ヲコタリナカリケルニ。或ルト  
道津戸三郎ハ。無智ノ者ニテ。余行カナヒカタケレハコソ。念  
佛ハカリヲハス。メタマフヲ。有智ノ人ニハ必シモ。念佛ニハ  
限ルヘカラスト申ケルヲ。爲守ツタヘ聞テ。上人ニ尋申ケル  
次ニ。条々ノ不審ヲ申入ケリ。上人ノ御返事云ク

熊谷入道津戸三郎ハ。無智ノ者ナレハコソ。但念佛ヲハス  
スメタシ。有智ノ人ニハ必シモ。念佛ニハ限ルヘカラスト申ヨシ。  
聞エテ候ラニ。極タル僻事ニ候。ソノ故ハ。念佛ノ行ハ。本ヨリ  
有智無智ニ限ラス。彌陀ノ昔誓ヒ給シ本願モ。アマ子ク下  
切衆生ノ爲ナリ。無智ノ爲ニ。念佛ヲ願シ。有智ノ爲ニハ。  
余ノ力キ行ヲ願シ給コトナシ。十方衆生ノ句ニ。ヒロク有  
智無智。有罪無罪。善人惡人。持戒破戒。カレコキモ。イヤ  
シキモ。乃至皆コモルナリ。サレハ往生ノミチヲ問尋候人ニハ。  
有智無智ヲ論セス。皆念佛ノ行ハカリヲ申候ナリ。而ニソ  
ラ事ヲカマヘテ。左様ニ念佛ヲ申ト。メントスルモノハ。先ノ世  
ニ念佛三昧。淨土ノ法門ヲキカス。後ノ世ニ又ニ惡道へ

カヘルヘキモノハ。レカルヘクテ。左様ノ事ヲハ。タクミ申事ニテ候ナリ。其ヨシ聖教ニ見エテ候。見有修行。起瞋毒方便。破壊競生怨。如此生盲。闍提輩。毀滅頓教。永沉淪。超過大地微塵劫。未可得離三途身ト。申タルナリ。此文ノ心ハ。淨土ヲ子カヒ。念佛ヲ行スルモノヲミテハ。イカリヲオコシ。毒心ヲ含テ。ハカリコトヲメラシ。様々ノ方便ヲナレテ。念佛ノ行ヲ破リテ。アラソヒテ。アタラナシ。コレヲトハ。メントスルナリ。カクノコトキノ人ハ。生レテヨリコノカタ。佛法ノ眼レ井テ。佛ノ種ヲ失ナヘル。闍提ノ輩ナリ。彌陀ノ名號ヲトナヘテ。トカキ生死ヲ忽ニ切テ。常住ノ極樂ニ往生ストイフ。頓教ノ御法ヲソレリホホシテ。此罪ニヨリテ。三惡道ニ沉テ。大地微塵劫ヲ過トモ。ナガク三惡道ノ身ヲ。ハナルヘカラストイヘルナリ。サレハ左様ニ。ゾラ事ヲタクミテ申候ラン人ヲハ。ガヘリテ。アハシムヘキナリ。サ。裡ノモノ。ハ。申サンニヨリテ。念佛ニ疑ヲナシ。不信ヲオコサンモノハ。イフニタラヌ。裡ノ事ニテ。コソハ候ハメ。大方彌陀ニ縁アサク。往生ニ時イタラヌモノハ。キケトモ信セス。コナフヲミテハ。腹ヲタテイカリヲ含テ。サマタケントスルコトニ候也。ソノ心ヲエテ。イカニ人申トモ。御心ハカリハ。ユルガ世給ヘカラス。強ニ信セサランハ。佛ナラカシヨヒタマフマシ。何况凡夫ノカヲヨヒ候マシキ事ナリ。カ。ル不信ノ衆生ヲ。利益セントオモハシニツケテモ。トク極樂ヘマイリテ。サトリヲヒラキテ。生一死ニカヘリテ。誹謗不信ノ者ヲモツタシテ。一切衆生ア。子ク。利益セン

塵劫ヲ過トモ。ナガク三惡道ノ身ヲ。ハナルヘカラストイヘルナリ。サレハ左様ニ。ゾラ事ヲタクミテ申候ラン人ヲハ。ガヘリテ。アハシムヘキナリ。サ。裡ノモノ。ハ。申サンニヨリテ。念佛ニ疑ヲナシ。不信ヲオコサンモノハ。イフニタラヌ。裡ノ事ニテ。コソハ候ハメ。大方彌陀ニ縁アサク。往生ニ時イタラヌモノハ。キケトモ信セス。コナフヲミテハ。腹ヲタテイカリヲ含テ。サマタケントスルコトニ候也。ソノ心ヲエテ。イカニ人申トモ。御心ハカリハ。ユルガ世給ヘカラス。強ニ信セサランハ。佛ナラカシヨヒタマフマシ。何况凡夫ノカヲヨヒ候マシキ事ナリ。カ。ル不信ノ衆生ヲ。利益セントオモハシニツケテモ。トク極樂ヘマイリテ。サトリヲヒラキテ。生一死ニカヘリテ。誹謗不信ノ者ヲモツタシテ。一切衆生ア。子ク。利益セン

トオモフヘキ事ニテ候也

念佛ヲ申サセ給ハンニハ。心ヲツ子ニカケテ。口ニラスレス。唱ル  
カ。メテタキコトニテ候ナル。タトヒ身モキタナク。口モキタナクト  
モ。心ヲ清クシテ。申サセ給ハン事。返々々々神妙ニ候。ヒニナク左  
様ニ申サセ給フランコソ。返々々目出々々候ヘイカナラントキ  
ナリトモツスレシテ。申サセ給ハ。往生ノ業ニカナラスナリ候  
ハンスルナリ。イカナルトキニモ。申サシサラシコソ。子シテ申ハヤ  
ト。思ヒ候ヘキニ。申サレシ子シテ。申サセ給ハヌコトハイカテ  
カ候ヘキ。タ、イカナルオリモ。キラス申サセ給フヘシ  
アラヌ行コトサトリノ人ニ向テ。イタクシ井テ。仰セラルコト  
候マシ。異解異學ノ人ヲ見テハ。コレヲ恭敬シテカロシメ。アテ

トル事ナカシト。申タルコトニテ候也。阿彌陀佛ニ縁ナク。極  
樂淨土ニ。子キリスクナカラシ人ノ。信モオコラス。子カハシクモ。  
ナカラシニハ。カヲヨハス。タ、心ニ任テ。イカナルヲコナヒヲモシテ。  
後生タスカリテ。ニ惡道ヲハナルコトヲ。人ノ心ニシタカヒテ。  
ス、メ候ヘキナリ。又チリハカリモ。カナヒヌヘカラシ人ニハ。阿彌  
陀佛ヲス、メ。極樂ヲ子カハスヘキニテ候。イカニ申ストモ。コ  
ノ世ノ人ノ念佛ニアラテハ。極樂ニム、シテ。生死ヲハナル、  
事ハ候マシキナリ。モレハソレリ。モレハ信セサラシモノヲハ。コハカ  
ラテ。コレヲフヘキニテ候ナリ。已上取證コノ御返事ヲ給テ後ハ。イ  
ヨイヨ。念佛ノ外他事ナカリケルヲ。見ウラヤミテ。專修念佛  
ノ行人。カノ國中ニ三十余人マテニナリニケレハ。此、由ヲ上



人へ申入ケルニ。上人御返事云。專修念佛ノ人ハ。ヨニア  
リカタク候ニ。ソノ一國ニ。三十余人マテ候ランコソ。マメヤカ  
ニアハレニ候ヘ。京邊ナトノ。ソ子ニキナラヒ。カタハラヲモ。見ナラ  
ヒ候又ヘキ所ニテ候ニタニモ。思切テ專修念佛スル人ハ。アリ  
カタキ事ニテ候。道<sup>ミチ</sup>禪<sup>ゼン</sup>師<sup>シ</sup>ノ。平州<sup>ヘイシュウ</sup>ト申所コソ。一向念佛  
ノ地ニテハ候シカ。專修念佛三十余人ハ。ヨニアリカタク覺<sup>ツトク</sup>  
候。コレヒトヘニ御<sup>ミコト</sup>力<sup>チカラ</sup>又熊谷<sup>クマノ</sup>入道<sup>ニチウ</sup>ナント云ヘニテコソ候ナレ  
ソモ。時ノイタリテ。往生スヘキ人ノ。多<sup>オホク</sup>候ヘキユヘニコソ候ラヌ。  
縁ナキコトハワサト。人ノス、メ候ニタニモ。叶ハヌ事ニテ候ヘハ。  
マレテ子<sup>コ</sup>細<sup>サイ</sup>モシラセ給ハヌ人ナントノ。仰ラレンニヨルヘキ事  
ニテモ候ハヌニ。モトヨリ機縁<sup>キエン</sup>純熟<sup>ジュンジュク</sup>シテ。時イタリタルコトニテ

候ヘハコソ。サホト專修ノ人ナントハ候ラヌト。ラレハカラシ候。  
念佛往生ノ誓願<sup>セイヤク</sup>ハ。平等ノ慈悲<sup>ジイ</sup>ニ住<sup>ヂウ</sup>シテ。發シ給ヒタル事  
ナレハ。人ヲキラフコトハ候ハヌナリ。佛ノ御心ハ慈悲ヲモテ。體  
トスル事ニテ候ナリ。サレハ觀無量壽經<sup>カンミョウジユキョウ</sup>ニハ。佛心トイフハ。本  
慈悲コレナリト説<sup>トク</sup>シテ候。善導和尚此<sup>コノ</sup>文ヲ受テ。此<sup>コノ</sup>平等  
ノ慈悲ヲモテハ。普<sup>フ</sup>ク一切ヲ接<sup>セツ</sup>スト釋<sup>シヤク</sup>シタニヘリ。一切ノ言<sup>コト</sup>ヒ  
ロクシテ。モル、人候ヘカラス。サレハ念佛往生ノ願ハ。コレ彌陀  
如來ノ本地ノ誓願ナリ。余ノ種々ノ行ハ。本地ノチカヒニ  
アラス。釋迦<sup>シヤカ</sup>モ世ニ出<sup>デ</sup>給事ハ。彌陀ノ本願ヲトカント思<sup>オモ</sup>食<sup>ク</sup>  
御心ニテ候ヘトモ。衆生ノ機縁<sup>キエン</sup>ニ隨ヒ給フ日ハ。余ノ種々  
ノ行ヲモ。説給フハ。コレ彌陀如來ノ本地ノ誓願ナリ。余ノ

種々ノ行ハ。本地ノチカヒニアラス。コレスイキ隨機ノ法ナリ。佛ノ身ツカラ御心ノ底ニ候ハス。サレハ念佛ハ彌陀ニモ。利生ノ本願。釋迦ニモ。出世ノ本懷ナリ。余ノ種々ノ行ニ似ス候也。取詮此仰ヲ承テ後ハ。マススイサミヲナシ。念佛ノ外。他事ナカリキ

第二段

津、戸三郎上人ノ門弟。淨勝房。唯願房。等ノ僧衆少。少申クタシテ。念佛ノ先達トシテ。不断念佛ヲハシメ。ヨコナヒケルヲ爲守聖道ノ諸宗ヲ謗シ。專修念佛ヲ與スルヨシ。元又二年ノ秋ノ比。征夷將軍右大臣ニアラヌサマニ。讓シ申者有テ。召尋ラルヘキヨシ。キコエケレハ。爲守驚テ若サル

事アラハイカ、申上候ヘキ。難答ノ詞假令ノ様ヲ假名真名ニシハシク注シ給ルヘキ旨。飛脚ヲモテ。上人ニ申入タリケレハ。上人御返事云。念佛ノコトイニタ。クハシクナラセ給ハヌコトニテ候ヘハ。專修雜修ノ間ノ事ハ。クハシキ沙汰候ハストモ。召上ハシ候ハ。法門ノクハシキコトハシリ候ハス。御京上ノ時。ウケタマハリシタヘテ候。聖ノ許ヘマカリ候テ。後世ノ事ヲハイカ、シ候ヘキ。在家ノ者ナント。後生タスカリ候ヌヘキコトハ。何事カ候ラントトヒ候シカハ。ヒシリノ申候シ様ハ。生死ヲハナル、ミチハ。様々ニ多ク候ヘトモ。ゾノ中ニ極樂ニ往生スル。コレ佛ノ衆生ヲス、メテ。生死ヲイタサセ給フ一ノ道ナリ。而ニ極樂ニ往生スル行。又様々ニ多ク候ヘトモ。

ソノ中ニ念佛ハ。コレ彌陀ノ一切衆生ノ爲ニ。ミツカラ誓ヒ  
 給タリシ。本願ノ行ナレハ。往生ノ業ニトリテハ。念佛ニシタハナ  
 シ。往生セントオモハ。念佛ヲコソハセメト申候キ。何況又在  
 家ノ者ノ。法門ヲモシラス。智慧モナカラシモノハ。念佛ノ外ニ  
 ハ。ナニコトヲシテ。往生スヘシト。イフコトナレバ。カオサナクヨリ。法  
 門ヲナラヒタルモノニテアルタニモ。念佛ヨリ外ニ。又何事ヲ  
 シテ。往生スヘシトモ覺テハ。タ。念佛ハカリヲシテ。彌陀ノ本  
 願ヲタノミテ。往生セント思テアルナリ。コレテ在家ノ者ナシ  
 トハ。ナニ事カアラシト申候レカハ。フカクソノ由ヲ辨候テ。念佛  
 ヲ仕リ候ナリ。又此。念佛ヲ申コトハ。タ。ワカ心ヨリ。彌陀本  
 願ノ行ナリトサトリテ。申事ニモ非ス。唐ノ代ニ。善導和尚ト

申候レ人ノ。往生ノ行業ニヲキテハ。專修雜修ト申二ツノ行  
 ヲ分テス。メ給ヘルナリ。專修トイフハ。念佛ナリ。雜修トイフ  
 ハ。念佛ノ外ノ行ナリ。專修ノ者ハ。百人八百人ナカラ往生  
 シ。雜修ノ者ハ。千人カナカニ。一二人アリト云ヘル也。  
 唐土ニ又信中ト申者。コノ旨ラレルシテ。專修淨業文ト  
 云文ヲ作テ。唐土ノ諸人ヲ勸タリ。專修ニツイテ。五種ノ專  
 修正行ト云コトアリ。此。五種ノ正行ニツイテ。又正助二  
 行ヲカテリ。正業ト云ハ。五種ノ中ノ第四ノ念佛ナリ。助  
 業ト云ハ。三ツノ外ノ四ノ行ナリ。今決定シテ。淨土ニ往生セン  
 ト思ハ。專雜二修ノ中ニハ。專修ノヲレヘニヨリテ。一向ニ  
 念佛スヘシ。正助二業ノ中ニハ。正業ノ勸ニヨリテ。一心ナ

ク。冬。第四ノ稱名念佛ヲスヘシト申候シカハダハシキ旨<sup>子</sup>フ  
カキハヲハ。レリ候ハス。サテハ念佛ハ。メテ又キ事ニコソアチレト  
信シテ。申候ハカリニ候。件ノ善導和尚ト申人ハ。氏アル人<sup>率</sup>  
ニモ候ハス。阿彌陀佛ノ化身ニテオハシマシ候ナレハ。ヲシヘ  
ス。メサセ給ハシコト。ヨモ僻事<sup>事</sup>ニテハ候ハシト。フカク信シマシ  
ラセテ。念佛ハ仕リ候ナリ。ソノツラセ給テ候ナル文共。多ク  
候ナレトモ。文字モシリ候ハ。又モノニテ候ヘハ。又ハ心計<sup>分</sup>ヲ聞<sup>持</sup>  
候テ。後生ヤマスカリ候。往生ヤシ候トテ申候程ニ。チカキモ  
ノトモ。ミウラヤマ候テ。少々申者トモ候ナリト。コレラ程ニ申  
サセ給ヘシ。中々委<sup>委</sup>ク申サセ給ハ。アヤマチモアリナントシテ。  
アシキ事モコソ候ヘ。様々ニ難<sup>難</sup>答<sup>答</sup>ラシレテ候ヘトモ。時ニノ

ソミテハ。イカナル詞<sup>詞</sup>トモカ候ハシスランニ。書<sup>書</sup>テマイラセテ候ハシ  
モ。アレク候又ヘク候。又ヨクヨク御ハカラヒ候テ。早<sup>早</sup>晩<sup>晩</sup>ヨキ様  
ニコソ。ハカラハセ給ハ。又念佛申スヘカラスト仰ラシテ候ト  
モ。往生ニ志<sup>志</sup>アラン人ハ。ソレニヨリ候マシ。念佛イヨイヨ申セ  
ト仰ラシ候トモ。道心ナカラシモノハ。ソレニヨリ候マシトカクニ  
ツケテ。イタク思食事候マシ。イカナランニツケテモ。コノタヒ往  
生シナント人ヲハシラス。御身ニカキリテハ。思食ヘシ。殿ハ道理  
フカクシリテ。僻事<sup>事</sup>ハオハシマサヌコトニテ候ト。申アヒテ候ヘハ。  
コレラ程ニ聞<sup>聞</sup>食<sup>食</sup>サンニ。念佛僻事ニテアリケリ。今ハチ申ソト  
仰ラル。コトハ。ヨモ候ハシ。サラサラン人ハ。イカニ申トモ。思フ  
トモ。無益<sup>益</sup>ノ事ニテコソ候ハシスレ。取<sup>取</sup>上<sup>上</sup>而<sup>而</sup>ニ堅<sup>堅</sup>年<sup>年</sup>四月廿

五白二。信濃前司干時山城行光奉行三テク及サル、  
御教書云津戸郷内建立念佛所令居住一向專修、  
輩之由所聞食也。彼宗之子細為有御尋為宗之輩、  
一兩人早可被召進之狀依仰執達如件云仍同月  
廿八日淨勝房唯願房等ノ念佛者ヲアヒ具シテ法華  
堂ノ前ノ二棟ノ御所ト號スル南向ノ廣廂ニ參候ス重  
重ノ御尋ツキテ津戸三郎ハ上人御返事ノ趣ヲソラニ  
シカヘテ用意シタル事ナレハトコホリナク申入ケルニ淨勝  
房等ノ念佛者ハ年來所學ノ道ナレハ法藏比丘因位  
ノ昔ヨリ彌陀如來成佛ノ今ニ至ルテ元九夫往生ノミニ  
クヲカラス述申ケレハ面々ニ立テ申ム子コトコトク聞食ヒラ

カレケルニヨリテ專修ノ行ニライテハ子細アルヘカラス。モトノ  
コトクツト又行ヘキヨシ仰出サレシノキハイヨイヨ念佛ノ行  
ヲコタリナカリシカハ建保七年正月右府薨逝ノトキ二下  
品禪尼ノ御ハカラヒトシテカノ御骨ヲ此所ニワタシ及テマ  
ツラレケレハ偏ニカノ御菩提ヲソトフラヒ申ケル

第三段

為守フカク上人ノ勸化ヲ信シ偏ニ極樂ノ往生ヲ子カヒ  
テ二心ナク念佛シケルカ同ハ出家ノ本意ヲトケハヤト思  
ケルニ關東ノ免許ナカリケレハ在俗ノ形ナカラ法各ヲツ  
キ戒ヲシケ袈裟ヲ持ツヘキヨシ上人ニソシミ申入ケレハソノ  
志ヲ哀テ寬印供奉ノカレタル戒本十重禁ノ次第并

二上人抄記ノ三聚淨戒ノ子ナントヲシルシク又サレ。又  
 袈裟ヲツカハシ。尊願トイフ法名ヲク又サレニケル。此御返  
 事ヲ給テ後八偏ニ出家ノ思ヲナシテ念佛ス。又其後上人  
 所持ノ念珠ヲ所望シケル。御返事ニハコレ程ニ思食事ハ  
 此世一ツノ事ニアラス。先ノ世ノフカキ契リト哀ニ候。カマヘ  
 テ極樂ニ此度參リアハセ給ヘシ。常ニ持テ候ス。マイラセ  
 候。御念佛ヲコタラス。世サセオハシニスヘシト。云取詮又或時  
 ノ御文ニハ此度カマヘテ往生シナント。思食切ヘク候。受カ  
 マキ人身。已ニ受タリ。アヒカマキ念佛往生ノ法門ニアヒタ  
 リ。娑婆ヲイトフ心アリ。極樂ヲ子カフ心ヲコリタリ。彌陀ノ  
 本願深シ。往生ハ御心ニアルナリ。ユメユメ御念佛ヲコタラ

ス。決定往生ノヨシヲ存セサセ給ヘシ。云コレヲノ御文トモ  
 ヲ。錦ノ袋ニ入テ。身ヲハナタサリケリ。レカルヘキ事ニヤ。建保  
 七年正月右丞相實朝公薨逝ノトキ。免許ヲ蒙テ出  
 家ヲトケ。上人ヨリレルシク又サレケル法名ヲツタヘ。尊願ト  
 ノ申ケル。上人往生ノ後八日。隨テ極樂ノ戀シク年ヲオヒ  
 テ。穢土ノイトハシク覺ケルマ、ニ。此御文ヲ取出シ。拜見シ  
 テハトクムカヘサセ給ヘト。申ケレトモ。空ク歲月ヲ送ケル間。  
 上人ノ門弟淨勝房以下ノ僧衆ヲモテ。仁治三年十  
 月廿八日ヨリ。三十七日ノ如法念佛ヲハシメ。十一月十  
 八日。結願ノ夜半ニ道場ニシテ。高聲念佛シ。ミツカラ腹  
 ラ切テ。五臟六腑ヲ取出シ。練大口ニツハミテ。忍テウレロノ

河ニステサセニケリ。夜陰ノ事ナレハ。人更ニヨシラシラス。其後  
僧衆ニ向テ加様ニ出家籠居シテ。大臣殿ノ御菩提ヲ  
トフラヒ申ニツケテモ。主君ノ御ナゴリモ。戀レクマシマスウヘ  
上人モ極樂ニ必ス参リアヘト。仰ノ侍リレニ。今マテ往生  
スレテ穢土ノスマヒ。旁々無益ナリ。釋尊モ八十ノ御入  
滅。上人モ八十ノ御往生。尊願又滿ハ十ナリ。第十八ハ。念  
佛往生ノ願ナリ。今日又十八日ナリ。如法念佛ノ結願  
ニ當テ。今日往生シタランハ。殊勝ノ事ナレハ。申ケレハ。  
カ、ル用意トハ。思モヨラス。只アラマシノ詞ト心得テ。實ニメ  
テタクコソ候ハメト。返答シタルニ。ソノ夜モアケ。十九日ニモ。ナ  
リヌ。アヘテ苦痛ナレ。只今臨終スヘキ。心地モナカリケレハ。

子息ノ民部大夫守朝ヲヨヒテ。切タル腹ヲ引アケテ。マロキ  
モトイフ者ノ殘テ。臨終ノフルト覺ユルナリ。ヨリテ三ヨト申  
ケル時。ハシメテ入レリニケル。心サキノ程ニ。マロキ者ノアルヨ  
シヲ申ケレハ。手ヲ入テ引切テナケステハ。コレガノコレル故ニ。  
臨終ハノフルナルヘシトソ申ケル。人々驚キアハテケレハ。娑婆  
ノイトハレク。極樂ノ子カハレキ志。日ニ隨テイヤマサリナレハ。今  
一日モトクマイリタクテ。カクハカラヒ又ルヨシヲ。カキクドキ申ケ  
レハ。實ニ願往生ノ志熾盛ナルアリサニ。ミル人ミナ涙ヲナカサ  
ヌハナレ。スコレキノイタミモナクテ。念佛シケルカ。七日ニテ。ヒケ  
レハ。ツガヒノ水ノカヨウユヘナルヘシトテ。ウガヒヲトメテ。塗香  
ヲ用ケルカ。氣力モ更ニ衰ヘス。程ナク疵モ愈ニケル。後ニ六時

時行水ヲ用井ケルトカヤ。正月一日ニモナリニケレハ。死セス  
レテハ。往生スヘキミチナキユヘニ。尊願ハ正月一日ノ祝ニハ  
臨終ノ儀式ヲナラシテ。年々クナレリ。日來ノアラマシタカハ  
スレテ。今日日往生スヘキ故ニ延引シケルト悦テ。頻ニ念佛  
レケレトモ。其日モスキ次ノ日モ又クシヌ。只今臨終スヘキ  
心地モナカリケレハ。上人ノ御文ヲ。又取出テ往生ノ後ハ  
思出ヘキナリ。必ス極樂ニ参リアヘト。自筆ノ御文ニノセラ  
シナカラ。イソキ参ラント。心ヲツクシ侍ニラソクムカヘサセ給コ  
トノ心ウク侍ルヨシ。連日ニナケキ申ケルカ。正月十三日ノ  
夜ノ夢ニ來十五日午尅ニ迎ヘキヨシ。上人來テ告給ト  
ミルサメテコレヲ語り。歡喜ノ涙ヲ流シケリ。件ノ日ニナリニ

カハ。上人ヨリ給タル袈裟ヲカケ。念珠ヲモチテ。西ニ向端坐  
合掌シテ。高聲念佛數百反ヲトナヘ。午ノ正中ニ念佛ト  
共ニ息絶ヌ。紫雲空ニソヒキ。異香室ニミツ。茶毗ノ庭ニ至  
ルニテ。ソノ匂ナヲキエサリケリ。腹ヲ切テ後水漿ヲ断テ。五  
十七日氣力ツ子ノコトクシテ。イタム所ナク。遂ニ往生ヲト  
ケニケル。不思議ノ事ナリ。抑今ノスル所ノ自害往生水  
漿ヲ断テ。後五十余日ヲフルコト。殆信ヲトリカタシトイヘ  
トモ。カノ子孫上人ノ御消息并ニ念珠袈裟等ヲ相傳シ  
テ。披露スル事。世モテカクシナシ。タハコシ尊願カ。不思議ノ  
奇特ヲノスルハカリナリ。余人サラニコノミ行セヨトニハ非ス。  
九上代上機ノ事ハ。暫クコレヲ閣ク。末代當世ノ行者ハ。



機根ヨハキユヘニ。タトヒ思タツモノアリトモ。ソノ期ニソミテ。モシ後悔ノ一念モオコリ又ヘシ。レカラハ何ノ詮カアラシ。上人モイケラハ。念佛ノ功ツモリ。レチハ往生ウタカハス。トテモカクテモ。此身ニオモヒ。ワツラウ事ノナキト心得テ。子シコロニ念佛シテ。畢命ヲ期トセヨトソ。禪勝房ニ。サツケラレケル。鎮西ノ聖光房モ。自害往生。焼身往生。入水往生。断食往生。等ノ事。未代ニハ。斟酌スヘシト。誠メヲカレケルトカヤ。ユメユメ。ゴノミ行スヘカラス。フカク上人ノ勸化ヲ信シテ。念々相續。畢命爲期ノ行ラツトムヘキモノナリ。

第二十九卷

第一段

比叡山西塔ノ南谷ニ。鐘下房ノ少輔トテ。聰敏ノ住侶アリケリ。弟子ノ見ヲクシテ。眼前ノ無常ニ驚キ。交衆モノク覺ケレハ。三十六ノ年。遁世シテ。上人ノ弟子トナル。成覺房。幸西ト号シケルカ。浄土ノ法門ヲ。モトナラヘル。天台宗ニ引入テ。迹門ノ彌陀。本門ノ彌陀トイフコトヲタテ。十劫正覺トイヘル。迹門ノ彌陀也。本門ノ彌陀ハ。無始本覺ノ如來ナルカユヘニ。我等所具ノ佛性ト。マタク差別異ナレコノ謂ヲキク。一念ニコトタリヌ。多念ノ遍數ハ。ナハタ無益ナリト云テ。一念義ト云事ヲ。自立シケルヲ。上人此義善導ノ御心ニソムケリ。ハナハタレカルヘカラサルヨシ。制シ仰ラシケルヲ。承引セシテ。ナラシ此義ヲ。真シケレハ。ワカ弟子ニア

ラストテ擯出せらしニケリ

第二段

兵部卿三位基親卿。フカク上人勸進ノ旨ヲ信シテ。毎日五萬遍ノ數遍ヲコタリナカリケルヲ。成覺房一念義ヲタテ。彼卿ノ數遍ヲ難シケク。重々問答シテ。成覺房ノ義并ニ所存ヲレリシテ。上人ニ尋申サレケル狀ニ云。念佛ノ數遍并二本願ヲ信スル様。基親カ愚案カクノコトク候。難者イハレナク覺候。此折紙ニ御存知ノ旨御自筆ヲモテ。書給ハルヘク候。難者ニヤフラルヘカラスアルカユヘナリ。別解別行ノ人ニテ候ハ。耳ニモ入ヘカラス候ニ。御弟子等ノ説ニ候ヘハ。不審ヲナシ候ナリ。又念佛者ハ。女犯ハ。カルヘカ

ラスト申アヒタ。在家ハ勿論ナリ。出家ハコハク本願ヲ信ストテ。出家ノ人ノ。女ニチカツキ候条イハレナク候歟。善導ハ目ヲアケテ。女人ヲミルヘカラストコソ候メレ。ゴノ事アラアラ仰ラカフルヘク候。基親ハタ。ヒラニ本願ヲ信シテ。念佛ヲ申候ナリ。料簡モ才學モ候ハサルユヘナリ。云。取詮。彼注進ノ狀云。

基親弼信本願之様

雙卷經上云。設我得佛。十方衆生。至心信樂。欲生我國。乃至十念。若不生者。不取正覺。又同下云。聞其名號。信心歡喜。乃至一念。至心迴向。願生彼國。即得往生。住不退轉。文。

往生禮讚云。今信知彌陀本弘誓願及稱名號下至  
 十聲一聲等定得往生乃至一念無有疑心文觀經  
 疏云。一者決定深信自身現是罪惡生死凡夫曠劫  
 已來常沒常流轉無有出離之緣二者決定深信彼  
 阿彌陀佛四十八願攝受衆生無疑無慮乘彼願力  
 定得往生文此等ノ文ヲ案シ候テ。基親罪惡生死ノ凡  
 夫ナリトイヘトモ。一向ニ本願ヲ信シテ。名號ヲ唱候。毎日  
 二五百遍ナリ。決定佛ノ本願ニ乘シテ。上品ニ往生スヘキ  
 ヲレ。フカク存知シ候ナリ。此外別ノ料簡ナク候。而ニ或人  
 本願ヲ信スル人ハ。一念ナリ。而シテ五萬友無益ナリ。コレ  
 本願ヲ信セサルナリト申。基親答曰。念佛一聲ノ外。百友

乃至萬友ハ。本願ヲ信セストイフ文候ヤト。難者云。自力  
 ニテハ。往生ハカナヒカタシ。タ、信ヲナシテノ千。念佛ノ數無  
 益ナリト申。基親又申云。自力往生トハ。他ノ雜行等ヲ  
 モテ。願スト申サハコソハ。自力トハ申候ハ。隨テ善導ノ疏  
 云。上盡百年下至一日七日一心專念彌陀名號定  
 得往生必無疑ト候ヌルハ。百年念佛スヘシトコソハ候ヘ。  
 又上人ノ御房七萬友ヲ唱ヘシメ。コレニ。基親御弟子  
 ノ一分ナリ。ヨテ數多ク唱ヘント存候ナリ。佛ノ恩ヲ報スル  
 ナリ。禮讚云。不相續念報彼佛恩故。心生輕慢。雖作  
 業行。常与名利相應。故人我自覆。不親近同行善知  
 識。故樂近雜緣。自障障他。往生正行。故云佛恩ヲ報

ス一モ念佛ノ數遍多ク申へしト。ミエタリト申云

第三段

上人御返事云。仰旨謹奉候。畢御信ヲトラシメ給様。折紙具ニ拜見候。一分モ愚意ノ所存ニカハス候。フカク隨喜ニ奉候ナリ。近來一念ノ外ノ數遍無益ナリト申。義出來候。勿論不足言ノ事ニ候。文釋ヲ離テ。義ヲ申人。已ニ證得候歟。如何。尤モ不實候。又フカク本願ヲ信スルモノ。破戒モカヘリミルヘカラサル。ヨレノ事。コレマタトハセ給ニモ。不可及事ニ候。附佛法ノ外道。外ニ求ヘカラス。九八近來念佛ノ天魔キホヒ來テ。カクノコトキノ狂言イテキタリ候歟。ナラナラ。左右ニアタワス候云。取註

第四段

來覺坊ノ弟子等。越後國ニシテ。一念義ヲ立ケルヲ。上人ノ弟子光明房トイフヒジリ。多念ノ行者ナリケルカ。心エ又事ニ思テ。カノ所述ノ法門ヲシルシテ。上人ニウタヘ申イシケル。御返事云。一念往生ノ義。京中ニモ粗流布スル所ナリ。凡言語道斷ノ事ナリ。殆御問答ニ不可及歟。所詮雙卷經ノ下ニ。乃至一念信心。歡喜トイヒ。又善導和尚ハ。上盡一形。下至十聲一聲等。定得往生。乃至一念無有疑心。トイヘル。此等ノ文ヲ。アレク料簡スル輩。大邪見ニ住シテ。申所ナリ。乃至トイヒ。下至トイヘル。ミナ上盡一形ヲ。カ子タルコトハナリ。而シテ。近比愚癡無智ノ輩。多ク偏ニ

十念一念佛ナリト執シテ。上盡一形ヲ廢スル条無慚無愧ノ事ナリ。實ニ十念一念佛ノ大悲本願ナラ必ス引接シ給フ。無上ノ功德ナリト信シテ。一期不退ニ行スヘキナリ。文證多シトイヘトモコレヲ出スニヨハス。イフニタラサレ事ナリ。コノニカノ邪見ノ人。此難ヲカウフリテ。答テイハクワカイフ所モ。信ヲ一念佛ニトリテ。念スヘキナリ。シカリトテ。又念スヘカラストハ。イハストイフ。コレ又詞ハ尋常ナルニ似タリトイヘトモ。心ハ邪見ヲハナシス。シカルユヘハ。決定ノ信心ヲモテ。一念佛ニテノチハ。又念セストイフトモ。十惡五逆ナヲ障ヲナサス。現ト餘ノ小罪ヲヤト。信スヘキナリトイフ。此思ニ住セシモノハ。タトヒオホク。念ストイフトモ。阿彌陀佛ノ御心ニカナハンヤ。

イッレノ經論人師ノ説ソヤコレヒトヘニ懈怠無道心不當不善ノタクヒノ。恣ニ惡ヲツクラント思テ。申イタセル事ナリ。九カクノコトキノ人ハ。附佛法ノ外道ナリ。師子ノナカノ虫ナリ。又ウタカフラクハ天魔波旬ノタメニ精氣ヲクハルハ輩ノモロモロノ往生ノ人ヲサマタケントスル歟。尤アヤシムヘシ。フカクオソルヘキモノナリ。每事筆端ニツクシカクシ。謹言

取上  
取詮

第五段

光明房ノ狀ニツキテ。上人一念佛義停止ノ起請文ヲ定ラルカノ狀云。當世念佛門ニオモムク行人等ノ中ニ。多ク無智誑惑ノ輩アリ。未タ一字ノ廢立ヲシラス。下法ノ名

目ニヲヨハス。心ニ道心ナク。身ニ利養ヲモトム。コレニヨリテ。恣ニ妄語ヲカマヘテ。諸人ヲ迷亂ス。偏ニコレヲ渡世ノ計トシテ。マタマタ。來生ノ罪ヲカヘリミス。カタマシク。下念ノ偽法ヲヒロメテ。無行ノトカラ謝シ。アミサヘ無念ノ新義ヲタテ。ナラ下稱ノ小行ヲウシナフ。微善ナリトイヘトモ。善根ニヲイテ。アトヲケツリ。重罪ナリトイヘトモ。罪障ニヲイテ。イヨイヨ勢ヲマ。ス。刹那五欲ノ樂ヲウケシカタメニ。永劫ニ途ノ業ヲオソレス。人ヲ教示シテ。イハク。彌陀ノ願ヲタノムモノハ。五逆ヲハ。カ。ルコトナシ。心ニ任テコレヲツクシ。袈裟ヲ著スヘカラス。ヨロシク。直垂ヲキルヘシ。娼肉ヲ断スヘカラス。恣ニ鹿鳥ヲ食ヘシ。弘法大師異生羶羊心ヲ釋シテ云。タ、娼食ヲオモフコト。

カノ羶羊ノコト云。コノ輩々、弊欲ニラケルコト。偏ニカノ類歎。一、佳心ノナカク。二、惡道ノ心ナリ。タレカコレヲアハレマサラシヤ。タ、餘教ヲ妨ノミニ非ス。カヘリテ念佛ノ行ヲ失フ。懈怠無慚ノ業ヲ勸テ。捨戒還俗ノ義ヲレメス。コノ本朝ニ外道ナレコレ。已ニ天魔ノカマヘナリ。佛法ヲ破滅シ。世ノ人ヲ惑亂ス。妄語ヲカマヘテ。イハク。法然上人ノ七萬友ノ念佛ハタ、コレ外ノ方便ナリ。内ニ實義アリ。人未タコレヲシラス。所謂心ニ彌陀ノ願ヲレシ。身カナラス。極樂ニ往生ス。淨土業コ、ニ満足シヌ。コノウヘニテ。一遍ナリトイフトモ。重テ名號ヲ唱フヘキヤ。カノ上人ノ禪房ニヲイテ。門人等二十一人アリテ。秘義ヲ談スル所ニ。淺智ノ類ハ。性鈍ニシテ。

未タサトラス。利根ノ輩ワツカニ五人。此深法ヲ得タリ。ウレ  
 ノ一人ナリ。カノ上人ノ已心中ノ奧義ナリ。容易コレヲサツケス。  
 ウハモクエラビテ。傳授セシムレ。云風聞ノ説モシ實ナラハ。皆  
 以虚言ナリ。迷者ヲアハシマンカタメニ。今誓言ヲタツ。貧道モ  
 シコレヲ秘シテ。イツハリテコノム子ヲノヘ。不實ノコトヲレルサハ。  
 十方ノ三寶マサニ知見ヲタシ。毎日七萬友ノ念佛ムナシ  
 ノノ利益ヲウレナハニ。圓頓行者ノハシメヨリ。實相ヲ縁ス  
 ル。六度萬行ヲ修シテ。無生忍ニ至ル。イツレノ法カ行ナク  
 シテ。證ヲタルハ。乞願ハゴノ疑網ニ隨ニタクヒ。邪見ノ稠林  
 ヲ切テ。直ノ心地ヲミカキ。將來ノ鐵城ヲノカシテ。終焉ノ  
 金臺ニノホルヘシ。胡國程遠シ。思ヲ鴈札ニ通ス。北陸境

遙カナリ。心ヲ像教ニヒラクヘシ。山川雲カサナリテ。面ヲ千  
 萬里ノ月ニハタツトモ。化導縁アツクシテ。膝ヲ一佛土ノ  
 風ニチカツケン。子細端多シ。九筆ヲタハス而已

兼元三年六月十九日沙門源空取註

第三十卷

第一段

上人ノ師範功徳院ノ肥後阿闍梨皇圓ハ。殿ヲ放生  
 法橋皇覺ノ弟子ニテ。顯密ノ碩才ナリキ。而ニツラツラ思  
 惟スラク。自身ノ機分ヲハカルニコノタビ。タヤスク生。死ヲ出  
 ヘカラス。モシタヒタヒ生ヲアラタメハ。隔生即忘シテ。定テ佛  
 法ヲワスルハシ。今タマタマ人身ヲウクトイヘトモ。恨ラクハニ

佛ノ中間ニシテナラ生死ニ輪廻セシコトヲ。シカシ長命ノ  
 報ヲ得テ慈尊ノ出世ニアハンニハ命ナカキモノ蛇ニスキタル  
 ハナシ我レ必ス大蛇ノ身ヲウクヘシ但シ大海ハ金翅鳥ノ  
 恐アリ池ニスマント思テ遠江國笠原ノ莊ニサクラノ池ト  
 云池アリカノ所ノ領家ニ申ウケテ放文ヲトリ命終ノトキ  
 水ヲコヒ掌ノ中ニ入ラハリニケリ其後雨フラス風フカサル  
 ニ彼池ニカニ水マサリ大波立テ池中ノ塵モクカ悉クハラ  
 ヒアク諸人耳自ヲ驚スヨシ彼所ヨリ領家ニシルシ申タリ  
 ケレハ日時ヲ勘ヘラルニ彼ノ閻梨命終ノ日時ニテア  
 リケル當時ニ至ルマテシツカナル夜ハ池ニ振鈴ノ音キコユ  
 ナント申ツタヘ侍ル未代ニハカ、ルタメシアリカヌクヤ侍

ルラン上人ノ給ケルハ智慧アリテ生死ノ出カタクコトヲシリ  
 道心アリテ慈尊ニアハン事ヲ子カフトイヘトモヨシナキ畜趣  
 ノ生ヲ感セルコトシカシナカラ淨土ノ法門ヲシラサルユヘナ  
 リ源空ソノカミ此法ヲタツ子エタラマシカハ信不信ヲカヘリ  
 ミスサツケ申ナマシ極樂ニ往生ノ後ハ十方ノ國土心ニ  
 任テ經行シ一切ノ諸佛思ニ隨テ供養ス何ソ必シモ又  
 ク穢土ニ趣スルコトヲ子カハン彼閻梨ハルカニ後佛ノ出世  
 ヲ期シテイタツラニ池ニスミ給ハンコトイタハシキウサナリトシ  
 仰ラレケル

第二段

妙覺寺ニ淨心房トテサカシキヒシリヤリキ道心フカキヨシ



二テ。寺門ヲ出ス。念佛ヲ行スルアリサニ。常ノ人ニコエタリ。歸  
依スル人。雲霞ノ如シ。五十八カリニテ。他處ニケルニ。臨終散  
散ナリケリ。人々コレヲアヤシミテ。妙覺寺ノ上人タニモ。往  
生セス。况ヤ餘人ヲヤト。申アヒケルヲ。上人聞給テ。イサシラ  
ス。虚假ノ行者ニテヤ。アリツラト仰ラレケリ。其後四十九  
日ノ佛事ニ。上人ヲ請シ奉テ唱導トス。日來ノ所化トモ。ア  
ツマリテ。種々ノ捧物ヲ捧ケケルナカニ。常隨ノ弟子衣箱  
ヲ取出テ。コレハ先師年來ノ所持物ナリ。コトサラトテ。御布  
施ニ奉レリ。件ノ箱ニハ。布ノ衣袴ノ尋常丸ト。布ノ七帖ノ  
袈裟。カニ十ニ一門ノ戒儀ヲ。フカクオサメタリケリ。上人仰  
ラレケルハ。日來源望方申ツルニトハ。タカハサリケリ。コノヒレリ

第三段

ユ、シキ。虚假ノ人ナリケリ。此所持物ヲミルニ。徳々ケテ人  
ニタウトラシテ。戒師ニナラントオモフ心ニテ。シコナヒケルナリ  
トノ給ケレハ。人ミナ不審ヲヒラキケリ

治兼四年十一月廿八日。平家本三位中將重衡卿父  
平相國ノ命ニヨリテ。南都ヲセメレトキ。東大寺ニ。火カ、リレ  
カ。大伽藍忽ニ灰燼ト成テ。其後元暦元年十二月七日。  
一ノ谷ノ合戦ニ彼中將イケトラシテ。都へ上テ。大路ヲワタ  
サレサマサマノコトアリキ。後生菩提ノ事ヲ申アハセシタメニ。  
ソノ請アリケレハ。上人オハシテ。對面シ給テ。戒ナントサツケ申  
サレテ。念佛ノコト。ダハレク教導アリケリ。コノタビ。生ナガラド

ラシタリケルノイマ一度上人ノ見參ニ入ルヘキユヘニテ侍リケルトテカキリナク悦申サレケリ。受戒ノ布施トオホシクテ。雙紙糸ヲ取リ出テ。上人ノ前ニ并シテキテ申サレケルハ。御要タルヘキ物ニハ侍ラ子トモ。御目チカキ所ニヲカセ給テ。カツハ重衡カ餘沙トモ御覽シ。且ハ思食出候ハ。タビニハトリワキ御迥向アルヘキヨシヲ申サル。上人ソノ志ヲ感シテ。ウケトリテ出給ニケリ。

第四段

東大寺造營ノ爲ニ大勸進ノ聖ノ少汰侍リケルニ。上人其撰ニテシリ給ニケレハ。右木弁行隆ノ朝臣ヲ御使ニテ。大勸進職タルヘキヨシ。法皇後白河ノ御氣色アリケルニ。上人

申サレケルハ。山門ノ交衆ヲノカシテ。林泉ノ幽栖ヲシメ。侍コトハ。カニ佛道ヲ修シ。偏ニ念佛ヲ行セシカタメナリ。モシ勸進ノ職ニ居共。劇務萬端ニシテ。素意モハラソムクヘキヨシヲカタク辞申サレケリ。行隆朝臣ソノ志ノ堅固ナルヲミテ。コトノ由ヲ奏シケレハ。モシ門徒ノ中ニ器量ノ仁アラハ。舉申ヘキヨシ。重テ仰下サレケルニヨテ。醍醐ノ俊乘坊重源ヲ舉申サル。遂ニ大勸進ノ職ニ補セラレシ。後乘房伊勢大神宮ニ參テ。此願モシ成就スヘクハ。ソノ瑞相ヲ示シ給ヘト。祈請シケルニ。二十七日ノ曉。ウチミトロメル夢ニ唐裝束シタル貴女方寸ノ玉ヲ授ケ給フト思テ。サメテミレハ。彼王ウツノニ袖ノ上ニアリ。重源コレヲ得テ。大ニ悦ヒ仰信ス。其

後天下響ノ如ニ應シテ。財寶心ニ任ケレハ。程ナク金銅ノ  
本尊モトノコトクミガキアラハシ奉リニケリ。重衡卿ノ上人  
ニ進スル所ノ鏡ヲ。結縁ノ爲トテ。送ツカハシケレハ。佛ヲ鑄タ  
テツル爐ノナカニ入ルニ。飛出テ遂ニワキアハサリケリ。不思  
議ノ事トソ申アヒケル。大佛殿ノ正面ノ柱ニ。打ツケテ侍ハ  
彼鏡ニテナン侍リケル

第五段

壽永元曆ノ比。源平ノ亂シニヨリテ。命ヲ都鄙ニウシナフ  
モノ。其數ヲシラス。コニ俊乘房無家ノ慈悲ヲタシテ。カノ  
後世、シルシミヲ。救ハシタメニ。興福寺東大寺ヨリ始テ。道  
俗貴賤ヲ勸テ。七日ノ大念佛ヲ修シケルニ。比マテハ。

人未タ念佛ノイミシキ事ヲシラスシテ。勸メニカナフモノス。ナ  
ナカリケレハ。俊乘房コノ事ヲ歎テ。人ノ信ヲ勸ンカタ又ニ建  
久二年ノ比。上人ヲ請シ奉テ。大佛殿ノイマタ半作ナリ  
ケル。軒ノ下ニテ。入唐ノ時渡シ奉レル。觀經ノ曼陀羅并ニ  
淨土五祖ノ影ヲ供養シ。又淨土ノ三部經ヲ講セサセ奉  
ツリケルニ。南都ニ論法相ノ碩學多クアツリケル中ニ。大  
衆二百餘人ヲノラフ。ハダニ腹巻ヲ著シテ。高座ノキハニナ  
ミ居テ。自宗ノ義ヲ問カケテ。訛謬アラハ。耻辱ヲアタヘント。  
支度シタリケルカ。上入ツニ論法相ノ深義ヲノヘ。次ニ淨  
土一宗ノ秘蹟ヲユマヤカニ釋シ給テ。未代ノ凡夫ノ出離  
ノ要法ハ。口稱念佛ニシクハナシ。モシ念佛ヲシラントモカラ

八無間地獄ニ墮テハ八萬大劫苦ヲ受ヘキニシ。觀佛經ノ  
說ニカセテ說給ケレハ二百余人ノ大衆ヨリハシメテ隨喜  
渴仰キケリナシ。東大寺ノ一和尚觀明坊ノ已講理真  
コトニ涙ニムセヒテハ旬ノヨハヒマテタモテル事ハ偏ニ此事  
ヲキカンタメナリトシ。悅申ケルサテツノ次テニ天台圓頓ノ  
十戒ヲ解説シ給ニ吾山ハ大乘戒コノ寺ハ小乘戒トヘ  
給ケレハ大衆存外ノ氣色トモナリケレトモ當寺ノ古老ノ  
中ニ兼日ニ靈夢ヲシメスコトアリケルヲサキタテ披露シケ  
ルニヨリテ斟酌シケルニヤ。衆徒各々口ヲ閉テ別事ナカリ  
ケリ

第六段

上人ヤマトウタヲ事トシ給ハサリナレトモ我國ノ風俗ニ墮  
テ法門ニヨセテハトキトキオモヒヲノヘラレケルニヤ。或ハ門弟  
ノナカニシルシラケルヲ申ツタヘ。或ハテツカラ書付給ヘルヲ  
没後ニ披露シケル

春

サヘラシヌ光モアルヲオシナヘテヘタテカホナルアサカスミカナ

夏

ワレハタホトケニイツカアフヒクサコ、ロノツニニカケヌ日ソナキ

秋

阿彌陀佛ニツムル心ノ色ニイテハ秋ノ梢ノタクヒナラマシ

冬

雪<sup>ユキ</sup>ノウチニ佛ノ御名ヲ唱<sup>ナゲ</sup>シハツモレルツミソヤカテキエヌル  
逢<sup>アヒ</sup>佛<sup>ハツ</sup>法<sup>ホウ</sup>捨<sup>ゼツ</sup>身<sup>シン</sup>命<sup>メイ</sup>ト云へル事ヲ

カリソメノ色<sup>イロ</sup>ノユカリノ戀<sup>コイ</sup>ニタニアフニハ身ヲモオレミヤハスル  
勝<sup>カキ</sup>尾<sup>ビ</sup>寺<sup>テ</sup>ニテ

柴<sup>ヒ</sup>ノ戸<sup>ト</sup>ニアケクレカハル白雲ヲイッ紫<sup>ムラサキ</sup>ノ色<sup>イロ</sup>ニミラサニ<sup>此歌入</sup>玉葉集  
極樂往生ノ行業ニハ餘ノ行ヲサレヲキテタノ本願  
ノ念佛ヲツトムヘレト云コトヲ

阿彌陀佛トイフヨリ外ハツノ國ノナニハノコトモアレカリヌヘレ  
極樂ヘツトマテハヤクイテタノハ身ノヲハリニハマイリツキナン  
阿彌陀佛ト心ハ西<sup>ニ</sup>ニツツセミノモヌケハテタルコエヌスノレキ  
光明遍照十方世界念佛衆生攝取不捨ノ心ヲ

月影<sup>ツキカゲ</sup>ノイタラヌ里<sup>サト</sup>ハナケレトモナカムル人ノ心ニソスム<sup>此歌入續</sup>千載集

三<sup>ニ</sup>心<sup>ノ</sup>中<sup>ノ</sup>至<sup>レ</sup>誠<sup>ニ</sup>心<sup>ノ</sup>心<sup>ヲ</sup>  
往生ハヨニヤスケレトミナ人ノニコトノ心ナクテコソセ子  
睡眠<sup>スミ</sup>ノ時ナリ念ヲ唱ヘレト云事ヲ

阿彌陀佛ト聲唱<sup>コエ</sup>テマトロミナカキ子フリニナリモコソスレ  
上人テツカラ書ツケ給ヘリケル

チトセフル小松ノモトヲスミカニテ無量壽佛ヲムカヘヲソマツ  
オホツカナタレカイヒケンコマツトハ雲ヲサノフルタカマツノ枝  
池ノ水人ノ心ニ似タリケリニコリスムコトサタメナケレハ  
△ニニテハミ<sup>キ</sup>思<sup>ヒ</sup>出<sup>デ</sup>ンフルサトニ契<sup>ケ</sup>レ友<sup>トモ</sup>ノフカキマコトヲ  
阿彌陀佛ト申ハカリヲツトメニテ淨土ノ莊嚴ミルソウレレキ

元久二年十二月八日 源空

傳繪詞卷六終



